

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	なかよし	なかまあつめ	4 5	・示された観点や自分で決めた観点に基づいて、同じとみられる物をまとめて捉える。	1	・示された観点や自分で決めた観点をもとに、仲間集めをしようとしている。			○	観察		
		くらべよう	6 ~ 9	・物の個数の多少を、比べる対象どうしを線で結ぶ1対1対応によって比較する。	1	・1対1対応によって物の集まりの要素の個数が比較できることを理解し、直接比較をすることができる。	○			観察		小1 「10までのかず」 ・1から10までの数の数概念
				・物の個数の多少を、操作しやすい物に置き換えて、1対1対応によって比較する。	1	・1対1対応によって物の集まりの要素の個数が比較できることを理解し、間接比較をすることができる。	○			観察		
	5 までの 数	10 ~ 15	・1から5までの数を唱えたり、数えたり、数字を読んだりする。	1	・1から5までの数の唱え方や、数字の読み方を理解している。	○				観察	小1 「なかよし」 ・仲間集め、1対1対応による多少比較	
			・1から5までの数と、数図やブロック等との関係の理解を深める。 ・1から5までの数字を書き、数の概念と関連付ける。	2	・半具体物や数図や数字などを用いた、1から5までの数の表し方を理解し、数字を書くことができる。 ・物の個数を工夫して表そうとしている。	○		○		観察		
		・6から10までの数を唱えたり、数えたり、数字を読んだりする。	1	・6から10までの数の唱え方や数え方、数字の読み方を理解している。	○				観察・ノート			
10 までの かず	10 まで の かず	16 ~ 21	・6から10までの数と、数図やブロック等との関係の理解を深める。 ・6から10までの数字を書き、数の概念と関連付ける。	2	・半具体物や数図や数字などを用いた、6から10までの数の表し方を理解し、数字を書くことができる。 ・音など消えてしまう物の数を工夫して数えようとしている。		○	○		観察・ノート		
			かずをさがそう	22 23	・10までの数を用いて、身の回りにある物の個数を数える。	1	・身の回りの物の個数について説明している。		○		観察・ノート	
	0 という かず	24	・1つもないことを0と書き表すことを知る。	1	・0の意味や読み方、書き方を理解し、個数が「無」であることを「0」で表すことができる。	○			観察・ノート			
	かずのおおきさくらべ	25	・1から10までの数の多少や、大小を判断する。	1	・1から10までの数の多少や大小を比較することができる。	○			観察・ノート			
	かずのならばかた	26 27	・0から10までの数の系列が分かる。	1	・0から10までの数を順序よく並べることができる。	○			観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
6	なんばんめ	なんばんめ	28～32	・「前から○番目」、「上から○番目」、「左から○番目」などの言葉を用いて、順序や位置を正しく表す。	1	・数を順序や位置を表すものとして捉え、基点を決めて順序や位置を多様に表している。		○		観察・ノート	小1 「10までのかず」 ・10までの数の数概念		
				・具体的な場面で、順序数と集合数の意味の違いを理解し、それらを用いる。	1	・順序数や集合数で表された物を指摘することができる。	○		観察・ノート				
				・方向を表す言葉(前後、左右)と、数を用いた平面上の物の位置の表し方を理解する。	1	・平面上での位置の表し方を理解し、物の位置を前後、左右の言葉と数を用いて表すことができる。	○		観察・ノート				
	いくつと	いくつと	いくつと	33～40	・5を2つの数に分解し、2つの数の和として捉え、5の数の構成を理解する。	1	・5を2つの数に分解することができる。	○			観察・ノート	小1 「10までのかず」 ・10までの数の数概念	小1 「10よりおおいかず」 ・30までの数の数概念 「あわせていくつふえるといくつ」「のこりはいくつちがいはいくつ」 ・加法、減法の意味と式、計算
					・6を2つの数に分解し、2つの数の和として捉え、6の数の構成を理解する。	1	・6を2つの数に分解することができる。	○		観察・ノート			
					・7を2つの数に分解し、2つの数の和として捉え、7の数の構成を理解する。	1	・5～7の分解の学習をもとに、数の範囲を拡張させ、8や9などについても考えようとしている。		○	観察・ノート			
					・8を2つの数に分解し、2つの数の和として捉え、8の数の構成を理解する。	1	・8を2つの数に分解することができる。	○		観察・ノート			
					・9を2つの数に分解し、2つの数の和として捉え、9の数の構成を理解する。	1	・9を2つの数に分解することができる。	○		観察・ノート			
					・10を2つの数に分解し、2つの数の和として捉えたり、順序よく並べたときの規則性を見つけたりして、10の数の構成を理解する。また、ゲームを通して、10の補数関係について習熟する。	2	・10を2つの数に分解することができる。また、10の数の構成を理解している。 ・関数的な見方や考え方を働かせ、順序よく並べたときの規則性について考えている。	○	○	観察・ノート			
	あわせて	あわせて	いくつ	3～6	・合併の場面について、加法の意味を理解し、式に表す。	1	・合併の場面について、加法の意味と式の表し方を理解している。	○			観察・ノート	小1 「いくつといくつ」 ・10までの数の合成・分解	小1 「のこりはいくつちがいはいくつ」 ・加法、減法の意味と式、計算 「たしざんカード」 「ひきざんカード」 ・加法、減法の習熟 「3つのかずのけいさん」 ・3口の数の加法、減法
					・合併の場面を捉え、式に表して答えを求める。	1	・加法の場面であることを操作や言葉などで説明している。		○	観察・ノート			
					・問題文から合併の場面を捉え、式に表して答えを求める。	1	・合併の場面を捉え、式に表し、和が10以下の加法の計算ができる。	○		観察・ノート			
あわせて		ふえると	いくつ	7～10	・増加の場面について、加法の意味を理解し、式に表す。	1	・増加の場面について、加法の意味と式の表し方を理解している。	○			観察・ノート	「たしざん」 「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法 「ずをつかってかんがえよう」 ・順序数の加減法	
					・問題文などから増加の場面を捉え、式に表して答えを求める。	1	・加法の場面であることを操作や言葉、図などで説明している。		○	観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
7	答えるといくつ	くつ		・加法の式と絵を見て、合併や増加の問題をつくる。	1	・加法の式と絵を見て、合併や増加の場面を捉え、言葉で表現している。		○		観察・ノート		など		
		たしざんカード	11	・たし算の計算カードを使って練習し、和が10以下の加法の計算をする。また、答えが同じになるカードを集める。	1	・和が10以下の加法の計算が確実にできる。		○		観察・ノート				
		0のたしざん	12	・0を含む加法の式の意味を理解する。	1	・0を含む加法の意味を理解している。		○		観察・ノート				
	のこりはいくつ	のこりはいくつ	13~17	・求残の場面について、減法の意味を理解し、式に表す。	1	・日常の事象から求残の場面を見だし、減法に進んで関わろうとしている。			○		観察	小1 「いくつといくつ」 ・10までの数の合成・分解	小1 「たしざんカード」 「ひきざんカード」 ・加法、減法の習熟 「3つのかずのけいさん」 ・3口の数の加法、減法 「たしざん」 「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法 「ずをつかってかんがえよう」 ・順序数の加減法など	
				・求残の場面を捉え、式に表して答えを求めると。	1	・減法の場面の理解を深め、図での表し方を理解している。		○		観察・ノート				
				・求補の場面を捉え、減法になることを理解し、式に表して答えを求めると。	1	・減法の場面であることを操作や言葉、図などで説明している。		○		観察・ノート				
		ひきざんカード	18~19	・ひき算の計算カードを使って練習し、10以下の数から1位数をひく減法の計算をする。また、答えが同じになるカードを集める。	1	・10以下の数から1位数をひく減法の計算が確実にできる。		○			観察・ノート			
				・10以下の数から1位数をひく減法の計算に習熟する。	1	・10以下の数から1位数をひく減法の計算が確実にできる。		○			観察・ノート			
			0のひきざん	20	・0を含む減法の式の意味を理解する。	1	・0を含む減法の意味を理解している。		○		観察・ノート			
		ちがいはいくつ	ちがいはいくつ	21~24	・求差の場面について、減法の意味を理解し、式に表す。	1	・求差の場面について、減法の意味と式の表し方を理解している。		○					観察・ノート
					・問題文から求差の場面を捉え、式に表して答えを求めると。	1	・減法の場面であることを操作や言葉、図などで説明している。		○					観察・ノート
					・減法の式と絵を見て、減法の問題をつくる。	1	・減法の式と絵を見て、減法の場面を捉え、言葉で表現している。		○					観察・ノート
たしざんかなひきざんかな	25		・具体的な場面で、どんな計算になるかを考え、加法、減法の演算決定をし、立式して計算で答えを求めると。	1	・場面の数量の関係を捉え、演算決定したり、ブロックや図で説明したりしている。		○			観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		たしかめもんだい	26	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・問題場面から式を立て、加法や減法の計算をすることができる。	○			観察・ノート		
		おはなしづくり	27	・お話づくりを通して、加法や減法の意味理解を深める。	1	・日常の事象やこれまでの経験から加法や減法になるお話をつくろうとしている。			○	観察・ノート		
	かずしらべ	かずしらべ	28	・物の個数を比べるために、絵を用いた簡単なグラフに表したり、読み取ったりする。	1	・物の個数が分かりやすくなるように整理する方法を考えている。			○	観察・ノート		小2 「せいりのしかた」 ・簡単な表や○を使ったグラフ
			31	・物の個数を比べるために、大きさをそろえてから絵を用いた簡単なグラフに表したり、読み取ったりする。	1	・物の個数を大きさをそろえて表すと、個数の大小が正確に分かることを理解している。	○			観察・ノート		
		ふくしゅう	32	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
9	10よりおおいかず	20までのかず	33	・20までの物の個数について、10とあといくつという見方で数えるとよいことを知り、11から20までの数を表したり、読んだりする。	2	・20までの数の構成、表し方、読み方を理解し、数を数えたり、表したり、読んだりすることができる。 ・20までの数を、10のまとまりをつくって数えようとしている。	○		○	観察・ノート	小1 「あわせていくつ ふえるといくつ」 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 ・加法、減法の意味と式、計算	小1 「大きなかず」 ・和が100までの何十の加法とその逆の減法 「たしざん」 「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法  小2 「100より大きい数」 ・何十の加法とその逆の減法
39			・20までの数の構成の理解を深め、その順序、系列が分かる。また、2ずつ、5ずつまとめて数えるよさに気づき、まとめて数える。	1	・20までの数の構成、順序、系列を理解し、数を数えたり、表したりすることができる。	○			観察・ノート			
39			・20までの数の構成の理解を深め、その合成・分解、順序、系列を理解する。	1	・20までの数の構成、順序、系列を理解している。	○			観察・ノート			
40		・20までの数直線の読み方を理解し、20までの数の大小比較ができる。	1	・数直線の読み方を理解している。また、20までの数の大小比較ができる。	○			観察・ノート				
42		・20より少し大きい数の構成や表し方、読み方について理解する。	1	・20より少し大きい数の構成や表し方、読み方を理解している。	○			観察・ノート				
44		・10+6や12+3のような加法の計算の方法を理解し、計算する。	1	・10+6や12+3のような加法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート				
45		・16-6や15-3のような減法の計算の方法を理解し、計算する。	1	・16-6や15-3のような減法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		たしかめもんだい	46	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・数の構成や系列を理解するとともに、具体物の数を数えたり、簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算をしたりすることができる。	○			観察・ノート		
	なんじ なんじはん	じこくのよみかた、あらわしかた	47～49	・時刻と生活を結び付けて考えながら、「何時」と「何時半」の時刻を読んだり、模型時計で表したりする。	1	・「何時」と「何時半」の時刻を読んだり、模型時計で表したりすることができる。	○			観察		小1 「なんじ なんぶん」 ・時刻の読み方  小2 「時ごとと時間」 ・時刻と時間の概念、時間の単位(日、時、分) ・簡単な時刻や時間の求め方
	たしざんカード ひきざんカード	たしざんカード ひきざんカード	50 51	・たし算の計算カードを順序よく並べ、その並びから規則性を見つける。 ・ひき算の計算カードを順序よく並べ、その並びから規則性を見つける。	1 1	・1位数と1位数の加法の計算ができる。 ・計算カードの並びから、数や式の規則性について考えている。	○ ○			観察・ノート 観察・ノート	小1 「あわせていくつ ふえるといくつ」「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 ・加法、減法の意味と式、計算	小1 「3つのかずのけいさん」 ・3口の数の加法、減法 「たしざん」「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法 「ずをつかつかんがえよう」 ・順序数の加減法など
	ふくしゆう		52	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
	3つのかずのけいさん		53～56	・続いて起こる事柄を、3口の数の加法の式に表せることを理解し、答えを求める。 ・続いて起こる事柄を、3口の数の減法の式に表せることを理解し、答えを求める。	1 1	・3口の数の加法の場面を、1つの式に表すよさに気づいている。 ・3口の数の減法の意味について理解し、式に表したり、計算したりすることができる。	○ ○		○	観察 観察・ノート	小1 「あわせていくつ ふえるといくつ」「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 ・加法、減法の意味と式、計算 「たしざんカード」「ひきざんカード」 ・加法、減法の習熟	小1 「たしざん」「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法  小2 「かけ算」 ・乗法の意味と式 ・2～5の段の九九 ・倍概念
10	3つのかずのけいさん			・続いて起こる事柄を、3口の数の加減混合の式に表せることを理解し、答えを求める。	1	・3口の数の加減混合計算の意味について理解し、式に表したり、計算したりすることができる。	○			観察・ノート		
	もんだいづくり		57	・問題づくりを通して、3口の数の計算の意味の理解を深める。	1	・数量の関係に着目し、式と絵から具体的な場面を考え、言葉で表現している。			○	観察・ノート		
	たしかめもんだい		58	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・3口の数の加法、減法及び加減混合の場面について理解し、式に表して計算することができる。	○			観察・ノート		
				・長さの意味が分かり、直接比較によって長さを比較する。	1	・身の回りの物の長さに進んで関わり、比べ方を考えようとしている。			○	観察		小1 「ひろさくらべ」 ・広さの直接、間接比較、任意単位による比較

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
11	ながさくらべ	ながさくらべ	59 ～ 64	・媒介物を用いて、長さを間接比較する方法を理解し、長さを比較する。	1	・間接比較の仕方を理解し、間接比較によって、長さを比較することができる。	○			観察・ノート		「かさくらべ」 ・かさの直接、間接比較、任意単位による比較  小2 「長さのたんい」 ・長さの単位(cm、mm)と測定
				・間接比較によって、身の回りにあるいろいろな物の長さを比較する。	1	・物の長さに着目し、媒介物を用いて間接比較することを考えている。		○		観察・ノート		
				・任意の長さを単位として、そのいくつかで長さを表し、長さを比較する。	1	・任意単位を用いた数値化による比較の仕方を理解し、長さを比較することができる。	○			観察・ノート		
		どんなけいさんするのかな	65	・具体的な問題場面で、どんな計算になるか考え、演算決定をして問題解決をする。	1	・数量の関係を正しく捉え、式を立てた根拠を言葉、図、ブロックなどで説明することができる。		○		観察・ノート		
	たしざん	たしざん	66 ～ 74	・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の仕方(加数分解)を理解する。	1	・ブロックや図を使った考えや、被加数を10にする考えなどのそれぞれのよさを認めたり、関連付けたりしながら、話し合っている。			○	観察	小1 「あわせていくつ ふえるといくつ」 「のこりはいくつ ち がいはいくつ」 ・加法、減法の意味と式、計算	小1 「ひきざん」 ・繰り下がりのある減法
				・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の理解を深める。	1	・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算ができる。	○			観察・ノート	小2 「2けたのたし算」 ・2位数までの加法の筆算	「たしざんカード」 「ひきざんカード」 ・加法、減法の習熟
				・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の仕方(被加数分解)を理解する。	1	・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の仕方を理解している。	○			観察・ノート	「3つのかずのけいさん」 ・3口の数の加法、減法	・加法の交換法則 「2けたのひき算」 ・2位数までの減法の筆算
				・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算の理解を深める。	1	・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算を加数分解や被加数分解でできる。	○			観察・ノート	・「差+減数=被減数」の関係 「かけ算」 ・乗法の意味と式	・2～5の段の九九 ・倍概念
		たしざんカード	75	・たし算の計算カードを用いて計算の練習をし、計算に習熟する。また、計算カードを使ったいろいろな活動をし、答えが同じになるカードを見つける。	2	・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算が確実にできる。 ・答えが同じになる計算カードの並びから、規則性をいろいろと見つけようとしている。	○		○	観察		
		たしかめもんだい	76	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	○			観察・ノート		
	よみとるちからをのぼそう	77	・問題文を読み取り、たした答えが小さくなる組み合わせの条件を見つける。	1	・問題文から場面を読み取り、自分の考えを式や言葉を使って表現している。		○		観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
12	ひろさくらべ	ひろさくらべ	78	・ 広さの意味が分かり、直接比較によって広さを比較する。	1	・ 直接比較によって、広さを比較することができる。	○			観察	小1 「ながさくらべ」 ・ 長さの直接、間接比較、任意単位による比較	小1 「かさくらべ」 ・ かさの直接、間接比較、任意単位による比較	
			79	・ 任意の広さを単位として、そのいくつかで広さを表し、広さを比較する。	1	・ 広さも任意単位によって数値化して比較できることを理解している。	○			観察・ノート		小2 「長さのたんい」 ・ 長さの単位(cm、mm)と測定	
	ひきざん	ひきざん	80	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算の仕方(減加法)を理解する。	1	・ 繰り下がりのある減法の計算の仕方について、これまでの学習をもとに考えようとしている。			○	観察	小1 「あわせていくつ ふえるといくつ」 「のこりはいくつ ち がいはいくつ」 ・ 加法、減法の意味と式、計算	小2 「2けたのたし算」 ・ 2位数までの加法の筆算 ・ 加法の交換法則 「2けたのひき算」 ・ 2位数までの減法の筆算 ・ 「差+減数=被減数」の関係	
			81	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算の理解を深める。	1	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算ができる。	○			観察・ノート	「たしざんカード」 「ひきざんカード」 ・ 加法、減法の習熟	「3つのかずのけいさん」 ・ 3口の数の加法、減法 「たしざん」 ・ 繰り上がりのある加法	
			82	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算の仕方(減加法)を理解する。	1	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算の仕方を理解している。	○			観察・ノート			
			83	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算の理解を深める。	1	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算を減加法や減加法でできる。	○			観察・ノート			
		86	・ ひき算の計算カードを用いて計算の練習をし、計算に習熟する。また、計算カードを使ったいろいろな活動をし、答えが同じになるカードを見つける。	2	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算が確実にできる。 ・ 答えが同じになる計算カードの並びから、規則性をいろいろと見つけようとしている。	○		○	観察・ノート				
	87	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 10いくつから1位数をひいて、差が1位数になる減法の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	○			観察・ノート					
	かさくらべ	かさくらべ	88	・ かさの意味が分かり、直接比較や間接比較によってかさを比較する。	1	・ 直接比較、間接比較の仕方を理解し、かさを比較することができる。	○			観察・ノート	小1 「ながさくらべ」 「ひろさくらべ」 ・ 長さや広さの直接、間接比較、任意単位による比較	小2 「かさのたんい」 ・ かさの単位と測定	
			89	・ 任意のかさを単位として、そのいくつかでかさを表し、かさを比較する。	1	・ 長さや広さの比較の仕方をもとに、かさを比較する方法を考えている。			○	観察・ノート			
	いろいろ	かたちづくり	かたちづくり	91 92	・ いろいろな箱や筒などの立体を用いて、身の回りにある具体物を作ったり、作った物について説明したりする活動を通して、物の形を認めたり、形の特徴を捉えたりする。	2	・ 立体図形の形状や機能面に着目して、具体物を構成し、それを説明している。 ・ 立体図形に親しみ、身の回りの具体物を構成する活動のたのしさを感じながら学んでいる。			○	○	観察・ノート	小1 「かたちづくり」 ・ 色板や数え棒などによる平面図形の構成  小2 「三角形と四角形」 ・ 三角形、四角形、長方形、正方形、

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	いろいろなかたち	はこのかたち	93	・箱や筒などの形に着目した仲間集めの活動を通して、立体の形の特徴を捉える。	1	・基本的な立体図形の特徴を理解している。	○			観察・ノート		直角三角形の定義と性質
		めんのかたち	94 95	・いろいろな箱や筒などの立体の面の形を写し取り、絵をかく活動を通して、基本的な平面図形の特徴を捉える。	2	・基本的な立体図形の構成要素である平面図形の特徴を理解している。 ・立体の面を写してかいた絵について、どんな形を使ったかを説明している。	○	○		観察・ノート		
		ふくしゅう	96	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
1	大きなかず	100までのかず	97 ~ 102	・具体物の個数を10のまとまりをつかって数え、2位数の構成や表し方、読み方を理解する。	2	・2位数の構成、表し方、読み方を理解し、100未満の数を数えたり、表したり、読んだりすることができる。	○			観察・ノート	小1 「あわせていくつ ふえるといくつ」 「のこりはいくつ ち がいはいくつ ・加法、減法の意味 と式、計算 「10よりおおきいか ず」 ・30までの数の数 概念	小2 「100より大きい 数」 ・1000までの数の 数概念
・2位数の構成の理解を深める。				1	・2位数の構成を理解している。	○			観察・ノート			
・100の構成や大きさ、表し方、読み方を理解する。				1	・100の構成、表し方、読み方を理解している。	○			観察・ノート			
1000までのかずのならばかた		103 104	・数表を使って100までの数の並びについて調べ、その特徴に気づく。	1	・数表から100までの数の並び方の特徴に気づき、それを説明している。			○		観察・ノート		
100より大きいかず		105	・120程度までの3位数について、構成、表し方、読み方、順序、系列を理解する。	1	・120程度までの3位数の構成、表し方、読み方、順序、系列を理解し、順序、系列に従って数を並べることができる。			○		観察・ノート		
かずのせん		106 107	・120程度までの数の数直線を見て、数の系列、大小などを理解する。	1	・120程度までの数の数直線の読み方を理解する。また、120程度までの数の大小を比較することができる。			○		観察・ノート		
たしざんとひきざん		108 109	・「何十」+「何十」(和が100まで)の計算や、「何十」-「何十」、100-「何十」の計算の方法を理解し、計算する。 ・2位数+1位数(繰り上がりなし)や、2位数-1位数(繰り下がりなし)の計算の方法を理解し、計算する。	1 1	・10を単位とした数の見方に着目し、「何十」+「何十」や「何十」-「何十」の計算の仕方を見いだしている。 ・2位数+1位数や2位数-1位数の計算の仕方を理解し、計算できる。			○		観察・ノート 観察・ノート		



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		かずのみかた	110	・2位数を様々な見方で捉え、数の感覚を豊かにする。	1	・数をいろいろな見方で表そうとしている。			○	観察・ノート		
		たしかめもんだい	111	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・2位数の構成や数の系列を理解し、数を数えることができる。また、簡単な場合の2位数の加法、減法の計算ができる。	○			観察・ノート		
2	なんじなんぶん	じこくのよみかた、あらわしかた	112～116	・時刻と生活を結び付けて考えながら、「何時何分」の時刻を読んだり、模型時計で表したりする。	2	・「何時何分」の時刻を読んだり、模型時計で表したりすることができる。 ・短針と長針の役割や関係をもとに時刻の読み方を考えたり、時刻と生活を結び付けて考えたりしている。	○	○		観察・ノート	小1 「なんじなんじはん」 ・時刻の読み方	小2 「時こくと時間」 ・時刻と時間の概念、時間の単位(日、時、分) ・簡単な時刻や時間の求め方
				・時刻の読み方を練習し、習熟する。	1	・「何時何分」の時刻を読んだり、模型時計で表したりすることができる。	○			観察・ノート		
	ずをつかつかってかんがえよう	ずをつかつかってかんがえよう	117～123	・順序数の問題について、加法や減法が適用できることを理解し、図を活用して問題を解決する。	1	・順序数の問題について、加法や減法を適用し、立式して答えを求めることができる。	○			観察・ノート	小1 「あわせていくつふえるといくつ」「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 ・加法、減法の意味と式、計算	小2 「たし算とひき算のかんけい」 ・逆思考の問題
				・前後の人数に1を加える問題について、図をもとに数量の関係を捉え、解決する。	1	・図をもとに数量の関係を捉えて立式し、その理由を説明している。		○		観察・ノート	「たしざんカード」「ひきざんカード」 ・加法、減法の習熟	
				・異種の量について、加法や減法が適用できることを理解し、図を活用して問題を解決する。	1	・異種の量について、加法や減法が適用できることを理解し、立式して答えを求めることができる。	○			観察・ノート	「3つのかずのけいさん」 ・3口の数の加法、減法	
				・求大の場面で加法が適用できることを理解し、図を活用して問題を解決する。	1	・求大の場面で加法を適用し、立式して答えを求めることができる。	○			観察・ノート	「たしざん」「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法	
				・求小の場面で減法が適用できることを理解し、図を活用して問題を解決する。	1	・求小の場面で減法を適用し、立式して答えを求めることができる。	○			観察・ノート		
				たしかめもんだい	124	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・図を用いて数量の関係を捉え、問題を解決している。		○		観察・ノート
		おなじかずずつわけよう	125	・具体物のいろいろな分け方を考え、図や式に表す。	1	・具体物の分け方を考え、図や式で表現している。		○		観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
3	かたちづくり	いろいろなならべ	126 ～ 128	・色板を用いていろいろな形を構成し、基本的な平面図形についての見方を深める。	1	・平面図形に親しみ、色板を用いた図形の構成活動をたのしみながら学んでいる。			○	観察・ノート	小1 「いろいろなかたち」 ・基本的な立体図形の特徴、分類、面の形	小2 「三角形と四角形」 ・三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形の定義と性質	
				・色板の移動について、ずらす(平行移動)、回す(回転移動)、裏返す(対称移動)などの操作に関心を持ち、その特徴を理解する。	1	・色板を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、いろいろな形を構成することを考え、どのような操作をしたか説明している。		○		観察・ノート			
			129 130	・数え棒を用いていろいろな形を構成し、基本的な平面図形についての見方を深める。	1	・中空の場合でも、中実のものと同様に物の形を認識し、数え棒を用いて、いろいろな形を構成することができる。	○			観察・ノート			
				・点と点を線でつないでいろいろな形を構成し、基本的な平面図形についての見方を深める。	1	・基本的な平面図形の特徴について理解し、点と点を線でつないで、いろいろな形を構成することができる。	○			観察・ノート			
			よみとるちからをのぼせう	131	・複数の情報の中から、必要な情報を選択し、適切に問題を解決する。	1	・複数の情報の中から、必要な情報がどれかを正しく判断し、説明している。		○		観察・ノート		
			プログラミングにちようせん!	132 133	・ゴールにたどり着くために、命令をどのような順序で組み合わせればよいかについて考える。また、左右についての理解を深める。	1	・命令カードの意味を理解し、どのような順序で組み合わせればよいかについて考えている。		○		観察・ノート		
			1年のふくしゅう	134 ～ 136	・1学年の復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	2	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
	テスト等		テスト+予備	13		○	○		ペーパーテスト等				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
4	せいりのしかた	せいりのしかた	16~21	・身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフに表し、それらを読み取って、特徴をつかむ。 ・表やグラフを読み取り、その特徴を捉えたり、観点を変えて表やグラフをつくったりする。	1 1	・表やグラフに表すことのよさに気づいている。 ・表やグラフの特徴に気づき、そのよさを考えている。			○	観察・ノート 観察・ノート	1年 「かずしらべ」 ・絵を用いたグラフ	3年 「ぼうグラフと表」 ・棒グラフ ・簡単な二次元の表 ・複数の棒グラフを組み合わせたグラフ		
			22	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすることができる。			○	観察・ノート				
			2けたのたし算	2けたのたし算	23~35	・既習の2位数+1位数の計算をもとに、「何十何」+「何十」の加法を10のまとまりとばらに分けて、計算する。 ・繰り上がりのない2位数の加法を十の位と一の位に分けて計算する。 ・繰り上がりのない2位数の加法の筆算の仕方を理解し、計算する。 ・繰り上がりのない2位数の加法について、いろいろな場合における筆算の仕方を理解し、計算する。 ・十の位に繰り上がる2位数の加法の筆算の仕方を理解し、計算する。 ・十の位に繰り上がる2位数の加法において、いろいろな場合の筆算の仕方を理解し、計算する。	1 1 1 1 1 1	・既習の加法の計算をもとに、「何十何」+「何十」の計算の仕方を考えようとしている。 ・2位数の加法は、十の位と一の位に分けて考えると計算できることを理解している。 ・前時で見いだした位ごとに分ける計算の仕方を筆算の仕方と結び付けて考えている。 ・「何十」+「何十何」や1位数+2位数などの加法について、筆算の仕方を理解し、計算できる。 ・知 十の位に繰り上がる2位数の加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。 ・一の位が空位になる計算や1位数+2位数などの繰り上がりのある2位数の加法について、筆算の仕方を理解し、計算できる。			○ ○ ○ ○ ○	観察・ノート 観察・ノート 観察・ノート 観察・ノート 観察・ノート	1年 「たしざん」 「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法	2年 「2けたのひき算」 ・2位数までの減法の筆算 ・「差+減数=被減数」の関係 「たし算とひき算のひっ算」 ・百の位に繰り上がる加法とその逆の減法の筆算 ・加法の結合法則 ・簡単な場合の3位数と1、2位数の加法、減法
	36 37	・具体的な場面を通して、加法の交換法則が成り立つことを理解する。			1	・見いだした加法の交換法則について、いつでも成り立つかどうかを調べている。			○	観察・ノート				
	38	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。			1	・2位数の加法を筆算で計算することができる。			○	観察・ノート				
	たし算のきまり	たし算のきまり			36~37	・既習の2位数の加法の計算の仕方をもとに、「何十何」-「何十」の減法を10のまとまりとばらに分けて計算する。	1	・2位数の加法の計算の仕方をもとに、「何十何」-「何十」も10のまとまりとばらに分けて計算できることを見いだしている。			○	観察・ノート	1年 「たしざん」 「ひきざん」 ・繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法	2年 「たし算とひき算のひっ算」 ・百の位に繰り上がる加法とその逆の減法の筆算 ・加法の結合法則

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)				
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度							
5	2けたのひき算	2けたのひき算	39～49	・繰り下がりのない2位数の減法を、十の位と一の位に分けて計算する。	1	・2位数の減法は、十の位と一の位に分けて考えると計算できることを理解している。	○			観察・ノート	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)				
				・繰り下がりのない2位数の減法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・繰り下がりのない2位数の減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート						
				・繰り下がりのない2位数の減法について、いろいろな場合における筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・答えに空位ができる計算や2位数－1位数などの減法について、筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート						
				・十の位から繰り下がる2位数の減法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・十の位から繰り下がる2位数の減法の筆算の仕方について、位ごとに分けて考え、説明している。		○		観察・ノート						
				・十の位から繰り下がる2位数の減法において、被減数の一の位が0の場合の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・既習の筆算をもとに、被減数の一の位が0の場合の筆算の仕方を考えている。		○		観察・ノート						
				・十の位から繰り下がる2位数の減法において、いろいろな場合の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・答えが1桁になる計算や2位数－1位数などの繰り下がりのある2位数の減法について、筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート						
		計算のたしかめ	50 51	・具体的な場面を通して、加法と減法の相互関係を理解し、それを活用して計算の確かめをする。	1	・見いだした加法と減法の相互関係について、いつでも成り立つかどうかを調べている。		○					観察・ノート			
		たしかめもんだい	52	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・2位数の減法を筆算で計算することができる。	○						観察・ノート			
		長さのた	長さのあらわし方	53～62	・長さの普遍単位「cm」を知り、1cm単位を目盛りテープの目盛りを読み取り、長さを表す。	1	・異なる任意単位では長さが比べられないことから、普遍単位の必要性に気づいている。		○					観察・ノート	小1 「ながさくらべ」「ひろさくらべ」 ・長さや広さの直接、間接比較、任意単位による比較	小2 「長いものの長さのたんい」 ・長さの単位(m)と測定
					・目盛りテープを用いて、cm単位で長さを測定する。	1	・cm単位での長さの表し方を理解し、長さを測定することができる。	○						観察・ノート		
					・1cmを10等分した1つ分の長さの単位「mm」を知り、cmとmmを用いた長さの表し方を理解する。	1	・cm単位の限界に気づき、下位単位であるmmの必要性を考えている。		○					観察・ノート		
・ものさしを用いた測定の仕方を理解し、物の長さをcm、mm単位で測定する。	1				・ものさしを用いた長さのはかり方を理解し、長さをはかることができる。	○				観察・ノート						
・1cm＝10mmの関係を用いて長さを表す。	1				・1cm＝10mmの関係を理解し、単位の換算ができる。	○				観察・ノート						

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
6	100より大きい数	い		・ものさしを用いて必要な長さの直線をひく。	1	・「直線」の用語とその意味、直線のひき方を理解し、ものさしを用いて必要な長さの直線をひくことができる。	○			観察・ノート	小1 「大きなかず」 ・120程度までの数の数概念	小2 「1000より大きい数」 ・10000までの数の数概念	
				・ものさしを用いて身の回りの物の長さをはかる。	1	・身の回りの物の長さに進んで関わり、様々な場所の長さを測定しようとしている。			○	観察・ノート			
			長さの計算	63	・長さの加法及び減法が用いられる場面を知り、簡単な長さの加減の計算をする。	1	・長さの簡単な加減の計算ができる。	○					観察・ノート
			たし算とひき算	64 65	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・長さの単位cm、mmの意味や単位の間隔を理解し、ものさしを用いて長さを測定したり、必要な長さの直線をひいたりすることができる。	○					観察・ノート
		数の あ ら わ し 方	66 ～ 76	・3位数の構成を理解し、数えたり、表したり、読んだりする。	2	・3位数の数え方、構成、表し方、読み方を理解し、表したり、読んだりすることができる。 ・既習の数の数え方を生かして、具体物の数を工夫して数えようとしている。	○		○	観察・ノート			
				・空位のある3位数の構成を理解し、表したり、読んだりする。	1	・空位のある3位数の構成や表し方、読み方を理解し、表したり、読んだりすることができる。	○			観察・ノート			
				・10を10個以上集めた数を、何百何十と捉える。	1	・10を10個以上集めた数を表すことができる。	○			観察・ノート			
				・何百何十を10のいくつ分と捉える。	1	・10を単位として数を構成したり、相対的にみたりしている。			○	観察・ノート			
				・数直線の読み取りを通して、3位数の順序、系列を理解する。	1	・数直線の仕組みを理解し、数直線上に表された数を読んだり、数直線上に数を表したりすることができる。	○			観察・ノート			
				・3位数の大小比較の仕方を理解する。	1	・3位数の大小比較の仕方を理解している。	○			観察・ノート			
千	77	・1つの数を多面的にみることを通して、数感覚を豊かにする。	1	・数をいろいろな見方で表そうとしている。			○	観察・ノート					
		・1000の構成や大きさ、表し方、読み方を理解する。	1	・1000の構成や大きさ、表し方、読み方を理解している。	○			観察・ノート					
		・何十どうしの加法で、繰り上がりのある計算や、百何十から何十をひく減法で、繰り下がりのある計算をする。	1	・何十と何十の加法及びその逆の減法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート					

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		たしかめもんだい	79 80	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 1000までの数の構成、表し方、系列、大小、相対的な見方を理解し、数を表したり、何十と何十の加法及びその逆の減法の計算をしたりすることができる。	○			観察・ノート		
		読みとる力をのばそう	81	・ 身の回りで使われている数とその仕組みに興味をもつ。また、数を用いて位置が整理できることを理解し、情報から位置を特定したり、位置を特定する情報をついたりする。	1	・ 与えられた情報から、位置を特定したり、位置を表す説明を多様に表現したりできる。	○			観察・ノート		
		プログラミングにちようせん！①	82 83	・ 数の見方をひろげるとともに、目的の数にするために、命令をどのような順序で組み合わせればよいかについて考えたり、何度繰り返せばよいかについて考えたりする。	1	・ 数を多面的に捉え、どのような順序で命令を組み合わせ、何度繰り返せば目的の数になるかを考えている。		○		観察・ノート		
		ふくしゅう	84	・ 復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・ 既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
	かさの たんい	かさの あらわし方	85 ～ 92	・ かさの普遍単位「dL」を知り、水のかさをdL単位で表す。	1	・ かさの単位に「デシリットル」があり、「dL」と書くことを理解し、dLを用いてかさを表すことができる。	○			観察・ノート	小1 「かさくらべ」 ・ かさの直接、間接比較、任意単位による比較	
・ かさの単位「L」を知り、1L=10dLの関係を理解する。				1	・ 長さの測定と同じように、十進構造に着目して、10dL=1Lであることを考えている。		○		観察・ノート			
・ 1Lの水を予想して容器に入れたり、いろいろな入れ物に入る水のかさを測定したりして、かさに対する興味・関心を高め、量感を養う。				1	・ dLでははかりきれない量に着目し、dLより小さい単位がないかと新しい問題を見いだしている。			○	観察・ノート			
・ かさの単位「mL」を知り、1L=1000mL、1dL=100mLの関係を理解する。				1	・ mL単位の必要性と、1L=1000mL、1dL=100mLの関係を理解している。	○			観察・ノート			
・ かさの簡単な加減の計算をする。				1	・ かさの簡単な加減の計算ができる。	○			観察・ノート			
たしかめもんだい		93	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ かさの単位とその関係を理解し、水のかさを表したり、かさの簡単な加減の計算をしたりすることができる。	○			観察・ノート			
7				・ 教p.94の絵をもとに、駅で電車の発車を待つことなどの経験を話し合い、時刻や時間に対する興味・関心を高め、本単元の学習の見通しをもつ。	1	・ 時刻と時間の学習を生活と結び付けて捉え、時間の求め方などに進んで関わろうとしている。			○	観察・ノート	小1 「なんじなんじはん」 「なんじなんぶん」 ・ 時刻の読み方	小3 「時こくと時間」 ・ 時刻や時間の求め方 ・ 短い時間の単位(秒)

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	時こくと時間	時こくと時間	94～100	・1時間＝60分の関係を理解する。また、時間の求め方などに習熟する。	1	・1時間＝60分の関係を理解し、簡単な場合の時間を求めることができる。	○			観察・ノート		
				・「午前」、「午後」の用語とそれらの意味を理解し、それらを用いて時刻を表す。また、短針が1周するのに要する時間が12時間であることと、1日＝24時間の関係を理解する。	2	・「午前」、「午後」の用語とそれらの意味や、1日＝24時間の関係を理解し、「午前」、「午後」を用いて時刻を表すことができる。	○			観察・ノート		
				・簡単な場合について、ある時刻から一定時間後の時刻や、一定時間前の時刻を求める。	1	・時計の文字盤や数直線をもとに、ある時刻から一定時間後の時刻の求め方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
		たしかめもんだい	101～103	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・時刻と時間の意味の違いや、1時間＝60分、1日＝24時間などの関係を理解し、時刻や時間を求めることができる。	○			観察・ノート		
		時こくのあらわし方ふくしゅう	104	・時刻表をもとに、24時制での時刻の表し方とそのよさを理解する。	1	・12時制と24時制の表し方を理解している。		○		観察・ノート		
			105	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
9	たし算のひっ算	たし算のひっ算	106～111	・既習の計算を振り返り、十の位が繰り上がる2位数＋2位数や百の位から繰り下がる3位数(百の位が1)－2位数に対する見直しをもつ。	1	・既習事項をもとにして、十の位が繰り上がる2位数＋2位数の筆算の仕方を考えようとしている。			○	観察・ノート	小2 「2けたのたし算」 ・2位数までの加法の筆算 ・加法の交換法則「2けたのひき算」 ・2位数までの減法の筆算	小3 「たし算とひき算の筆算」 ・4位数までの加法、減法の筆算
			・2位数＋2位数で、一の位と十の位が繰り上がる加法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。	1	・2位数＋2位数で、一の位と十の位が繰り上がる加法の筆算の仕方を、既習事項をもとにして考え、説明している。		○		観察・ノート	・「差＋減数＝被減数」の関係 「100より大きい数」 ・何十の加法とその逆の減法		
			・2位数までの加法で、一の位、十の位と波及的に繰り上がる加法を筆算で計算する。	1	・2位数までの加法で、一の位、十の位と波及的に繰り上がる加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
たし算のきまり		112 113	・加法では、たす順序を変えても答えは変わらないこと(加法の結合法則)を理解し、それを活用して計算を工夫する。	1	・加法の結合法則を理解し、工夫して計算することができる。	○			観察・ノート			
		れんしゅう	114	・基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。	1	・2位数までの加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	たし算とひき算のひっ算	ひき算のひっ算	115～120	・3位数(百の位が1)から2位数をひいて、百の位から十の位へ繰り下がる減法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。	1	・既習事項をもとにして、3位数(百の位が1)－2位数で、百の位から十の位へ繰り下がる減法の筆算の仕方を考えようとしている。			○	観察・ノート			
				・3位数(百の位が1)から2位数をひいて、百の位と十の位から繰り下がる減法の計算原理や方法を理解し、筆算で計算する。	1	・3位数(百の位が1)－2位数で、百の位と十の位から繰り下がる減法の筆算の仕方を既習事項をもとにして考え、説明している。			○	観察・ノート			
				・3位数(百の位が1)から2位数をひいて、百の位から十の位と一の位へ波及的に繰り下がる減法を筆算で計算する。	1	・3位数(百の位が1)－2位数で、百の位から十の位と一の位へ波及的に繰り下がる減法の筆算の仕方を既習事項をもとにして考え、説明している。			○	観察・ノート			
				・3位数(百の位が1)から1、2位数をひいて、百の位から十の位と一の位へ波及的に繰り下がる減法の理解を深める。	1	・3位数(百の位が1)－1、2位数で、百の位から十の位と一の位へ波及的に繰り下がる減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。			○	観察・ノート			
			大きな数のたし算とひき算	121	・既習事項をもとにして、3位数と1、2位数の加法及び3位数から1、2位数をひく減法を筆算で計算する。	1	・3位数+1、2位数及び3位数－1、2位数の筆算の仕方を理解し、計算できる。			○	観察・ノート		
			たしかめもんだい	122	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・2位数までの加法(和が3位数)やその逆の減法、及び簡単な場合の3位数の加法、減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。			○	観察・ノート		
			ひっ算をつくらう	123	* 2位数と2位数の加法及び減法の計算の理解を深める。	1	・加法の交換法則や加法と減法の相互関係、筆算の手順をもとに、□に当てはまる数を筋道立てて考えている。			○	観察・ノート		
			ふくしゅう	124	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。			○	観察・ノート		
	三角形と四角形	125～128		・「三角形」、「四角形」の用語とそれらの定義、構成要素の「へん」、「ちょう点」について理解し、三角形や四角形を弁別したり、かいたりする。	2	・「三角形」、「四角形」の用語とそれらの定義、構成要素(辺、頂点)について理解している。 ・辺や頂点に着目して、三角形や四角形を弁別したり、特徴を見いだしたりし、それを説明している。			○	○	観察・ノート	小1 「かたちづくり」 ・色板や数え棒などによる平面図形の構成	小3 「三角形と角」 ・二等辺三角形、正三角形の定義と性質、かき方 ・角の概念と角の大小
				・定義に基づいて、三角形か四角形かを弁別し、理由を説明する。	1	・定義に基づいて三角形か四角形かを弁別し、そのわけを説明している。				○	観察・ノート		



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
10	三角形と四角形	長方形と正方形	129～131	・不定形の紙を折って直角をつくる活動を通して、「直角」の用語とその意味を理解し、身の回りから直角を探す。	1	・身の回りから、直角をいろいろと見つけようとしている。			○	観察・ノート				
				・紙を折って長方形をつくる活動を通して、「長方形」の用語とその定義、性質を理解する。	1	・構成活動をもとに、長方形の構成要素の特徴を見いだしている。		○	観察・ノート					
				・正方形をつくる活動を通して、「正方形」の用語とその定義を理解する。	1	・構成活動をもとに、正方形の特徴を見いだすとともに、定義をもとに図形を弁別し、そのわけを説明している。		○	観察・ノート					
		直角三角形	132 133	・直角三角形をつくる活動を通して、「直角三角形」の用語とその定義を理解する。	1	・直角三角形の特徴を見いだすとともに、定義をもとにして図形を弁別し、そのわけを説明している。		○	観察・ノート					
				・方眼を使って長方形や正方形、直角三角形をかく活動を通して、長方形や正方形、直角三角形についての理解を深める。	1	・長方形や正方形、直角三角形の定義や性質を理解し、方眼を使って作図することができる。	○		観察・ノート					
		もようづくり	134	・合同な長方形、正方形、直角三角形の色板を敷き詰める活動を通して、各図形の理解を深め、平面のひろがりや模様的美しさを感じ取る。	1	・平面を敷き詰める活動をたのしみ、模様的美しさや平面のひろがりについて気づいている。			○	観察・ノート				
		たしかめもんだい	135 136	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 ・身の回りから三角形や四角形とみることができる物を進んで見つけようとする。	2	・長方形、正方形、直角三角形の用語やその構成要素、定義や性質について理解し、方眼を用いて作図することができる。 ・身の回りの様々な物について、三角形や四角形とみることができる形を進んで見つけようとしている。	○		○	観察・ノート				
		かけ算	137～142	・具体的な場面を調べたり、ブロックを用いたりして、「1つ分の大きさのいくつ分」という意味を理解する。	1	・全体の数量を基準とする大きさのいくつ分と表現できる。	○			観察・ノート			小1年 「3つのかずのけいりさん」 ・2ずつ、5ずつまとめて数えること 「たしさん」 ・繰り上がりのある加法	小2年 「かけ算九九づくり」 ・6～9、1の段の九九  小3年 「わり算」 ・除法の意味と式、計算
				・乗法の意味や式表示の仕方、乗法の答えは加法(同数累加)によって求められることを理解する。	1	・乗法は同数の物がいくつあるときに用いることや式表示の仕方を理解し、乗法の場面を式に表したり、答えを累加で求めたりすることができる。	○			観察・ノート				
				・乗法の意味や式表示の仕方の理解を深める。	1	・乗法の式をおはじきの並びで表したり、おはじきの並びから立式したりすることができる。	○			観察・ノート				
・身の回りから同じ数ずつまとめた物を探し、乗法の式表示の理解を深める。	1			・既習の乗法の式を使って、身の回りの様々な物の数を表そうとしている。			○	観察・ノート						

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
11	かけ算	九九	143 ～ 150	・ 2のいくつかの大きさを求めて、2の段の九九を構成する。また、「九九」の用語と意味を理解する。	1	・ 2の段の九九の構成の仕方を理解し、構成することができる。	○			観察・ノート			
				・ 2の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・ 2の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○			観察・ノート			
				・ 5のいくつかの大きさを求めて、5の段の九九を構成する。	1	・ 5の段の九九の構成の仕方を理解し、構成することができる。	○			観察・ノート			
				・ 5の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・ 5の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○			観察・ノート			
				・ 3の段の九九を構成することができる。「かけられる数」、「かける数」の用語とそれらの意味を理解する。また、3の段では、乗数が1増えると答えが3増えることを理解する。	1	・ 乗数が1増えると答えが3増えることを理解し、3の段の九九を構成することができる。また、「かけられる数」、「かける数」の用語とそれらの意味を理解している。	○			観察・ノート			
				・ 3の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・ 3の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○			観察・ノート			
				・ 乗数が1増えると答えが4増えることを活用して、4の段の九九を構成する。	1	・ 乗数が1増えると答えが4増えることを活用して、4の段の九九の構成を考えている。		○		観察・ノート			
		・ 4の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・ 4の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○			観察・ノート					
		ばいとかけ算	151 152	・ もとにする量のいくつかを「ばい」で表現することを知り、その大きさを乗法の式に表す。	1	・ 「〇ばい」の意味を理解し、「ばい」という用語を用いたり、乗法の式に表したりすることができる。	○				観察・ノート		
				・ 分離量でも連続量と同じように、「ばい」を用いられることを知り、場面を乗法の式に表す。	1	・ 「ばい」の理解を深め、分離量の場面を乗法の式に表すことができる。	○				観察・ノート		
		たしかめもんだい	153	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 乗数と積の関係を理解するとともに、2の段から5の段の九九を唱えることができる。	○				観察・ノート		
かけ算ビンゴ	154	* 2の段から5の段の九九カードを用いてかけ算ビンゴをし、2の段から5の段の九九に習熟する。	1	・ 2の段から5の段の九九を正しく唱えることができる。	○				観察・ノート				
九九のカードゲーム	155	* 2の段から5の段の九九カードを用いたゲームをし、2の段から5の段の九九に習熟する。	1	・ 2の段から5の段の九九の答えについて理解し、正しく唱えることができる。	○				観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
12	かけ算九九づくり	かけ算九九づくり	156 ～ 163	・乗数が1増えると答えが6増えることなどを活用して、6の段の九九を構成する。	1	・既習の乗法を活用して、6の段の九九の構成を考えている。			○	観察・ノート	小2 「かけ算」 ・乗法の意味と式 ・2～5の段の九九 ・倍概念  小3年 「わり算」 ・除法の意味と式、 計算	小2 「かけ算のきまり」 ・乗法の計算法則の素地 ・九九表の拡張 ・九九を用いた問題解決	
				・6の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・6の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○		観察・ノート				
				・乗数が1増えると答えが7増えることなどを活用して、7の段の九九を構成する。	1	・6の段の構成で学んだ既習の乗法の活用の仕方を7の段の構成でも用いようとしている。			○	観察・ノート			
				・7の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・7の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○		観察・ノート				
				・乗数が1増えると答えが8増えることなどを活用して、8の段の九九を構成する。	1	・乗数が1増えると答えが8増えることなどを理解し、8の段の九九を構成することができる。	○		観察・ノート				
				・8の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・8の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○		観察・ノート				
				・乗数が1増えると答えが9増えることなどを活用して、9の段の九九を構成する。	1	・8の段の構成で学んだ既習の乗法の活用の仕方を9の段の構成でも用いようとしている。			○	観察・ノート			
				・9の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり、適用したりする。	1	・9の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。	○		観察・ノート				
			・1の段の九九の意味を理解し、九九を構成し、唱え方を知り、適用する。	1	・1の段の九九の意味や構成の仕方を理解し、唱えることができる。	○		観察・ノート					
			たしかめもんだい	164 165	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	知6、7、8、9及び1の段の九九の構成の仕方を理解し、唱えることができる。	○		観察・ノート			
			プログラミングにしようせん！②	166 167	・乗法の学習を生かした簡単なプログラムを作成することを通して、同数累加の場面で乗法で表されることを改めて確かめ、乗法についての理解を深める。	1	・乗法の学習を生かし、どのような順序で命令を組み合わせ、何回繰り返せば問題文に合ったプログラムを作成できるか考えている。			○			観察・ノート
			読みとる力をのばそう	168 169	・公園探検のしおりの中の情報から、必要な情報を取捨選択し、それをういて問題を解いたり、つくったりする。	1	・提示された情報の中から必要な情報を選び取ったり、情報どうしを組み合わせて活用したりしている。			○			観察・ノート
長		・長さの単位「m」について知り、1m=100cmの関係を理解する。	1	・m単位の必要性や1m=100cmの関係を理解することができる。	○			観察・ノート	小2年 「長さのたんい」 ・長さの単位(cm、mm)と測定	小3年 「長さ」 ・巻尺による測定 ・長さの単位(km)			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	長いものの長さのたない	長いものの長さのあらわし方	170 ~ 175	・長い物の長さについて、mとcmの複名数で表したり、単名数で表したりする。	1	・長い物の長さを複名数や単名数で表すことができる。	○			観察・ノート			
				・身の回りの物の長さの見当をつけ、実際に1mものさしで測定し、その長さをm、cmの単位で表す。	1	・身の回りの物の長さに進んで関わり、様々な場所の長さを測定しようとしている。			○	観察・ノート			
				・m、cm単位で表された長さの加減の計算をする。	1	・m、cm単位で表された長さの加減の計算の仕方を理解し、長さの加減の計算ができる。	○			観察・ノート			
			たしかめもんだい	176	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・長さの加法または減法の問題をつくっている。			○	観察・ノート		
			ふくしゅう	177	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項の理解を確実にする。			○	観察・ノート		
			読みとる力をのばそう	178 179	・長さの問題について、与えられた情報を整理したり、選択したりして、筋道立てて考えることができる。また、自分の考えを数学的に表現する。	1	・自分の考えを、式や言葉を使って表現している。			○	観察・ノート		
		1	1000より大きい数	大きな数のあらわし方	180 ~ 187	・4位数の構成を理解し、物の数を数えて、数字で表したり、読んだりする。	1	・既習を生かして4位数を表したり、読んだりしようとしている。			○	観察・ノート	小2年 「100より大きい数」 ・1000までの数の数概念
	・空位のある4位数の構成を理解し、表したり、読んだりする。	1			・空位のある4位数の構成や表し方、読み方を理解し、表したり、読んだりすることができる。	○			観察・ノート				
	・100を10個以上集めた数を、何千何百と捉える。	1			・100を10個以上集めた数を表すことができる。	○			観察・ノート				
	・何千何百を100のいくつ分と捉える。	1			・何千何百を100を単位として表すことができる。	○			観察・ノート				
	・4位数を数直線上に表したり、数直線を読み取ったりする。また、4位数の大小比較の仕方を理解する。	1			・数直線上に表された数を読んだり、数を数直線上に表したりすることができる。また、4位数の大小比較の仕方を理解している。	○			観察・ノート				
	・4位数を様々な見方で表し、数の理解を深める。	1			・4位数を多面的にみて、表すことができる。			○	観察・ノート				
	一万	188 189		・1000を10個集めた数を10000と表して、「一万」と読むことを知る。また、10000を数直線と対応させ、10000についての理解を深める。	1	・10000の構成や、大きさ、表し方、読み方を理解し、10000までの数を数直線上に表したり、表された数を読み取ったりすることができる。	○			観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
2	たし算とひき算のかんけい	何百のたし算とひき算	190	・何百に何百をたす加法や、何百から何百をひく減法、1000から何百をひく減法の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・100を単位とした数の見方に着目し、何百と何百の加法や減法の計算の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート				
			たしかめもんだい	191	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・4位数の構成、表し方、大小、数直線の読み方を理解している。	○			観察・ノート			
		たし算とひき算のかんけい	192～199	・テープ図の意味と表し方を理解し、場面をテープ図に表し、数量関係を式に表す。	1	・テープ図の意味や表し方を理解し、問題場面をテープ図に表すことができる。	○			観察・ノート	小1年 「ずをつかってかんがえよう」 ・順序数の加減法	小3年 「□を使った式」 ・□を用いた数量関係の式表示、□に当てはまる数の求め方		
				・部分を求める場面をテープ図に表し、数量の関係性を式に表すことで、加法と減法の相互関係の理解を深める。	1	・部分を求める場面をテープ図に表し、全体を求めるときは加法、部分を求めるときは減法が用いられることを理解している。	○			観察・ノート				
				・数量の関係をテープ図に表し、加法の逆思考の問題を解決する。	1	・加法の逆思考の問題について、数量の関係に着目し、場面をテープ図に表して、演算決定している。		○		観察・ノート				
				・数量の関係をテープ図に表し、減法逆の減法の問題を解決する。	1	・減法逆の減法の問題について、数量の関係に着目し、場面をテープ図に表して、演算決定している。		○		観察・ノート				
				・数量の関係をテープ図に表し、減法の逆思考の問題を解決する。	1	・減法の逆思考の問題について、数量の関係に着目し、場面をテープ図に表して、演算決定している。		○		観察・ノート				
		たしかめもんだい	200	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・テープ図の意味や表し方を理解し、図をもとに場面を式に表すことができる。	○				観察・ノート			
		どんな計算するのかな	201	・具体的な問題場面で、どんな計算になるか考え、演算決定をして、問題を解決する。	1	・数量の関係を正しく捉え、式を立てた根拠を言葉、テープ図などで説明することができる。		○			観察・ノート			
		か			・乗法九九の表を見て気づいたことをもとにして、乗数と積の関係を乗法の性質としてまとめる。	1	・乗法九九の表から乗法について成り立つ性質やきまりをいろいろと見つけようとしている。			○		観察・ノート	小2年 「かけ算九九づくり」 ・6～9、1の段の九九	小3年 「かけ算」 ・乗法の交換、分配法則など ・10や0の乗法
					・乗法九九の表を見て気づいたことをもとにして、被乗数と乗数を入れ替えた積を比べ、乗法の交換法則が成り立つことをまとめる。	1	・乗法の交換法則が成り立つことを理解している。	○			観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	かけ算のきまり	かけ算のきまり	202～209	・○の段と△の段の答えをたすと、(○+△)の段ができることを調べる。	1	・○の段と△の段の答えをたすと、(○+△)の段の答えができることを理解している。	○			観察・ノート				
				・乗法について成り立つ性質やきまりを活用して、被乗数や乗数が12までの乗法の答えの求め方を考える。	1	・乗法のきまりを活用して、被乗数や乗数が12までの乗法の答えの求め方を考えている。		○		観察・ノート				
				・全体の個数を乗法九九を活用して求めたり、個数を求める図や式から思考過程を読み取ったりする。	2	・全体の数を乗法の式を用いて、求めることができる。 ・数のまとまりに着目し、全体の数を工夫して求める方法を考え、説明している。	○	○		観察・ノート				
	たしかめもんだい	210 211	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・乗法について成り立つ性質やきまりを理解し、それを用いて乗数が10の計算をすることができる。	○				観察・ノート				
			分数	212～217	・具体物の操作を通して、2つに等分した1つ分の大きさをもとの大きさの1/2と表すことを理解する。 ・様々な形のパンを半分にする場面から「半分」の仕方や意味について関心をもつ。	2	・1/2の意味と表し方について理解している。 ・生活の場面から、半分にした大きさの表し方について関心をもち、進んで分数の意味や表し方について考えようとしている。	○	○				観察・ノート	小3年 「分数」 ・分数の概念 ・分数と小数の関係
					・具体物の操作を通して、4つに等分した1つ分の大きさをもとの大きさの1/4と表すことを理解し、1/3、1/8などの分数についても同じように考える。	2	・等分した1つ分の大きさの表し方について、具体物の操作の結果から、もとの大きさとの関係に着目し、1/2の学習から類推的に考えている。		○				観察・ノート	
・チョコレート等を等分する場面における1人分の大きさや個数について考え、分数の意味と表し方の理解を深める。	1	・チョコレート等を等分する分け方を考え、「12個の1/○は△個」などと表現している。		○		観察・ノート								
3	たしかめもんだい	218	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・簡単な分数の意味と表し方について理解している。	○			観察・ノート					
はこの形	はこの形	219～222	・身の回りにある箱の形の面に着目し、面を紙に写し取って形や数を調べ、その特徴を理解する。	2	・箱の形やさいころの形の面に着目し、特徴を見いだしている。 ・身の回りにある箱の形やさいころの形の面の形や数について調べようとしている。		○	○	観察・ノート	小1年 「いろいろなかたち」 ・基本的な立体図形の特徴、分類、面の形	小4年 「直方体と立方体」 ・直方体と立方体の定義と性質、展開図、見取図、面・辺の位置関係 ・位置の表し方			
			・切り取った面をテープで貼り合わせて、箱の形やさいころの形を作り、面と面の位置関係を調べ、その特徴を説明する。	1	・箱の形やさいころの形の構成を通して、面と面の位置関係を見いだしている。		○		観察・ノート					

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	形			・ひごと粘土玉を使って、箱の形を作る活動を通して、「へん」、「ちよう点」を知り、それらの特徴を理解する。	1	・箱の形の構成を通して、辺、頂点などの構成要素の特徴を見いだしている。		○		観察・ノート		
	たしかめもんだい	223		・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・箱の形やさいころの形について、面の形や数、辺の長さや数、頂点の数などの構成要素の特徴を理解している。	○			観察・ノート		
	読みとる力をのばそう	224 225		・さいころの対面の目の和が7になることを利用して、さいころの隠れた面の数を考える。	1	・さいころを積んだときの見えない面の目の数の和について、さいころが2個のときをもとに考え、求め方を説明している。		○		観察・ノート		
	2年のふくしゅう	226 ～ 229		・2学年の復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	2	・既習事項を理解している	○	○		観察・ノート		
	テスト等			テスト+予備	21		○	○		ペーパーテスト等		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
4	かけ算	かけ算のきまり	16～26	・乗数が1増減すると積は被乗数分だけ増減することや、乗法の交換法則について理解する。	1	・乗法に関して成り立つ性質を、 $7 \times 4$ の答えの求め方に生かそうとしている。			○	観察・ノート	小2年 「かけ算のきまり」 ・乗法の計算法則の素地 ・九九表の拡張 ・九九を用いた問題解決	小3年 「わり算」 ・除法の意味と式、計算 「かけ算の筆算」 ・2、3位数×1位数の筆算 ・乗法の結合法則 ・言葉の式や図表示		
				・被乗数や乗数を分けて計算しても積は同じになること(乗法の分配法則)を理解する。	1	・ $7 \times 6$ の答えの求め方を、分配法則の考え方をもとにして考え、説明している。		○	観察・ノート					
				・乗数や被乗数が10の場合の乗法の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・乗数や被乗数が10の乗法の計算の仕方を理解している。	○		観察・ノート					
				・乗法に関して成り立つ性質を活用して、乗数が10より大きい場合の乗法の計算の仕方を考える。	1	・乗法に関して成り立つ性質をもとに、乗数が10より大きい場合の乗法の計算の仕方を考え、説明している。		○	観察・ノート					
				・乗数や被乗数が分からないときは、九九表を使ったり、九九で順に数を当てはめたりすれば、その数を見つけることができることを理解する。	1	・乗数、被乗数の求め方をかけ算のきまりをもとにして考え、説明している。		○	観察・ノート					
		0のかけ算	27 28	・乗数や被乗数が0の場合について、乗法の意味を理解するとともに、その積が常に0であることが分かる。	1	・乗数や被乗数が0の乗法の式表示とその意味、積について理解している。	○			観察・ノート				
		たしかめ問題	29 30	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・乗法に関して成り立つ性質を理解している。	○			観察・ノート				
		ふくろう先生のなるほど算数教室1	31	・乗法九九の表の中から、和が100になる数を見つける活動を通して、乗法に対する興味・関心を高める。	1	・乗法九九に関する性質を調べることに主体的に取り組み、その性質の面白さに気づいている。			○	観察・ノート				
		たし算の筆算	32～36	・繰り上がりが1回の3位数までの加法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・既習の加法の計算をもとに、3位数までの加法の筆算の仕方を考え、説明している。			○	観察・ノート			小2年 「1000より大きい数」 ・何百の加法、減法	小3 「10000より大きい数」 ・万を単位にした加法、減法 「小数」 ・1/10の位までの小数の加法、減法
				・一の位と十の位が繰り上がる3位数までの加法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・一の位と十の位が繰り上がる3位数までの加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○		観察・ノート					
・4位数までの加法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1			・4位数までの加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○		観察・ノート							



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
5	たし算とひき算の筆算	ひき算の筆算	37～41	・繰り下がりが1回の3位数までの減法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・既習の減法の計算をもとに、3位数までの減法の筆算の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
				・百の位と十の位から繰り下がる3位数までの減法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・百の位と十の位から繰り下がる3位数までの減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。		○		観察・ノート		
				・被減数に空位があり、波及的に繰り下がる3位数までの減法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・被減数に空位があり、波及的に繰り下がる3位数までの減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。		○		観察・ノート		
				・4位数までの減法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・4位数までの減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。		○		観察・ノート		
	たしかめ問題	42 43	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・4位数までの加法及び減法の計算が筆算でできる。		○		観察・ノート			
	暗算	44	・2位数どうしの加法と減法の暗算をする。	1	・2位数どうしの加法や減法の計算が暗算でできる。		○		観察・ノート			
	ふくろう先生のなるほど算数教室2	45	・魔方陣づくりを通して、加法や減法の計算に習熟し、数や計算への興味・関心を高める。	1	・魔方陣をつくることにより、数の不思議さに興味をもち、進んで取り組んでいる。			○	観察・ノート			
	整理のしかた	46～48	・身近な事象について、「正」の字を用いて数量を調べる。また、その結果を表に表して整理し、考察する。	1	・「正」の字を用いて数量を調べたり、表に整理したりするよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。			○	観察・ノート	小2年 「せいりのしかた」 ・簡単な表や○を使ったグラフ	小4年 「折れ線グラフと表」 ・折れ線グラフ ・棒グラフとの複合グラフ ・二次元の表、2観点4分類の表	
			・棒グラフの特徴や読み方を理解し、資料の特徴を読み取る。また、棒グラフで表すよさや表し方の工夫について理解する。	1	・棒グラフのよさや表し方の工夫について考え、説明している。			○	観察・ノート			
			・横向きの棒グラフや1目盛りの大きさが1でない棒グラフの読み方を理解する。また、時系列の順に表した棒グラフのよさを理解する。	1	・1目盛りの大きさに留意して棒グラフを読み取ることができる。			○	観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)			
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
	ぼうグラフと表	ぼうグラフ	49～58	・棒グラフの表し方を理解し、資料を棒グラフに表す。	2	・棒グラフの表し方を理解し、資料をもとに棒グラフをかくことができる。 ・資料の最大値とグラフ用紙の大きさをもとに、グラフの1目盛りの大きさを決定している。	○	○		観察・ノート					
				・目盛りのとり方に気をつけて、正しく棒グラフを読み取る。		1	・目盛りのとり方によって、棒グラフの見え方が変わることを理解している。	○					観察・ノート		
				・観点を決めて資料を分類整理し、表や棒グラフに表し、考察する。		1	・観点を決めて資料を整理し、表やグラフをもとに資料の特徴を考察している。		○				観察・ノート		
		表やグラフのくふう	59・60	・一次元の表をもとに二次元の表をつくり、資料の特徴を読み取る。また、一次元の表と比較し、二次元の表のよさを捉える。	1	・資料を二次元の表にまとめ、資料の特徴を考察している。			○				観察・ノート		
				・複数の棒グラフを組み合わせたグラフの読み方や表し方を理解する。	1	・複数の棒グラフを組み合わせたグラフの読み方や表し方、そのよさについて理解している。	○			観察・ノート					
		たしかめ問題	61～63	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・棒グラフを読み取ったり、表したりすることができる。	○			観察・ノート					
		読み取る力をのばそう	64	・身近な事象について、表された表やグラフを活用して資料を完成させ、その特徴を読み取る。	1	・資料を表や棒グラフに表して、その特徴を読み取ったり、批判的に考察したりしている。			○				観察・ノート		
		ふくしゅう	65	・復習問題に取り組む、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○						観察・ノート		
		時こくや時間のもともめ方	66～73	・ある時刻から一定時間前後の時刻を求める。 * 筆算形式での時刻の計算の仕方を知る。	1	・時計の文字盤などをもとに、ある時刻から一定時間前後の時刻の求め方を考え、説明している。				○				観察・ノート	小2年 「時こくと時間」 ・時刻と時間の概念、時間の単位(日、時、分) ・簡単な時刻や時間の求め方
				・ある時刻からある時刻までの時間を求める。	1	・ある時刻からある時刻までの時間の求め方を理解し、求めることができる。	○							観察・ノート	
・2つの時間をたした時間やひいた時間を求める。	1			・2つの時間をたした時間やひいた時間の求め方を理解し、求めることができる。	○					観察・ノート					

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		短い時間	71	・短い時間の単位「秒」や、1分=60秒の関係について理解し、分と秒を用いて時間を表す。	1	・1分=60秒の関係を理解している。	○			観察・ノート			
		たしかめ問題	72 73	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・時刻や時間を求めることができる。また、1分=60秒の関係を理解している。	○			観察・ノート			
6	わり算	1人分は何こ	74 ~ 78	・具体的な操作などを通して、等分除の意味を理解し、その場面を除法の式に表せることを知る。 ・等分除の答えは乗法九九を用いて求められることを理解する。	1  1	・等分したときの1つ分の数を求めるとき(等分除)は、除法の式に表すことを理解している。 ・等分除の意味から、乗法九九を用いて答えを求める方法を考え、説明している。	○			観察・ノート  観察・ノート	小2年 「かけ算九九づくり」 ・6~9、1の段の九九	小3年 「あまりのあるわり算」 ・あまりのある除法の計算 ・除法の確かめ方 「答えが2けたになるわり算」 ・商が2位数になる除法 「倍とかけ算、わり算」 ・倍と乗法、除法	
			何人に分けられる	79 ~ 83	・具体的な操作などを通して、包含除の意味を理解する。また、包含除の場合も、場面を除法の式に表せることを理解する。 ・包含除の場面でも、答えは乗法九九を用いて求められることを理解し、除法の計算をする。 ・具体的な場面の考察を通して、等分除、包含除と乗法との関係について理解する。	1  1	・等分除の意味や答えの求め方を、具体物や図、式を用いて考えたことを振り返り、包含除でもそれらを用いようとしている。 ・包含除の答えも、乗法九九を用いて求められることを理解し、求めることができる。 ・等分除、包含除の意味や違いを、既習の乗法や図をもとに考え、説明している。			○	観察・ノート  観察・ノート		
		0や1のわり算	84	・0をわったり、1でわったりする計算の意味を理解し、計算する。	1	・被除数が0の場合や除数が1の場合の除法の意味を理解している。	○				観察・ノート		
		たしかめ問題	85 86	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・乗法九九1回適用の除法の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	○				観察・ノート		
		読み取る力をのばそう	87	・「木の数」と「木と木の間の数」の関係に着目し、図をもとに規則性を見いだして問題を解決する。	1	・植木算の場面で、木の数と木と木の間の数の関係を、図をもとに見いだしている。			○		観察・ノート		
		あまりの	88	・乗法九九を1回適用する除法(包含除)で、あまりの意味と計算の仕方を理解する。	1	・「あまり」、「わりきれない」、「わりきれぬ」の用語とそれらの意味や、あまりのある除法の式表示と計算の仕方を理解している。	○				観察・ノート	小3年 「わり算」 ・除法の意味と式、計算	小3年 「答えが2けたになるわり算」 ・商が2位数になる除法 「倍とかけ算、わり算」 ・倍と乗法、除法
				・あまりと除数の大小関係について理解する。	1	・あまりが除数より小さくなることを理解している。	○				観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	あまりのあるわり算	あるわり算	～94	・等分除の場面において、あまりの意味や計算の仕方を理解する。	1	・数量の関係に着目し、既習の除法と関連付けて、あまりのある等分除でも乗法九九を使って答えが求められることを見だし、説明している。		○		観察・ノート		
				・あまりのある除法の答えの確かめ方を理解する。	1	・被除数、除数、あまりの関係に着目して、確かめの仕方を説明している。		○		観察・ノート		
		あまりの考え方	95～97	・問題場面に即してあまりの処理の仕方を考え、問題を解決する。	2	・あまりのある除法の答えの確かめ方を理解している。 ・被除数、除数、あまりの関係に着目して、確かめの仕方を説明している。	○	○		観察・ノート		
			98～99	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・あまりの処理の必要な問題場で、あまりの処理の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
		たしかめ問題										
		プログラミン グにちようせん！ ①	100 101	・ゲームに勝つためのおはじきの取り方について考える活動を通して、場合に合わせた行動を変える条件分岐の考え方を理解する。	1	・あまりのある除法の計算ができる。また、あまりのある除法の確かめの仕方を理解している。		○		観察・ノート		
7	円と球	円	102～111	・1点から等距離にある点は多数存在し、その点の集まりがまるい形になることを理解する。 ・「円」、円の「中心」、「半径」の用語とそれらの意味を理解する。	2	・「円」、円の「中心」、「半径」の用語とそれらの意味を理解している。 ・1点からの距離に着目し、等距離にある点の集まりがきれいなまるい形になることを見だしている。	○	○		観察・ノート		小3年 「三角形と角」 ・二等辺三角形、正三角形の定義と性質、かき方 ・角の概念と角の大小
				・円の半径は無数にひいて長さは全て等しいことを理解するとともに、円の「直径」の用語とその意味や、半径と直径の関係を理解する。	1	・円の半径は無数にひいて、長さが全て等しいことを理解している。また、円の「直径」の用語とその意味や半径と直径との関係を理解している。		○		観察・ノート		
				・コンパスの使い方を理解し、決められた大きさの円をかく。	1	・コンパスを用いた円のかき方を理解し、決められた大きさの円をかくことができる。		○		観察・ノート		
				・円を使ったいろいろな模様をかくことを通して、コンパスの使い方に慣れるとともに、模様の美しさを味わう。	1	・円を使った模様をかく活動をたのしみ、その美しさを感じている。			○	観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
				・コンパスを用いて長さを写し取ったり、2点からそれぞれ決まった長さにある点の位置を見つけたりし、コンパスの有用性の理解を深める。	1	・コンパスで長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりすることができる。	○			観察・ノート		
		球	112	・円に関連して「球」を知り、その基本的な性質を理解する。	1	・球の概念や性質と、球に関する用語の意味を理解している。	○			観察・ノート		
		たしかめ問題	113～114	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・円や球に関する用語や特徴を理解している。また、円の作図ができる。	○			観察・ノート		
		ふくしゅう	115	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
9		何十、何百のかけ算	116～118	・何十、何百×1位数の乗法の計算原理や方法を理解し、計算する。	2	・何十、何百×1位数の計算の仕方を理解し、計算できる。 ・10や100を単位とした数の見方に着目し、何十、何百×1位数の計算の仕方を考え、説明している。	○	○		観察・ノート	小3年 「かけ算」 ・乗法の交換、分配法則など ・10や0の乗法	小3年 「2けたの数をかける計算」 ・2、3位数×2位数の筆算 ・被乗数や乗数が10倍になると積も10倍になること
		(2けた)×(1けた)の筆算	119～123	・2位数×1位数で、部分積に繰り上がりのない場合の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	2	・2位数×1位数の計算の仕方や筆算の仕方を理解し、計算できる。 ・数の構成に着目し、2位数×1位数の計算の仕方を、既習の乗法を用いて考え、説明している。	○	○		観察・ノート		
				・2位数×1位数で、部分積に繰り上がりがある場合の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・2位数×1位数で、部分積に繰り上がりがある場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
				・2位数×1位数で、部分積が百の位に繰り上がる場合の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・2位数×1位数で、部分積が百の位に繰り上がる場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
		(3けた)×(1けた)の筆算	124～126	・3位数×1位数で、部分積に繰り上がりのない場合の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・数の構成に着目し、3位数×1位数の計算の仕方を、既習の乗法を用いて考え、説明している。		○		観察・ノート		
				・3位数×1位数で、部分積に繰り上がりがある場合の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・3位数×1位数で、部分積に繰り上がりがある場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
				・3位数×1位数で、被乗数に空位がある場合の筆算の仕方を理解し、計算する。 * 4位数×1位数の筆算の仕方を考える。	1	・3位数×1位数で、被乗数に空位がある場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		かけ算のきまり	127	・具体的な場面を通して、乗法の結合法則が成り立つことを理解する。	1	・乗法の結合法則の意味を理解し、それを用いて計算を工夫することができる。	○			観察・ノート			
		かけ算と言葉の式や図	128	・具体的な乗法の場面を、言葉の式を用いて一般的にまとめる。	1	・乗法に関するいろいろな言葉の式を1つの言葉の式にまとめることができる。		○		観察・ノート			
			129	・具体的な乗法の場面を、言葉の式やテープと数直線の図で表し、問題を解決する。	1	・乗法の場面で、テープと数直線の図が表す意味を理解し、立式することができる。	○			観察・ノート			
		たしなめ問題	130 131	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・2、3位数×1位数の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	○			観察・ノート			
		答えが2けたになるわり算	132 133	・何十÷1位数で、十の位がわりきれの場合の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・何十÷1位数の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート	小3年 「わり算」 ・除法の意味と式、計算	小4年 「わり算の筆算」 ・2、3位数÷1位数の筆算 ・除法の確かめの式	
				・2位数÷1位数で、位ごとにわりきれの場合の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・2位数÷1位数の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
	10000より大きい数	大きな数の表し方	134 ～ 142	・既習をもとに、一万の位までの数の構成や表し方、読み方を理解する。	1	・一万の位までの数の構成や表し方、読み方を理解し、表したり、読んだりすることができる。	○			観察・ノート	小2年 「1000より大きい数」 ・10000までの数の数概念	小3年 「小数」 1/10の位までの小数の概念  小4年 「1億より大きい数」 ・億、兆の位までの数の数概念 ・十進位取り記数法のまとめ	
					・千万の位までの数の構成や表し方、読み方を理解する。	2	・千万の位までの数の構成や表し方、読み方、相対的な大きさなどを理解している。 ・千の位までの数の構成から類推して万の位の構成について考えている。	○	○				観察・ノート
					・1万より大きい数を、その構成をもとに、1000を単位として相対的にみて表す。	1	・1000を単位として数を相対的にみて表すことができる。	○					観察・ノート
					・1万より大きい数の数直線表示、順序、系列について理解する。また、1億の数の構成、表し方、読み方を理解する。	1	・数直線上に表された数を読み取ったり、数直線上に数を表したりすることができる。また、1億の数の構成、表し方、読み方を理解している。	○					観察・ノート
					・大きな数の大小比較の仕方を理解する。また、万を単位とした計算の仕方を理解する。	1	・大きな数の大小比較の仕方を理解している。	○					観察・ノート
10		10倍した数や1	143 ～	・ある数を10倍、100倍、1000倍した数について理解する。	1	・ある数を100倍した数は、ある数の10倍を10倍した数であると考え、説明している。		○		観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
11	小数	0でわった数	145	・一の位に0のある数を10でわった数について理解する。	1	・ある数を10でわった数の大きさについて理解している。	○			観察・ノート			
			数の見方	146	・1つの数を多面的にみて表す。	1	・1つの数を多面的にみて表すことができる。		○		観察・ノート		
			たしかめ問題	147 148	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・1億までの数の構成や表し方、読み方、順序、系列、大小について理解している。	○			観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室3	149	・世界の諸課題に関わる数字を読み、SDGsについて算数の面から考える。	1	・世界の諸課題に関連する数字に興味・関心をもち、進んで調べている。			○		観察・ノート		
		小数	150 ～ 154	・端数部分の大きさを表すのに小数が用いられることを知り、小数の表し方と読み方を理解する。	1	・端数部分の小数での表し方や読み方を理解している。	○			観察・ノート	小3年 「10000より大きい数」 ・1奥までの数の数概念 ・10倍、100倍、1000倍の数や10でわった数	小3年 「分数」 ・分数の概念 ・分数と小数の関係  小4年 「小数」 1/1000の位までの小数の概念	
				・長さについて、複名数で表される数量を、小数を用いて単名数で表すことができることを理解する。	1	・複名数で表された長さを、小数を用いて単名数で表すことができる。	○			観察・ノート			
			155 ～ 158	・小数の位取りの仕組みや数の構成について理解する。また、小数の数直線上の表し方について理解する。	1	・小数の十進構造を理解するとともに、数直線上に小数を表したり、表された小数を読み取ったりすることができる。	○			観察・ノート			
				・小数を、数の構成をもとに、0.1を単位として相対的にみて表す。	1	・小数を0.1のいくつ分で表す方法を考え、説明している。		○		観察・ノート			
		小数のしくみ	155 ～ 158	・小数の十進構造や順序、系列についての理解に基づいて、小数の大小比較ができる。	1	・小数の大小比較の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート			
				・小数第一位までの小数の加法の計算の意味や原理、方法を理解し、計算する。	2	・小数第一位までの小数の加法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
			159 ～ 163	・小数第一位までの小数の加法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・小数第一位までの小数の加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
・小数第一位までの小数の減法の計算の意味や原理、方法を理解し、計算する。	1			・0.1のいくつ分という見方に着目し、小数の減法の計算の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート					
159 ～ 163	・小数第一位までの小数の減法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・小数第一位までの小数の減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート						

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		数の見方	164	・ 小数を多面的にみて表す。	1	・ 1つの小数を多面的にみて表すことができる。		○		観察・ノート		
		たしかめ問題	165 166	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 小数の表し方や構成、大小を理解し、多面的にみて表したり、加減の計算をしたりすることができる。	○			観察・ノート		
		読み取る力をのばそう	167	・ 小数の数の構成に着目して、ゲームの仕組みについて考察する。	1	・ 数の構成に着目して、カードをひいてできた小数5.4に勝てない理由を考え、説明している。		○		観察・ノート		
		ふくしゅう	168	・ 復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・ 既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
長さ	長さのはかり方		169 ～ 171	・ 巻尺の必要性や目盛りの読み方、測定の仕方を理解する。	1	・ 巻尺の必要性や目盛りの読み方、測定の仕方を理解している。	○			観察・ノート	小2年 「長いものの長さのたんい」 ・ 長さの単位(m)と測定	小4年 「角度」 ・ 角度の表し方と測定、かき方 「面積」 ・ 面積の単位と長方形、正方形の求積
				・ およその見当をつけ、巻尺を用いていろいろな物の長さを測定するとともに、そのよさを理解する。	1	・ 巻尺を用いると、長い物や曲がった物の長さははかれるという巻尺のよさに気づいている。			○	観察・ノート		
	キロメートル	172 173	・ 「道のり」、「きよりの用語とその意味、長さの単位「km」について知り、1km=1000mの関係をもとに、適切な単位を選んで長さを表現する。	1	・ 「道のり」と「きよりの意味の違いや、単位「km」と1km=1000mの関係を理解し、目的に合わせて適切な単位で長さを表現するとともに、km、mで表された長さの加減の計算ができる。	○			観察・ノート	小5年 「体積」 ・ 体積の単位と直方体、立方体の求積、容積		
	たしかめ問題	174 175	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟するとともに、1kmの量感を養い、日常生活に生かす。	2	・ 「道のり」と「きよりの意味、巻尺の目盛りの読み方や1km=1000mの関係を理解するとともに、適切な単位を選択して長さを表すことができる。 ・ 単元の学習で新しく分かったことや、大切な考え方、今後の学習に生かせることなどを振り返っている。また、1kmを歩く活動を通して1kmの量感を養い、生活に生かそうとしている。	○		○	観察・ノート			
				・ 1mの1/4の長さを1/4mと表すことを理解する。	1	・ 分数を用いた長さの表し方について理解し、1mを等分してできる1つ分の大きさを、分数を用いて表すことができる。	○			観察・ノート	小2年 「分数」 ・ 2等分、3等分、…したときの1つ分の大きさの表し方	小4年 「分数」 ・ 「真分数」、「仮分数」、「帯分数」の意味、帯分数と仮分数の変換



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
12	分数	分数	176 ～ 181	・1mをn等分したいくつ分の長さや、1Lをn等分したいくつ分のかさの表し方を理解する。また、「分母」、「分子」の用語とそれらの意味を理解する。	1	・1mや1Lをn等分したいくつ分の長さ及びかさを分数で表すことができる。また、「分母」、「分子」の用語とそれらの意味を理解している。	○			観察・ノート	小3年 「小数」 ・1/10の位までの小数の概念	・入さの等しい分数		
				・1mのテープを使って分数のものさしをつくり、いろいろな物の長さを測定し、分数を用いて表す。	1	・身の回りの物の長さに対して、様々な単位の分数のものさしを使って正確に測定しようとしていたり、分数を用いて表そうとしていたりしている。また、「2mの1/4」や「4mの1/4」の長さについて、図などを手掛かりにして、考えようとしている。			○	観察・ノート				
		分数の大きさ	182 183	・数直線を用いて分数の大きさについて調べ、同分母分数の大小比較の仕方や $5/5=1$ であることを理解する。	1	・単位分数の個数に着目し、分子の大きさを比べることで、分数の大きさを判断することができる。			○		観察・ノート			
				・数直線を用いて1より大きい分数の大きさについて調べ、1より大きい分数も単位分数のいくつ分で表せることを理解する。	1	・1より大きい同分母分数を単位分数のいくつ分で表すことができる。	○				観察・ノート			
		分数と小数	184	・数直線を用いて分数と小数の関係を調べ、 $1/10=0.1$ であることを理解し、分数と小数、分数と整数の大小を比較をする。	1	・ $1/10$ または0.1を単位とした分数や小数の大小比較ができる。	○				観察・ノート			
		分数の計算	185 ～ 187	・同分母の真分数どうしの加法の意味や計算の仕方について理解し、説明することができる。	1	・同分母の真分数どうしの加法の意味や計算の仕方について、単位分数のいくつ分とみて整数や小数の加法と関係付けて考えている。			○			観察・ノート		
				・同分母の真分数どうしの減法の意味や計算の仕方について理解し、説明する。また、真分数どうしの和が1までの加法とその逆の減法の計算の仕方を理解し、計算する。	1	・同分母の真分数どうしの減法の意味や計算の仕方について、単位分数のいくつ分とみて、整数や小数の減法と関係付けて考えている。			○			観察・ノート		
		たしかめ問題	188 189	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・分数の意味や表し方について理解し、同分母分数における大小比較や加法及び減法の計算をすることができる。	○				観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
三角形と角	三角形の角	いろいろな三角形	190～193	・ストローでつくったいろいろな三角形を分類する活動を通して、「二等辺三角形」、「正三角形」の用語とそれらの定義を理解し、弁別する。	2	・「二等辺三角形」、「正三角形」の用語とそれらの定義を理解している。 ・考 辺の長さに着目して三角形を分類し、それをもとにそれぞれの三角形の特徴を見いだしている。	○	○		観察・ノート	小2年 「三角形と四角形」 ・三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形の定義と性質  小3年 「円と球」 ・円と球の定義と性質、半径、直径 ・コンパスの使い方	小4年 「角度」 ・角度の表し方と測定、かき方 「垂直、平行と四角形」 ・垂直、平行、台形、平行四辺形、ひし形の定義と性質、かき方、対角線の性質
			194～196	・コンパスとものさしを用いた二等辺三角形の作図の仕方を理解する。	1	・二等辺三角形のかき方を理解し、コンパスとものさしを用いて作図することができる。	○			観察・ノート		
				・コンパスとものさしを用いた正三角形の作図の仕方を理解する。	1	・正三角形のかき方を理解し、コンパスとものさしを用いて作図することができる。	○			観察・ノート		
				・円とその半径を用いると、二等辺三角形や正三角形を作図することができることを理解する。	1	・円とその半径を用いると二等辺三角形や正三角形が作図できるわけを、その図形の特徴や円の性質に着目して考え、説明している。		○		観察・ノート		
			197 198	・「角」の用語とその意味を理解し、角の大きさは辺の開き具合で決まることを理解する。	1	・「角」の用語とその意味や、角の大きさは辺の開き具合で決まることを理解している。	○			観察・ノート		
				・二等辺三角形と正三角形の角の大きさに関する性質を理解する。	1	・二等辺三角形や正三角形を観察したり、折ったり重ねたりして、角の性質を帰納的に見いだしている。		○		観察・ノート		
			199	・合同な二等辺三角形や正三角形で敷き詰め模様を作り、図形に対する感覚を豊かにする。	1	・二等辺三角形や正三角形を敷き詰める活動をたのしみ、平面のひろがりや模様の美しさに気づいている。			○	観察・ノート		
			200 201	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・二等辺三角形や正三角形の定義、性質を理解し、作図することができる。また、角の大きさを比べることができる。	○			観察・ノート		
			202	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
			203	* 具体的な問題場面で、どんな計算になるか判断し、問題を解決する。	1	・数量の関係を正しく捉え、既習事項を活用して問題を解決することができる。		○		観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	重さの単位	グラム	204～207	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな物を手に持って重さを比べ、重さの比べ方に関心を持ち、本単元の見通しをもつ。</li> <li>直接比較、間接比較や任意単位による測定を通して重さを量として捉え、重さの普遍単位「g」を知る。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>重さの単位に「g」があり、これを用いて重さを表すことを理解している。</li> <li>普遍単位を用いて重さを表すことのよさに気づいている。</li> </ul>	○		○	観察・ノート		小4年 「角度」 ・角度の表し方と測定、かき方 「面積」 ・面積の単位と長方形、正方形の求積  小5年 「体積」 ・体積の単位と直方体、立方体の求積、容積
		はかり	208～212	<ul style="list-style-type: none"> <li>重さを測定する計器としてはかりがあることを知り、はかりの目盛りの読み方、使い方を理解し、はかりを用いて重さを測定する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>はかりの目盛りの読み方や使い方を理解し、秤量1kgのはかりを用いて重さを測定することができる。</li> </ul>	○			観察・ノート		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>重さの単位「kg」を知り、1kg=1000gの関係や秤量4kgのはかりの目盛りの読み方や使い方を理解する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>1kg=1000gの関係を理解し、秤量4kgのはかりの目盛りを読み取ることができる。</li> </ul>	○			観察・ノート		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>1kgの量感を養うとともに、計器を選択して身の回りのいろいろな物の重さを測定する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>重さの見当をつけ、適切な計器を選択して重さを測定することができる。</li> </ul>	○			観察・ノート		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>重さについても加法、減法が適用できることを理解し、重さに関する問題を解決する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>重さに関する加減の計算を適用し、工夫して重さの問題を解決している。</li> </ul>		○		観察・ノート		
		トン	213	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな重さの単位「t」を知り、1t=1000kgの関係を理解する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>重さの単位「t」と1t=1000kgの関係について理解している。</li> </ul>	○			観察・ノート		
		単位のしくみ	214	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さ、かさ、重さのそれぞれの単位の関係を整理し、理解を深める。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さ、かさ、重さの単位について、上位単位は下位単位の何倍かを整理し、接頭語に着目しながら単位の関係について統合的に考えている。</li> </ul>		○		観察・ノート		
		たしかめ問題	215 216	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>重さの単位「g」、「kg」、「t」とその関係について理解し、はかりの目盛りを読んだり、重さの加減の計算をしたりすることができる。</li> </ul>	○			観察・ノート		
	ふくろう先生のなるほど算数教室4	217	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな重さの分銅を組み合わせて様々な重さをつくる活動を通して、順序よく場合を調べる方法を考える。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的の重さをつくるのに、すでにつくった重さを活用したり、順序よく分銅を変えたりして考えることができる。</li> </ul>		○		観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		プログラミングにとゆせん！②	218 219	・単位を変換したときの数値を正しく表示するには、どのようなプログラムをつくれればよいのかを、単位の仕組みをもとに考える。	1	・単位の仕組みをもとに、どのようなプログラムをつくれればよいかを考え、説明している。		○		観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室5	220	・算数を仕事に生かしている方へのインタビューを読み、算数への学習意欲を高める。	1	・算数が仕事や生活に生かされていることを知り、算数の学習に対する意欲を高めている。			○	観察・ノート		
2	□を使った式	たし算とひき算	221 ～ 224	・具体的な場面について、加法で表される数量関係を□を用いて式に表し、□に数を当てはめたり、線分図を用いたりして、□に当てはまる数を求める。	1	・加法の問題場面で、□に当てはまる数の求め方を図をもとに考えたり、順に数を式に当てはめたりして、説明している。		○		観察・ノート	小3年 「倍とかけ算、わり算」 ・倍と乗法、除法	
				・具体的な場面について、減法で表される数量関係を□を用いた式に表し、□に数を当てはめたり、線分図を用いたりして、□に当てはまる数を求める。	1	・減法の問題場面で、□を用いて式に表したり、□に当てはまる数を求めたりすることができる。		○		観察・ノート		
		かけ算とわり算	225 ～ 227	・具体的な場面について、乗法で表される数量関係を□を用いた式に表し、図を用いたりして、□に当てはまる数を求める。	1	・乗法の問題場面で、□に当てはまる数の求め方を図をもとに考え、説明している。		○		観察・ノート		
				・具体的な場面について、除法で表される数量関係を□を用いた式に表し、図を用いたりして、□に当てはまる数を求める。	1	・除法の問題場面で、□を用いて式に表したり、□に当てはまる数を求めたりすることができる。		○		観察・ノート		
			たしかめ問題	228 229	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・具体的な場面について、未知の数量を□として数量関係を式に表したり、□に当てはまる数を求めたりすることができる。		○			観察・ノート
			暗算	229	・2位数×1位数の乗法を暗算で計算する。	1	・2位数×1位数、何百何十×1位数の計算が暗算でできる。		○			観察・ノート

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)			
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
3	2けたの数をかける計算	何十をかける計算	230～232	・何十をかける乗法の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・何十をかける乗法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート	小3年 「かけ算の筆算」 ・2、3位数×1位数の筆算 ・乗法の結合法則 ・言葉の式や図表示	小4年 「1億より大きい数」 ・3、4位数の乗法、計算の工夫			
			2けたの数をかける計算	233～236	・2位数×2位数で、部分積が2位数になる乗法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	2	・2位数×2位数の計算の仕方や筆算の仕方を理解し、計算できる。 ・考数の構成に着目し、2位数×2位数の計算の仕方を、既習の計算をもとに考え、説明している。	○					観察・ノート		
				236	・2位数×2位数で、部分積が3位数になる乗法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・部分積が3位数になる2位数×2位数の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○					観察・ノート		
					・3位数×2位数の乗法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・3位数×2位数の計算の仕方を、既習の乗法の計算をもとに考え、説明している。		○				観察・ノート		
			計算のきまり	237	・被乗数や乗数、積の数量の関係に着目し、乗法のきまりを見つける。	1	・被乗数や乗数と積の関係から、乗法において成り立つきまりを見だし、説明している。		○				観察・ノート		
			計算のくふう	238 239	・2位数×何十や1位数×2位数、何十×2位数の簡便な筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・乘法の手際の良い筆算の仕方を理解し、計算できる。	○					観察・ノート		
					・3口の数の乗法を、結合法則や交換法則を活用し、工夫して計算する。	1	・乗法の結合法則や交換法則を活用して、3口の数の乗法を手際よく計算する方法を考えている。		○				観察・ノート		
			たしかめ問題	240 241	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・2位数をかける計算ができ、それをういて問題を解決することができる。	○					観察・ノート		
			倍とかけ算、わり算	倍とかけ算、わり算	242～244	・基準量を何倍かした大きさを求めるときは乗法が用いられることの理解を深める。	1	・比較量を求める計算の仕方を考え、図や言葉で説明している。		○				観察・ノート	小2年 「かけ算九九づくり」 ・6～9、1の段の九九  小3年 「わり算」 ・除法の意味と式 「□を使った式」 ・□を用いた数量関係の式表示、□に当てはまる数の求め方
						・比較量が基準量の何倍かを求めるときは除法が用いられることを理解する。	1	・何倍かを求めるときに除法が用いられることを、図や□を使った式を用いて説明している。		○				観察・ノート	
						・基準量を求めるときは除法が用いられることを理解する。	1	・何倍かを求めるときに、図や□を使った式を用いたことを振り返り、基準量を求めるときに生かそうとしている。					○	観察・ノート	

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		たしかめ問題	245	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・比較量を求めるときには乗法、倍や基準量を求めるときには除法が用いられることを理解している。	○			観察・ノート			
	そろばん	そろばんのしくみ	246 247	・そろばんの構造、部分の名称、数の読み方、表し方、用語の意味について理解する。	1	・そろばんによる数の読み方や表し方を理解している。	○			観察・ノート		小4年 「そろばん」 ・整数、小数のおき方とはらい方	
		たし算とひき算	247 248	・繰り上がりのない加法と繰り下がりのない減法について、そろばんによる計算の仕方を理解し、計算する。 ・5の合成、分解をともなう加法と減法について、そろばんによる計算の仕方を理解し、計算する。	1	・繰り上がりのない加法と繰り下がりのない減法について、そろばんによる計算の仕方を理解している。また、5の合成、分解をともなう加法及び減法について、そろばんによる計算の仕方を理解している。	○			観察・ノート			
				・10の合成、分解をともなう加法と減法について、そろばんによる計算の仕方を理解し、計算する。 ・万の単位を含む簡単な加法及び減法や、1/10の位までの小数の簡単な加法及び減法について、そろばんによる計算の仕方を理解し、計算する。	1	・そろばんと十進位取り記数法の仕組みを関連付けて考えている。			○		観察・ノート		
			3年のふくしゅう	249 ～ 251	・3学年の復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	2	・既習事項を理解している。	○	○		観察・ノート		
		テスト等		テスト+予備	14		○	○		ペーパーテスト等			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	折れ線グラフと表	折れ線グラフの読み方	16 ~ 21	・教p.16~17の場面から、東京の気温の変化を分かりやすく表す方法に関心をもち、本単元の見通しをもつ。	1	・折れ線グラフを用いると、変わり方の特徴が調べやすくなるという折れ線グラフのよさに気づいている。			○	観察・ノート	小3年 「ぼうグラフと表」 ・棒グラフ ・簡単な二次元の表 ・複数の棒グラフを組み合わせたグラフ	小5年 「帯グラフと円グラフ」 ・帯グラフと円グラフ ・統計的な問題解決の方法
				・2つ以上の事象の変わり方が表されたグラフについて理解し、資料の特徴を読み取る。	1	・2つ以上の事象の変わり方が表されたグラフについて理解し、読み取ることができる。	○			観察・ノート		
				・波線でグラフを省略するなどして、折れ線グラフの縦軸の幅を変えると、変化の様子が見やすくなることを理解する。	1	・折れ線グラフの縦軸の幅を変えると見え方が変わることにより気づき、その違いを説明している。			○	観察・ノート		
		折れ線グラフのかき方	22 ~ 24	・折れ線グラフの表し方を理解し、資料を折れ線グラフに表す。 ・2つ以上の事象の変わり方を1つのグラフ用紙に表し、変化の違いを読み取る。	2	・折れ線グラフの表し方を理解し、資料を折れ線グラフに表すことができる。 ・2つ以上の折れ線グラフを比較し、その変化の特徴を読み取り、説明している。	○	○		観察・ノート		
				・グラフ用紙の大きさや目的に応じて、適切な1目盛りを決めて、折れ線グラフに表す。	1	・目的に応じてグラフの縦軸の1目盛りの大きさを決めて、折れ線グラフに表すことができる。	○			観察・ノート		
		折れ線グラフとぼうグラフ	25 26	・折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフについて理解する。また、その特徴を読み取り、変化の関係を考察する。	1	・複合グラフからその特徴を読み取り、変化の関係を見いだしている。			○	観察・ノート		
				表	27 ~ 31	・資料を2つの観点から分類整理して二次元の表に表し、その仕組みや読み方について理解する。	1	・二次元の表の仕組みを理解し、資料を2つの観点から落ちや重なりがないように分類整理し、表に表すことができる。	○			
		・目的に応じて資料を分類整理し、二次元の表に表す。	1			・資料をもとに、自ら観点を決めて二次元の表に整理しようとしている。			○	観察・ノート		
		・資料を2つの観点から落ちや重なりがないように分類整理して二次元の表に表し、資料の特徴を読み取る。	1			・資料を2つの観点から分類整理して表に表し、資料の特徴について考え、説明している。			○	観察・ノート		
		たしかめ問題	32 33	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・折れ線グラフや二次元の表を読み取ったり、表したりすることができる。	○			観察・ノート		
		読み取る力をのばそう	34 35	・表やグラフを正しく読み取り、結論が正しいかどうか考察する。	1	・折れ線グラフや棒グラフから資料の特徴を読み取ったり、批判的に考察したりしている。			○	観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
5	わり算の筆算	(2けた)÷(1けた)の計算	36 ~ 45	・既習の除法の計算の仕方を振り返り、十の位がわりきれない2位数÷1位数の計算に対する興味・関心を高め、本単元の見通しをもつ。 ・十の位がわりきれない2位数÷1位数の計算原理や方法を理解する。	2	・2位数÷1位数の多様な計算方法について、それぞれの考えのよさを認めたり、関連付けたりしながら、話し合っている。 ・十の位がわりきれない2位数÷1位数の計算の仕方を理解している。	○		○	観察・ノート	小3年 「あまりのあるわり算」 ・あまりのある除法の計算 ・除法のたしかめ方「答えが2けたになるわり算」 ・商が2位数になる除法	小4年 「2けたの数でわる計算」 ・2、3位数÷2位数の筆算 ・除法の計算のきまり	
				・十の位がわりきれない2位数÷1位数の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・十の位がわりきれない2位数÷1位数の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
				・あまりのある2位数÷1位数の筆算の仕方を理解し、計算する。 ・「和」、「差」、「積」、「商」の用語とそれらの意味や「除数×商+あまり=被除数」の関係を理解し、答えの確かめをする。	1	・あまりのある2位数÷1位数の筆算の仕方を理解し、計算できる。また、被除数、除数、商、あまりの関係を理解している。	○			観察・ノート			
				・2位数÷1位数で、十の位がわりきれたり、商の一の位が0になったり、商が1位数になったりする除法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・2位数÷1位数で、十の位がわりきれる除法、商の一の位が0であまりのある除法、商が一の位からたつ場合の除法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
			(3けた)÷(1けた)の計算	46 ~ 49	・3位数÷1位数で、各位がわりきれる除法の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・各位がわりきれる3位数÷1位数の計算の仕方を理解している。	○			観察・ノート		
				・3位数÷1位数で、商が3位数で各位がわりきれない除法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・3位数÷1位数で各位がわりきれない除法の筆算の仕方を、2位数÷1位数の筆算の仕方をもとに考え、説明している。	○			観察・ノート			
				・3位数÷1位数で、商の一の位や十の位が空位になる除法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・3位数÷1位数で、商の一の位や十の位が空位になる場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
				・3位数÷1位数で、商が2位数になる除法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・数の構成に着目し、3位数÷1位数で、商が2位数になる場合の筆算の仕方を、各位に商がたつ除法をもとに考え、説明している。	○			観察・ノート			
			たしかめ問題	50 51	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・2、3位数÷1位数の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	○			観察・ノート		
			プログラミングにしようせん！①	52 53	・2位数÷1位数の筆算の手順をもとに、2位数÷1位数の筆算のアルゴリズムを整理する。	1	・2位数÷1位数の筆算の手順をもとに、2位数÷1位数の筆算のアルゴリズムを考え、説明している。			○	観察・ノート		
			ふくしゅう・暗算	54	・復習問題に取り組む、既習事項の理解を確実にする。 ・わりきれる2位数÷1位数の除法を暗算で計算する。	1	・既習事項を理解している。 ・2位数÷1位数の計算が暗算でできる。	○			観察・ノート		



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)			
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
6	角度	角の大きさ	55～62	・回転による角の意味を知る。 ・分度器の仕組みや角の大きさを表す単位「度」を知る。	1	・角の大きさを、もとにする大きさのいくつ分で捉える方法を考え、説明している。			○	観察・ノート	小3年 「三角形と角」 ・二等辺三角形、正三角形の定義と性質、かき方 ・角の概念と角の大小 「長さ」 ・巻尺による測定 ・長さの単位(km) 「重さの単位」 ・重さの直接、間接比較、任意単位による比較、重さの単位と測定 ・単位の仕組み1	小4年 「垂直、平行と四角形」 ・垂直、平行、台形、平行四辺形、ひし形の定義と性質、かき方、対角線の性質  小5年 「図形の角の大きさ」 ・多角形の内角の和			
				・分度器を用いて、180°以下の角度を測定する。	1	・角の大きさを表す単位「度(°)」の意味や、分度器を用いた測定の仕方を理解し、測定することができる。			○	観察・ノート					
				・三角定規のそれぞれの角の大きさを知り、三角定規の角を組み合わせてできる角の大きさを求める。	1	・三角定規の角を組み合わせてできる角の大きさを和や差として考えている。			○	観察・ノート					
				・分度器を用いて、180°より大きい角度を測定する。	1	・分度器を用いて、180°より大きい角度を測定することができる。			○	観察・ノート					
		角のかき方	63 64	・分度器を用いて、与えられた大きさの角をかく。	1	・分度器を用いた角の作図の仕方を理解し、角を作図することができる。			○	観察・ノート					
				・角のかき方を活用して、三角形を作図する。	1	・角のかき方を振り返り、それを三角形のかき方に生かそうとしている。			○	観察・ノート					
		たしかめ問題	65 66	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・分度器を用いて角の大きさを測定したり、角や三角形を作図したりすることができる。また、三角定規の角を組み合わせてできる角の大きさを求めることができる。			○	観察・ノート					
				1億や兆の位	67～71	・日本の小学生の人数などから大きな数に対する関心をもち、一億の位までの数の構成や読み方、表し方を理解する。	1	・一億の位までの数の構成や読み方、表し方を理解し、読んだり表したりすることができる。					○	観察・ノート	
		・1億の10倍、100倍、1000倍の数をもとに、1億より大きい数も十進位取り記数法に基づいて理解する。	1			・千億の位までの数の構成や読み方、表し方を理解し、読んだり表したりすることができる。			○	観察・ノート					
		・兆という単位を知り、千兆の位までの数も十進位取り記数法に基づいて理解する。	1			・千兆の位までの数の構成や読み方、表し方を理解し、読んだり表したりすることができる。			○	観察・ノート					
		・ある数を10倍した数や1/10にした数をつくることにより、十進数についての理解を深める。	1			・ある数を10倍した数や1/10にした数の表し方や、位の変わり方を理解している。			○	観察・ノート					
		1億より大きい数	整数のしくみ	72～74	・十進位取り記数法では、どんな大きさの数でも0～9の10個の数字を使って表せることを理解し、その特徴をまとめる。	1	・算用数字では、どんな大きさの数でも0～9の10個の数字を使って表せることを理解している。			○			観察・ノート		
					大きな数のかけ算	75 76	・3位数×3位数、4位数×2位数の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・3位数×3位数の筆算の仕方を、既習事項をもとに考え、説明している。					○	観察・ノート
							・末尾に0のある数の乗法の計算は、乗法の結合法則や交換法則を使うと、能率的に計算できることを理解し、その方法を用いて計算する。	1	・乗法のきまりを用いた乗法の計算の工夫の仕方を説明している。					○	観察・ノート
たしかめ問題	77 78	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・千兆の位までの数の構成や読み方、表し方を理解している。また、桁数の多い乗法の計算ができる。			○	観察・ノート							

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		読み取る力をのばそう	79	・0から9までのカードを1枚ずつ使って、条件を満たす整数をつくる。	1	・数の構成に着目して、指定された数の作り方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室1	80 81	・英語の数の読み方を知り、大きな数の読み方のきまりについて考える。	適宜	・数の読み方について、英語と日本語の違いに気づき、それぞれのよさを認めたり、関連付けたりしながら、話し合っている。			○	観察・ノート		
	式と計算	( )のある式	82 ~ 85	・加減混合の問題を、( )を用いて1つの式で表す方法や、計算の順序を理解し、計算する。	1	・2段階の構造(加法、減法)の問題を、( )を用いて1つの式に簡潔に表す方法や計算の順序を理解し、計算できる。		○		観察・ノート		
			・乗除と加減が混合した問題を、( )を用いて1つの式に表し、計算する。	1	・2段階の構造の問題(乗除、加減)を、( )を用いて1つの式に簡潔に表す方法や計算の順序を理解し、計算できる。		○		観察・ノート			
		+, -, ×, ÷, のまじった式	86 87	・四則混合の式で、乗除の( )を省くことや、乗除を先に計算することを理解し、計算する。 ・様々な四則混合の式について、計算の順序の理解を深め、それをまとめる。	1 1	・四則混合の式の意味や計算の順序を理解し、計算できる。 ・四則混合の式を計算することができる。		○ ○		観察・ノート 観察・ノート		
		計算のきまり	88 89	・分配法則が成り立つことを理解し、交換法則や結合法則とともに○、△、□を使って式にまとめる。	1	・分配法則の意味を、図や式を用いて説明している。		○		観察・ノート		
		たしかめ問題	90 91	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・問題場面と、( )を用いた式や四則混合の式とを関連付けて考えている。また、分配法則を使って計算を工夫している。		○		観察・ノート		
		直線の交わり方	92 ~ 97	・「垂直」の用語とその意味を理解し、垂直な直線を見つける。 ・ひと組の三角定規を用いて、垂直な直線をひく。	1 1	・「垂直」の用語とその意味を理解している。 ・垂直な直線のひき方を理解し、三角定規を用いてひくことができる。		○ ○		観察・ノート 観察・ノート		
			直線のならび方	98 ~ 103	・「平行」の用語とその意味を理解し、平行な直線を見つける。 ・平行な2直線間の幅は、どこも等しくなっていることを理解する。 ・平行な直線は、他の平行でない直線と等しい角度で交わることを理解する。 ・方眼上の直線の垂直や平行の関係を理解する。	1 1	・「平行」の用語とその意味、平行な直線の幅はどこも等しくなっていることを理解している。 ・平行な直線は他の直線と等しい角度で交わることを理解している。また、方眼を活用して、垂直な直線や平行な直線を見つけたりひいたりすることができる。		○ ○	観察・ノート 観察・ノート	小3年 「三角形と角」 ・二等辺三角形、正三角形の定義と性質、かき方 ・角の概念と角の大小  小4年 「角度」 ・角度の表し方と測定、かき方	小4年 「直方体と立方体」 ・直方体と立方体の定義と性質、展開図、見取図、面・辺の位置関係 ・位置の表し方
7												

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9	垂直、平行と四角形		104～109	・ひと組の三角定規を用いて、平行な直線をひく。	1	・平行な直線のひき方を理解し、三角定規を用いてひくことができる。	○			観察・ノート		
				・いろいろな四角形をつくり、それらを分類する活動を通して、「台形」、「平行四辺形」の用語とそれらの定義を理解し、弁別する。 ・2本の平行な直線を用いて、台形や平行四辺形を作図する。	2	・「台形」、「平行四辺形」の用語とそれらの定義を理解している。また、2本の平行な直線を用いて、台形や平行四辺形を作図することができる。 ・いろいろな四角形を、辺の並び方に着目して分類している。	○	○		観察・ノート		
				・平行四辺形の対辺の長さや対角の大きさを調べ、平行四辺形の性質を理解する。	1	・平行四辺形の対辺、対角の大きさは等しいことを理解している。	○			観察・ノート		
				・定義や性質に基づいた平行四辺形の見方をする。	1	・平行四辺形の定義や性質に基づいた見方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
				・「ひし形」の用語とその定義、性質を理解するとともに、定義や性質に基づいたひし形の見方をする。	1	・ひし形の対辺や対角に着目し、性質を見いだしている。		○		観察・ノート		
				・「対角線」の用語とその定義を理解するとともに、ひし形の対角線の性質を理解する。	1	・四角形の「対角線」の用語とその意味、ひし形の対角線の性質を理解している。	○			観察・ノート		
				・四角形の対角線の性質を調べ、四角形についての理解を深める。	1	・対角線に着目して、いろいろな四角形の性質を見いだしている。		○		観察・ノート		
				・ひし形を対角線で分割してできる三角形の特徴について説明する。	1	・ひし形を対角線で分割してできる三角形の特徴を捉え、筋道立てて説明している。		○		観察・ノート		
				・形も大きさも同じ平行四辺形、台形、ひし形を敷き詰めてできた形を観察し、それぞれの図形の性質について理解を深める。	1	・合同な平行四辺形、台形、ひし形を敷き詰める活動をたのしみ、平面のひろがりやできる模様的美しさに気づいている。			○	観察・ノート		
				・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・垂直、平行の意味や台形、平行四辺形、ひし形の定義や性質について理解している。また、垂直、平行な直線や、いろいろな四角形を作図することができる。	○			観察・ノート		
				ふくろう先生のなるほど算数教室2	118	・輪を2つつないだ形を切って開くとどのような形ができるか考え、図形の定義や性質について理解を深める。	適宜	・輪の大きさやつなげる角度と、できあがる図形の関連性について考え、切った後の形を考えたり、目的の形をつくったりすることができる。		○		観察・ノート
ふくしゅう	119	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート				
9				・大きな数量を絵グラフに表す場面を通して、数値を概数にして表す必要性を理解する。また、「がい数」の用語とその意味を理解する。	1	・「がい数」の用語とその意味を理解している。	○		観察・ノート	小4年 「1億より大きい数」 ・億、兆の位までの数の数概念 ・十進位取り記数法のまとめ		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
がい数	がい数	がい数	120～128	・数直線をもとにして、四捨五入、切り捨て、切り上げの意味とその方法を理解する。	1	・「四捨五入」の用語とその意味、表し方を理解し、指定された位の数字を四捨五入して、大きな数を概数で表すことができる。	○			観察・ノート				
				・「〇の位までの概数」の表し方を理解し、表す。	1	・概数で表すときに、どの位を四捨五入すればよいかを考え、説明している。		○		観察・ノート				
				・「上から〇桁の概数」の表し方を理解し、表す。	1	・「上から〇桁の概数」の意味や表し方を理解し、大きな数を概数で表すことができる。	○			観察・ノート				
				・「以上」、「以下」、「未満」の用語とそれらの意味を理解し、概数で表された数の範囲を表す。	1	・四捨五入された位に着目し、概数で表された数の範囲を考えている。		○		観察・ノート				
				・卵の重さとサイズについて考える場面を通して、「未満」の意味の理解を深める。	1	・「以上」、「以下」、「未満」の意味や使い方を理解している。	○			観察・ノート				
	がい数の計算	がい数の計算	129～132	・概数を用いて、大きな数の和や差を見積もる。	1	・問題場面の数値を概数にして計算するよさに気づき、概数を用いて解決しようとしている。			○				観察・ノート	
				・概数を用いて、大きな数の積や商を見積もる。	1	・計算の目的を捉え、数値を必要に応じた概数になおして考えている。		○		観察・ノート				
				・代金の合計について考える場面で、切り上げや切り捨てを用いた適切な見積もりの方法を考える。	2	・場面に着目し、目的に応じた適切な見積もりの方法を考え、説明している。 ・それぞれの見積もりの仕方よさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。		○	○	観察・ノート				
	たしかめ問題	たしかめ問題	133～134	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・概数を用いる場面を理解し、大きな数を適切な概数に表すことができる。また、概数が表す数の範囲を「以上」、「以下」、「未満」の用語を用いて表すことができる。	○						観察・ノート	
	何十でわる計算	何十でわる計算	135～137	・「何十」、「何百何十」÷「何十」の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・「何十」、「何百何十」÷「何十」の計算の仕方を理解し、計算できる。	○						観察・ノート	小4年 「わり算の筆算」 ・2、3位数÷1位数の筆算 ・除法の確かめの式 「がい数」 ・四則計算の見積もり
				・「何百何十」÷「何十」を、10をもとにして考えたときのあまりの大きさを理解し、計算する。	1	・「何百何十」÷「何十」のあまりの大きさについて、10を単位とした数の見方に着目して考え、説明している。		○		観察・ノート				
			・2位数÷2位数で、わりきれぬ場合やあまりのある場合の除法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	2	・2位数÷2位数の筆算の仕方を理解し、計算できる。 ・2位数÷2位数の筆算の仕方を、2位数÷1位数の筆算の仕方をもとに考えようとしている。	○		○	観察・ノート					
			・2位数÷2位数で、過大商の修正の仕方を理解し、計算する。	1	・2位数÷2位数の仮商(過大商)の修正の仕方及び、その筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート					
	・2位数÷2位数で、過小商の修正の仕方を理解し、計算する。	1	・2位数÷2位数の仮商(過小商)の修正の仕方及び、その筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート							

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		商の見当のつけ方、練習	142	・商の見当のつけ方を確認・整理し、それに習熟する。	1	・商の見当のつけ方を整理し、それを用いて2位数÷2位数の計算をすることができる。	○			観察・ノート			
10	2けたの数でわるわり算	3けたの数でわるわり算	143	・3位数÷2位数で、商が1位数になる場合の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・3位数÷2位数(商が1位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
			144	・3位数÷2位数で、商が2位数になる場合の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・3位数÷2位数(商が2位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
			145	・いろいろな3位数÷2位数の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・いろいろな3位数÷2位数(商が2位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
		大きな数のわり算の筆算	146	・被除数が4位数の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・被除数が4位数の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
			わり算のきまり	147 148	・除法では、被除数と除数に0でない同じ数をかけても同じ数でわっても商は変わらないことを理解する。 ・除法に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫する。また、工夫して計算したときのあまりの大きさについて理解する。	1 1	・被除数と除数の関係に着目し、除法に関して成り立つ性質を帰納的に見いだしている。 ・除法に関して成り立つ性質を活用して計算を工夫したり、あまりの大きさを正しく捉えたりすることができる。	 ○	○		観察・ノート 観察・ノート		
		かけ算かな、わり算かな	149	・数直線図を用いて、乗法や除法の演算決定をする。	1	・数直線図を用いて、基準量や比較量の関係を捉え、演算決定できる。			○		観察・ノート		
			たしかめ問題	150 151	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・2位数÷2位数、3、4位数÷1、2位数の計算ができる。また、数直線図を活用して演算決定したり、除法に関して成り立つ性質を用いて商の等しい式を見つけたりすることができる。	○			観察・ノート		
	読み取る力をのばそう	152	・まとめて買うと様々な割引きがある場面で、提示された情報を比較検討し、目的に適した情報を選択する。	1	・提示された情報の中から、必要な情報を選び取り、目的に適した求め方を考えている。			○	観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	変わり方	変わり方	153 ～ 159	・対応して変化する2つの数量の関係を表に表したり、その関係を $O + \Delta = a$ の型の式に表したりして考察する。	1	・場面からともなって変わる量を見だしている。また、数量の関係を調べるには順序よく並べればよいことに気づき、表を縦や横に見てきまりを見だしている。		○		観察・ノート	小5年 「2つの量の変わり方」 ・比例の意味			
				・2つの数量の関係を表に表したり、 $O + a = \Delta$ の型の式に表したりして考察する。	1	・2つの数量の関係を $O + a = \Delta$ の型の式に表して、一方の量からもう一方の量を求めることができる。	○		観察・ノート					
				・2つの数量の関係を表に表したり、 $O \times a = \Delta$ の型の式に表したりして、規則性について考察する。	1	・2つの数量の関係を表や式などを用いて考察し、それらを問題解決に生かしている。		○	観察・ノート					
				・徐々に水が減っていく場面で、水の量の変わり方を折れ線グラフに表し、2つの数量の関係を考察する。	1	・2つの数量の関係を、グラフを用いて調べるよさに気づいている。		○	観察・ノート					
				・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ともなって変わる2つの数量の関係を表に表したり、 $O$ 、 $\Delta$ を用いた式に表したりすることができる。	○		観察・ノート					
		たしかめ問題	160 161							観察・ノート				
		プログラミングにしようせん！②	162 163	・青玉を並べるプログラムを操作しながら、番号と青玉の数の関係を式に表し、それをもとに自動で青玉の数を調べるプログラムを考える。	1	・番号と青玉の数の関係を式に表し、それをもとに自動で青玉の数を調べるプログラムを考え、説明している。		○		観察・ノート				
		11	倍とかけ算、わり算	倍とかけ算、わり算	164 ～ 168	・比較量と基準量から倍を求める場面について、数量の関係を理解する。	1	・倍を求めるときは除法が用いられることや、そのときの数量の関係について理解している。	○				観察・ノート	小3年 「倍とかけ算、わり算」 ・倍と乗法、除法  小4年 「小数と整数のかけ算・わり算」 ・小数×整数、小数÷整数の筆算 ・小数倍  小5年 「割合」 ・割合、百分率、歩合の意味と表し方、割合・比較量・基準量の関係
						・基準量と倍から比較量を求める場面について、数量の関係を理解する。	1	・図を用いて数量の関係を考え、説明している。		○		観察・ノート		
						・倍と比較量から基準量を求める場面について、数量の関係を理解する。	1	・図を用いて数量の関係を考え、説明している。		○		観察・ノート		
・整数倍を使って、数量の関係を比べることができることを理解する。 ・「割合」の用語とその意味を理解する。	1					・整数倍(割合)を用いて、数量の関係を比べることができることを理解している。	○		観察・ノート					
たしかめ問題	169			・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・比較量を求めるときは乗法、割合や基準量を求めるときは除法が用いられることを理解している。また、整数倍(割合)を用いて、数量の関係を比べることができる。	○			観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		どんな計算するのか、ふくしゅう	170 171	・問題場面を捉え、対応する数直線図を選び、演算決定をする。 ・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・問題場面と数直線図を結び付け、演算決定している。 ・既習事項を理解している。	○	○		観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室3	172	・1→2→4→8→16…と、数を倍にしていくと大きな数になることに気づくことを通して、数や計算への興味・関心を高める。	適宜	・2倍を繰り返すと、数が急激に大きくなることに気づき、計算の不思議さに興味・関心をもっている。			○	観察・ノート		
小数	小数の表し方	173 ～ 176	・1/100の位までの小数の表し方や読み方を理解する。	1	・かさに関する測定値について、1/100の位までの小数の表し方や読み方を理解し、表したり読んだりすることができる。	○			観察・ノート	小3年 「小数」 ・1/10の位までの小数の概念	小5年 「整数と小数」 ・整数と小数の統合的な見方	
			・1/100の位までの小数を用いて、mの単位で長さを表す。	1	・長さに関する測定値について、1/100の位までの小数で表したり、読んだりすることができる。	○			観察・ノート			
			・1/1000の位までの小数の表し方や読み方を理解する。	1	・具体的な測定値について、1/1000の位までの小数の表し方や読み方を理解し、表したり読んだりすることができる。	○			観察・ノート			
	小数と整数のしくみ	177 ～ 181	・0.001までの大きさを理解し、小数も十進位取り記数法に基づいていることを理解し、各位の名称を知る。	1	・小数は整数と同じように十進数の仕組みになっていることや各位の名称を理解している。	○			観察・ノート			
			・小数を、数の構成をもとに、0.01を単位として相対的にみて表す。	1	・小数を0.01や0.001のいくつ分で表す方法を考え、説明している。		○		観察・ノート			
			・小数と小数、小数と整数の大小比較の仕方を理解する。	1	・小数の大小比較の仕方を、数の仕組みや数直線をもとに考え、説明している。		○		観察・ノート			
			・小数を10倍、100倍した数や、1/10、1/100にした数について理解する。	1	・小数を10倍、100倍した数や1/10、1/100にした数について理解している。	○			観察・ノート			
	数の見方	182	・1つの小数を多面的にみて表す。	1	・1つの小数を多面的にみて表すことができる。		○		観察・ノート			
	小数の計算	183 ～ 187	・小数の加法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・数の仕組みに着目し、小数の加法の計算の仕方を、既習事項をもとに考え、説明している。		○		観察・ノート			
			・小数点以下の桁数が異なる加法や、答えの末尾が0になる加法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・小数点以下の桁数が異なる加法や、答えの末尾が0になる加法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
・小数の減法の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。			1	・1/100の位までの小数の減法の計算の仕方や筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
12	面積			・小数点以下の桁数が異なる減法の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・小数点以下の桁数が異なる減法の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート	小3年 「長さ」 ・巻尺による測定 ・長さの単位(km) 「重さの単位」 ・重さの直接、間接比較、任意単位による比較、重さの単位と測定 ・単位の仕組み	小5年 「体積」 ・体積の単位と直方体、立方体の求積、容積	
				たしかめ問題	188 189	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・1/1000の位までの小数の表し方や大小比較の仕方を理解し、加減の計算ができる。	○				
		広さの表し方	190 ～ 193	・広さの比べ方を考え、1辺が1cmの正方形のいくつ分かで面積を数値化する。 ・「面積」の用語とその意味を理解する。 ・面積の単位「cm <sup>2</sup> 」を知り、図形の面積をcm <sup>2</sup> で表す。	2	・面積の単位「cm <sup>2</sup> 」の意味を理解し、面積をcm <sup>2</sup> の単位で表すことができる。 ・長さやかさ、重さでの比べ方をもとに、面積を数値化して比べる方法を考え、説明している。	○	○		観察・ノート			
				長方形と正方形の面積	194 ～ 198	・長方形や正方形の面積を計算で求める方法を理解し、それらを求積公式にまとめて適用する。	1	・長方形や正方形の求積公式を理解し、面積を求めることができる。	○				
		・周りの長さでは面積が決まらないことを理解する。 ・長方形の面積と一方の辺の長さから、もう一方の辺の長さを求める方法を考える。	1			・長方形や正方形の周りの長さや面積の関係について考え、見いだしたことを説明している。		○		観察・ノート			
		・複合図形の面積を、求積公式を適用して求める。	1			・図形の構成の仕方に着目して複合図形の求積方法を考え、説明している。		○		観察・ノート			
		いろいろな面積の単位	199 ～ 203			・面積の単位「m <sup>2</sup> 」を知り、面積をm <sup>2</sup> で表す。 ・「m <sup>2</sup> 」と「cm <sup>2</sup> 」の関係を理解する。また、縦と横で長さの単位が異なる長方形の面積を求める。 ・身の回りの物の面積を求める。	1	・面積の単位「m <sup>2</sup> 」の意味を理解している。	○				
				・面積の単位「km <sup>2</sup> 」を知り、面積をkm <sup>2</sup> で表す。 ・「km <sup>2</sup> 」と「m <sup>2</sup> 」の関係を理解する。 ・面積の単位「a」、「ha」を知り、面積をa、haで表す。 ・面積の単位の関係を、正方形の1辺の長さに着目して整理する。	1	・面積の単位「km <sup>2</sup> 」の意味と、「m <sup>2</sup> 」との関係を理解している。 ・面積の単位「a」、「ha」の意味と、「m <sup>2</sup> 」との関係を理解している。	○			観察・ノート			
		たしかめ問題	204 205	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・面積の意味や求積公式をもとに、面積を求めることができる。また、「cm <sup>2</sup> 」、「m <sup>2</sup> 」、「km <sup>2</sup> 」とその関係について理解している。	○			観察・ノート			
		そろばん	206 207	・そろばんによる大きな数や小数の読み方や表し方を理解する。 ・繰り上がりのある2位数どうしの加法について、そろばんによる計算の仕方を理解し、計算する。	1	・そろばんによる大きな数や小数の読み方や表し方を理解している。また、そろばんによる2位数の加法の計算の仕方を理解している。	○			観察・ノート			小3年 「そろばん」 ・整数、小数のおき方とはらい方



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		たし算とひき算	207 208	・減数が2位数で繰り下がりのある減法について、そろばんによる計算の仕方を理解し、計算する。 ・大きな数や小数の加法、減法について、そろばんによる計算の仕方を理解し、計算する。	1	・2、3位数から2位数をひく減法や、大きな数や小数の簡単な加減について、そろばんによる計算の仕方を理解している。	○			観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室4	209	・連続する自然数の和を工夫して求める方法を考える。	適宜	・1からある数まで連続して順序よく並んだ数の和を、工夫して求める方法を考えている。		○		観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室5	210	・算数を仕事に生かしている方へのインタビューを読み、算数への学習意欲を高める。	適宜	・算数が仕事や生活に生かされていることを知り、算数の学習に対する意欲を高めている。			○	観察・ノート		
		ふくしゅう	211	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
1		小数×整数	212 ～ 217	・純小数(1/10の位)×整数(1位数)の意味と計算原理、方法を理解し、計算する。	1	・純小数(1/10の位)×整数(1位数)の意味や計算の仕方を理解している。	○			観察・ノート	小4年 「わり算の筆算」 ・2、3位数÷1位数の筆算 ・除法の確かめの式 「2けたの数でわる計算」 ・2、3位数÷2位数の筆算 ・除法の計算のきまり 「倍とかけ算、わり算」 ・倍と乗法、除法	小5年 「小数のかけ算」 ・乗法の意味の拡張 ・小数をかける計算の筆算 「小数のわり算」 ・除法の意味の拡張 ・小数でわる計算の筆算 ・小数倍と乗法、除法の関係
・帯小数(1/10の位)×整数(1位数)の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1			・帯小数(1/10の位)×整数(1位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○		観察・ノート					
・小数(1/10の位)×整数(2位数)の筆算の仕方を理解し、計算する。	1			・小数(1/10の位)×整数(2位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○		観察・ノート					
・小数(1/100の位)×整数(1、2位数)の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1			・小数(1/100の位)×整数(1、2位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○		観察・ノート					
		練習	218	・基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。	1	・小数×整数の計算が筆算ででき、それを用いて問題を解決することができる。	○			観察・ノート		
		小数÷	219 ～	・帯小数(1/10の位)÷整数(1位数)の意味や計算原理、方法を理解し、計算する。	1	・帯小数(1/10の位)÷整数(1位数)の計算の仕方について、小数を0.1を単位にしてみるなどに着目し、整数の除法に帰着して考え、説明している。		○		観察・ノート		
				・一の位がわりきれない場合の帯小数(1/10の位)÷整数(1位数)の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・一の位がわりきれない場合の帯小数(1/10の位)÷整数(1位数)の計算の仕方について、小数を0.1を単位としてみるなどに着目して考え、説明している。	1		○		観察・ノート	

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
2	整数のかけ算・わり算	整数	224	・ 小数(1/10の位)÷整数(1位数)で、商が1より小さくなる場合の筆算の仕方を理解し、計算する。 ・ 帯小数(1/10の位)÷整数(2位数)の筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・ 帯小数(1/10の位)÷整数(1,2位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
				・ 小数(1/100の位)÷整数(1,2位数)の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・ 帯小数(1/100の位)÷整数(1,2位数)の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
		あまりのあるわり算	225	・ あまりのある小数÷整数の計算で、あまりの大きさを理解し、計算する。	1	・ 小数÷整数で、あまりの小数点は被除数の小数点にそろえてうつことを理解し、あまりを求めたり、答えを確かめたりすることができる。	○			観察・ノート		
			わり進みの計算	226	・ わり進めて商を求める小数÷整数の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算する。	1	・ 小数÷整数で、わり進んで商が小数になる場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート	
		227		・ 整数÷整数で商をわり進めて求めたり、商を概数で求めたりする。	1	・ 整数÷整数で、わり進んで商が小数になる場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。また、整数÷整数や小数÷整数で、商を四捨五入して概数で表すことができる。	○			観察・ノート		
		小数と倍	228	・ 何倍かを表すときに小数を用いることがあることを理解する。	1	・ 小数倍の意味について、数直線図などをもとに考え、説明している。		○		観察・ノート		
	229											
	たしかめ問題	230	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 小数×整数、小数÷整数の計算が筆算ででき、それを用いて問題を解決することができる。		○		観察・ノート			
		231										
	分数	分数の表し方	232～238	1	・ 「真分数」、「仮分数」、「帯分数」の用語とそれらの意味や表し方を理解している。		○		観察・ノート	小3年「分数」 ・ 分数の概念 ・ 分数と小数の関係	小5年「整数と小数」 ・ 整数と小数の統合的な見方	
				1	・ 仮分数を帯分数で表す方法を理解している。		○		観察・ノート			
				1	・ 単位分数に着目して、帯分数を仮分数で表す方法を考えている。		○		観察・ノート			
練習		238	1	・ 同分母の仮分数と帯分数の大小比較の仕方を理解する。 ・ 基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。		○		観察・ノート				
			1	・ 同分母の真分数や仮分数の加法、減法の計算原理や方法を理解し、計算する。		○		観察・ノート				
				・ 同分母の帯分数の加法、減法の計算原理や方法を理解し、計算する。		○		観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	計算	243		・同分母の帯分数の加法(分数部分の繰り上がりあり)の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・分数の仕組みに着目し、繰り上がりがある場合の計算の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
				・同分母の帯分数の減法(整数部分からの繰り下がりあり)の計算原理や方法を理解し、計算する。	1	・分数の仕組みに着目し、同分母の帯分数や整数から真分数や帯分数をひく計算で、繰り下がりがある場合の計算の仕方考え、説明している。		○		観察・ノート		
		分数の大きさ	244 ～ 245	・分数を数直線上に表して、大きさの等しい分数を見つける。 ・同分子の分数の大小比較の仕方を理解する。	1	・分母が異なる分数でも、大きさの等しい分数があることを理解している。また、分子が同じ真分数や仮分数の大きさの比べ方を理解している。		○		観察・ノート		
	たし かめ 問題	246 ～ 247	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・帯分数、仮分数の表し方や変換の仕方を理解し、同分母分数の加減の計算ができる。また、同分子、同分母の分数の大小比較ができる。		○		観察・ノート			
	ふくろう 先生の なるほど 算数教室6	248	・小数と分数の表し方の歴史を知り、数の表し方に対する興味・関心を高める。	適宜	・小数と分数の歴史に触れ、現在の小数や分数の記数法のよさに気づいている。			○	観察・ノート			
	読み取る 力をのばそう	249	・お品書きにある様々な商品と値段、条件から、目的に合った組み合わせを多様に考える。	1	・様々な場合を想定し、試行錯誤したり論理的に考えたりして、条件に合った組み合わせを多様に考えている。		○		観察・ノート			
	直 方 体 と 立 方 体	250 ～ 253	・箱の形を分類する活動を通して、「直方体」、「立方体」の用語とそれらの定義を理解する。	1	・箱の形を、構成要素に着目して分類している。		○		観察・ノート	小3年 「はこの形」 ・箱の形やさいころの形の分解、構成、及び構成要素の特徴  小4年 「垂直、平行と四角形」 ・垂直、平行、台形、平行四辺形、ひし形の定義と性質、かき方、対角線の性質		
			・直方体や立方体の頂点、辺、面などの構成要素の数を調べ、共通点や相違点を考える。	1	・直方体や立方体の構成要素の数、面の形などの特徴を見いだしている。		○		観察・ノート			
		254 ～ 256	・「展開図」の用語とその意味を理解し、展開図をかいて直方体をつくる。	1	・直方体の辺や面のつながりや位置関係に着目して展開図のかき方を考えている。		○		観察・ノート			
			・立方体の展開図をかいて立方体をつくる。	1	・立方体の辺や面のつながりや位置関係を理解している。		○		観察・ノート			
面や 辺の 垂直と 平行	257 ～ 259	・直方体の面と面、辺と辺の垂直、平行の関係について理解する。	1	・直方体の面や辺の垂直、平行の関係を理解している。		○		観察・ノート				
		・直方体の面と辺の垂直、平行の関係について理解する。	1	・直方体の面と辺の垂直、平行の関係をみいだしている。		○		観察・ノート				
3	直 方 体 と 立 方 体	見 取 図	260	・「見取図」の用語とその意味、かき方を理解し、直方体や立方体の見取図をかく。	1	・直方体や立方体の見取図をかくことができる。		○		観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		位置の表し方	261 262	・平面上の点の位置は2つの数の組で、空間にある点の位置は3つの数の組で表せることを理解する。	1	・平面上の点の位置は、横、縦の2つの長さで決まることや、空間にある点の位置は横、縦、高さの3つの長さで決まることを理解している。	○			観察・ノート		
		たししかめ問題	263 264	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・直方体や立方体の面や辺の垂直、平行の関係、展開図の読み取り方、見取図のかき方、空間の位置の表し方を理解している。	○			観察・ノート		
		4年のふくしゅう	265 ～ 269	・4学年の復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	2	・既習事項を理解している。	○	○		観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室7	270 271	・地球温暖化について知り、東京の気温の変化が表されたグラフから、変化の特徴を読み取る。	適宜	・折れ線グラフの変化の特徴を読み取り、説明している。			○	観察・ノート		
		テスト等		テスト+予備	12		○	○		ペーパーテスト等		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	整数と小数	整数と小数	16～20	・整数や小数を10倍、100倍、1000倍すると、小数点がそれぞれ右へ1桁、2桁、3桁移り、1/10、1/100、1/1000にすると、左に1桁、2桁、3桁移ることを理解する。	1	・整数や小数を10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100、1/1000にしたときの小数点の移動の仕方を理解している。	○			観察・ノート	小4年 「1億より大きい数」 ・億、兆の位までの数の数概念 ・十進位取り記数法のまとめ 「小数」 ・1/1000の位までの小数の概念	
				・小数も整数と同じように、どんな大きさの数でも0から9までの10個の数字と小数点を使って表せることが分かる。	1	・数の表し方の仕組みに着目し、整数と小数を統合的に捉えている。		○		観察・ノート	「分数」 ・「真分数」、「仮分数」、「帯分数」の意味、帯分数と仮分数の変換 ・大きさの等しい分数	
		たしめ問題	21 22	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・整数や小数を10倍や1/10などにしたときの小数点の移動の仕方や、十進位取り記数法の仕組みを理解している。	○			観察・ノート		
	復習	23	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート			
	図形の角の大きさ	三角形、四角形の角	24～31	・三角形の3つの角の大きさについて、和が180°になることに興味をもち、角を切ったり、折ったりすることで、どんな三角形でも180°になることを一般化する。	2	・三角形の内角の和は180°であることを理解し、未知の角の大きさを求めることができる。 ・いくつかの三角形の内角を調べて、三角形の内角の和は180°になることを帰納的に見いだしている。	○	○		観察・ノート	小4年 「角度」 ・角度の表し方と測定、かき方	
				・三角形の内角の和が180°であることをもとに、どんな四角形でも内角の和が360°であることを説明する。	1	・四角形をいくつかの三角形に分けて、内角の和が360°であることを演繹的に説明している。			○		観察・ノート	
		多角形の角	32 33	・「五角形」、「六角形」、「多角形」の用語とそれらの意味を理解し、三角形の内角の和を用いて、多角形の内角の和を求める。	1	・多角形の内角の和について、三角形や四角形の内角の和をもとに考え、説明している。			○		観察・ノート	
		角の大きさの和をまとめよう	34	* 多角形の内角の和の求め方を辺の数や多角形の中にできる三角形と関連付けて考え、式で表現できる。	適宜	・多角形の内角の和の求め方を、辺の数や多角形の中にできる三角形に着目して考え、式に表し説明している。			○		観察・ノート	
		しきつめ	35	・合同な三角形や四角形は敷き詰められることを、操作を通して理解する。	1	・図形の敷き詰めについて、平面のひろがりや模様的美しさに気づいている。				○		
	たしめ問題	36 37	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・三角形、四角形の内角の和を用いて、未知の角の大きさを求めることができる。	○				観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		ふくろう先生のなるほど算数教室1	38 39	・様々な敷き詰め模様を観察したり、つくったりすることを通して、図形に対する見方を豊かにし、興味・関心を高める。	適宜	・敷き詰め模様の観察や構成に主体的に取り組んでいる。			○	観察・ノート		
	2つの量の変わり方	2つの量の変わり方	40 ～ 42	・比例関係にある2つの数量の変化の様子を表に整理して特徴を見だし、「比例」の定義を理解する。	1	・2つの数量の関係を表に整理し、対応や変化の特徴を見だし、説明している。			○	観察・ノート	小4年 「変わり方」 ・2量の関係を表、式、グラフに表すこと	小5年 「体積」 「正多角形と円」 「四角形と三角形の面積」 ・いろいろな比例
				・表をもとに比例かどうかを考え、2つの数量の関係を数直線図に表す。	1	・ともなって変わる2つの数量の関係が比例かどうか判断し、比例の関係を数直線図に表すことができる。	○			○	観察・ノート	小6年 「文字を使った式」 ・x、yを使った式表示
	整数×小数	整数×小数	43 ～ 48	・乗数が帯小数(1より大きい小数)の場合でも乗法の式に表すことができることを、乗数が整数の場合をもとに考えたり、数直線図を用いたりして理解する。	1	・帯小数をかけることの意味を、数直線図などを用いて考え、説明している。			○	観察・ノート	小4年 「小数と整数のかけ算・わり算」 ・小数×整数、小数÷整数の筆算 ・小数倍	小5年 「小数のわり算」 ・除法の意味の拡張 ・小数でわる計算の筆算 ・小数倍と乗法、除法の関係
				・整数×帯小数の計算の仕方を、既習の計算に帰着させて考える。	2	・整数×帯小数の計算の仕方を理解している。 ・小数の仕組みに着目し、乗数が帯小数の乗法の計算の仕方を、既習の計算に帰着させて考え、説明している。	○	○		○	観察・ノート	小6年 「分数のかけ算」 ・分数をかける計算 ・逆数の意味
				・乗数が純小数(1より小さい小数)の場合でも、乗法の式に表すことができることを、数直線図などを用いて理解し、計算の仕方を考える。	1	・整数×純小数の意味や計算の仕方を理解し、立式して計算することができる。	○			○	観察・ノート	
				・計算原理に基づいて、整数×小数を筆算で計算する。	1	・整数×小数の筆算の仕方を理解し、計算できる。	○			○	観察・ノート	
				・小数×小数の式表示と計算原理、方法を理解し、立式したり筆算で計算したりする。	1	・数直線図や既習の整数の乗法などをもとに、小数×小数の立式をし、計算の仕方を考え、説明している。	○			○	観察・ノート	
5	小数のかけ算	小数×小数	49 50	・小数×小数の筆算の仕方をまとめる。また、0を補って正しい位取りにする処理の仕方などを理解する。	1	・被乗数や乗数が1/100の位までである小数の場合について、筆算の仕方を理解し、計算できる。			○	観察・ノート		
				・基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。	1	・小数の乗法の計算の仕方を理解し、計算できる。また、それを用いて問題を解決することができる。	○			○	観察・ノート	
		練習	51						○	観察・ノート		
		積の大きさ	52	・小数をかける乗法で、乗数の大きさから積と被乗数の大小関係を判断する。	1	・数直線図上の乗数の大きさに着目し、積と被乗数の大小関係を見いだしている。			○		観察・ノート	

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)			
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
		面積の公式と小数	53	・ 辺の長さが小数の場合でも、面積の求積公式が適用できることを理解する。	1	・ 辺の長さが小数の場合でも、面積の求積公式が適用できることを理解している。	○			観察・ノート					
		計算のきまり	54	・ 小数の場合にも、乗法の交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解する。	1	・ 小数の場合にも、乗法の交換法則、結合法則、分配法則が成り立つことを理解し、それらを計算の工夫などに用いることができる。	○			観察・ノート					
		たしなめ問題	55 56	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 小数の乗法の計算の仕方を理解し、筆算で計算できる。	○			観察・ノート					
		復習	57	・ 復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・ 既習事項を理解している。	○			観察・ノート					
	体積	直方体と立方体の体積	58 ～ 66	・ 面積などの学習をもとに直方体や立方体のかさの比べ方を考え、1辺が1cmの立方体の数でかさを数値化する。 ・ 「体積」の用語とその意味や表し方を理解する。	2	・ 既習の面積などから類推して、単位となる大きさを決め、数値化して体積を比べる方法を考え、説明している。 ・ 面積の学習をもとに、体積も計算で求めることができるのかと問題を見いだしている。		○	○	観察・ノート	小4年 「面積」 ・ 面積の単位と長方形、正方形の求積 「直方体と立方体」 ・ 直方体と立方体の定義と性質、展開図、見取図、面・辺の位置関係 ・ 位置の表し方	小6年 「角柱と円柱の体積」 ・ 角柱、円柱の求積			
・ 直方体や立方体の求積公式を理解し、公式を適用して体積を求める。				1	・ 直方体や立方体の求積公式を理解し、体積を求めることができる。	○		観察・ノート							
・ 複合図形の体積を、直方体に分割したり、欠損部分をひいたりする考え方で求めることができる。 * 長さ、面積、体積の単位を比べ、それぞれの単位の理解を深める。				1	・ 図形の構成の仕方に着目して複合図形の求積方法を考え、説明している。		○	観察・ノート							
・ 直方体の縦と横の長さが一定のとき、高さや体積の変わり方を調べ、その特徴を捉える。				1	・ 直方体の高さや体積の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を見いだしている。		○	観察・ノート							
いろいろな体積		67 ～ 70	・ 大きな体積の単位として「m <sup>3</sup> 」があることを知り、大きな立体の体積を求める。	1	・ 体積の単位「m <sup>3</sup> 」の意味を理解している。		○			観察・ノート					
			・ m <sup>3</sup> とcm <sup>3</sup> の関係や、辺の長さが小数で表されているときにも体積の求積公式が適用できることを理解する。	1	・ m <sup>3</sup> とcm <sup>3</sup> の関係を理解している。また、辺の長さが小数の場合にも求積公式が適用できる。		○			観察・ノート					
			・ 1Lは、1辺が10cmの立方体の体積と等しいことを知り、cm <sup>3</sup> 、m <sup>3</sup> 、mL、Lの関係を理解する。	1	・ 「cm <sup>3</sup> 」、「m <sup>3</sup> 」、「mL」、「L」の関係を理解している。		○			観察・ノート					
			・ 「内のり」、「容積」の用語や容積の求め方を理解する。	1	・ 「内のり」、「容積」の用語とその意味を理解し、内のりを求めて容積を求めることができる。		○			観察・ノート					
6			たしなめ問題	71 72	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 体積の単位について理解し、求積公式を用いて、体積や容積を求めることができる。	○					観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
小 数 の わ り 算	整数÷小数	73 ～ 78	<ul style="list-style-type: none"> <li>除数が帯小数の場合でも、除法の式に表すことができることを、除数が整数の場合をもとに考えたり、数直線図を用いたりして理解する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>帯小数でわることの意味を数直線図などを用いて考え、説明している。</li> </ul>			○	観察・ノート	小4年 「小数と整数のかけ算・わり算」 ・小数×整数、小数÷整数の筆算 ・小数倍  小5年 「小数のかけ算」 ・乗法の意味の拡張 ・小数をかける計算の筆算	小5年 「分数と小数、整数」 ・商の分数表示 ・分数倍  小6年 「分数のわり算」 ・分数でわる計算 ・整数、小数、分数の乗法、除法 ・分数倍と乗法、除法の関係	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>整数÷帯小数の計算の仕方を、既習の計算に帰着させて考えることができる。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数÷帯小数の計算の仕方を理解している。</li> <li>小数の仕組みに着目し、除数が帯小数の除法の計算の仕方を、既習の計算に帰着させて考え、説明している。</li> </ul>	○	○	観察・ノート				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>除数が純小数の場合でも、除法の式に表すことができることを、数直線図などを用いて理解し、その計算の仕方を考える。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数÷帯小数の意味を説明した方法を振り返り、整数÷純小数でもそれを生かそうとしている。</li> </ul>			○	観察・ノート			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>計算原理に基づいて、整数÷小数を筆算で計算する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数÷小数の筆算の仕方を理解し、計算できる。</li> </ul>	○		観察・ノート				
	小数÷小数	79 ～ 81	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数÷小数の式表示と計算原理、方法を理解し、立式したり、筆算で計算したりする。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線図や既習の整数の除法などをもとに、小数÷小数の立式をし、計算の仕方を考え、説明している。</li> </ul>			○	観察・ノート			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>小数(1/100の位)÷小数(1/10の位)の筆算の仕方をまとめる。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数(1/100の位)÷小数(1/10の位)の計算について、除数のみを整数になおせばよいことを理解し、筆算で計算できる。</li> </ul>	○		観察・ノート				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>小数÷小数の筆算の仕方をまとめる。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数の除法の一般化した筆算の仕方を理解し、計算できる。</li> </ul>	○		観察・ノート				
	練習	82	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数の除法の計算の仕方を理解し、計算できる。また、それを用いて問題を解決することができる。</li> </ul>	○		観察・ノート				
	商の大きさ	83	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわる除法で、除数の大きさから、商と被除数の大小関係を判断する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線図上の除数の大きさに着目し、商と被除数の大小関係を見いだしている。</li> </ul>			○	観察・ノート			
	わり算の計算とあまりのあるわり算	84 ～ 86	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわる除法で、わりきれぬまでわり進む筆算の仕方を理解する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわる除法で、わりきれぬまでわり進む場合の筆算の仕方を理解し、計算できる。</li> </ul>	○		観察・ノート				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわる除法で、あまりの意味と大きさを理解し、商とあまりを求める。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわる除法では、あまりの小数点は、被除数のものと小数点にそろえてうつことを理解している。</li> </ul>	○		観察・ノート				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわる除法で、商を四捨五入して、1/10の位までの概数で求める。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわる除法で、商を概数で表すことができる。</li> </ul>	○		観察・ノート				
	わり算の式	87	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数の除法において、求答事項に応じて演算決定をすることで、除法の理解を深める。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線図などを用いて、求答事項に応じて式を考え、説明している。</li> </ul>			○	観察・ノート			
	小数倍と	88	<ul style="list-style-type: none"> <li>割合を求めるときには小数の除法、比較量を求めるときには小数の乗法が適用されることを理解する。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>割合を求めるときには、小数の除法が適用されることや、比較量を求めるときには、小数の乗法が適用されることを数直線図などをもとに見いだしている。</li> </ul>			○	観察・ノート			



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	かけ算、わり算	88～91		・割合が小数のとき、基準量を求めるときには、小数の除法が適用されることを理解する。	1	・基準量を求めるときに、小数の除法が適用されることを数直線図などをもとに見いだしている。		○		観察・ノート		
				・もとにする量が異なる2つの量を比較するときには、割合を適用して比較できることを理解する。	1	・もとにする量が異なる2つの量を比較するときには、割合を適用して比較できることを理解している。	○			観察・ノート		
		92 93		・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・小数でわる除法の計算の仕方を理解し、筆算で計算できる。	○			観察・ノート		
		たしかめ問題 プログラミングにしようせん！①	94 95	・除数が小数である場合の筆算の手順について、除数が整数である場合をもとにして、アルゴリズムを整理する。 * 生活の中でプログラムが使われている場面を知り、興味・関心を高める。	1	・除数が小数のわり算の筆算の手順について、除数が整数である場合をもとに、アルゴリズムを考え、説明している。		○		観察・ノート		
合同な図形	合同な図形	96～100		・錯視の関係になっている2つの図形の面の形や大きさが等しいことから、見た目では等しいか分からないものでも、重ね合わせれば分かることを確認し、本単元の見直しをもつ。	1	・図形を進んでかき、形と大きさが同じ図形について、ぴったり重ね合わせることでできる図形はどれか調べようとしている。			○		観察・ノート	小6年 「対称な図形」 ・線対称、点対称な図形の定義と性質、かき方 「拡大図と縮図」 ・拡大図、縮図の定義、性質とかき方、活用
				・合同な図形の対応する辺の長さや角の大きさは等しいことを理解する。 ・角の大きさだけが等しくても合同といえないことを説明する。	1	・合同な図形の対応する辺の長さや角の大きさは等しいことを理解している。 ・図形の構成要素に着目し、角の大きさだけが等しくなっている2つの図形は合同といえないことを説明している。	○	○		観察・ノート		
				・平行四辺形やひし形に対角線をひいてできる三角形について、合同であることを調べて、確かめる。	1	・平行四辺形やひし形に対角線をひいてできる三角形が合同であることを理解する。	○			観察・ノート		
	合同な図形のかき方	101～104		・対応する辺の長さや角の大きさがそれぞれ等しいことを用いて、合同な三角形を作図する方法を考え、説明する。	2	・図形の構成要素に着目し、合同な三角形のかき方を考え、説明している。 ・合同な三角形のかき方を多様に考えようしたり、自分のかき方を見直して、よりよい方法を追求しようしたりしている。		○	○		観察・ノート	
				・どの辺の長さや角の大きさはかればよいかを考えて、合同な四角形をかく。	1	・合同な三角形のかき方をもとに、合同な四角形のかき方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
		たしかめ問題	105 106	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・合同な三角形を作図するための条件を理解し、作図することができる。また、合同な図形を弁別することができる。	○			観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
		どんな計算するのか	107	・問題場面を捉え、対応する数直線図を選び、演算決定する。	1	・問題場面と数直線図を結び付け、演算決定している。		○		観察・ノート				
		復習	108	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。		・既習事項を理解している。	○			観察・ノート				
9	整数の性質	偶数と奇数	109 110	・整数を偶数と奇数に類別することができ、それぞれの用語とそれらの意味を理解する。	1	・乗法や除法に着目し、2つに分類した数の集まりの中から共通の性質を見いだしている。		○		観察・ノート	小5年 「分数のたし算とひき算」 ・通分、約分の意味と方法			
倍数と公倍数		111 ～ 114	・「倍数」、「公倍数」、「最小公倍数」の用語とそれらの意味や求め方を理解し、求める。	1	・「倍数」、「公倍数」、「最小公倍数」の用語とそれらの意味や求め方を理解し、求めることができる。	○			観察・ノート					
			・公倍数を見つける活動を通して、公倍数を手際よく求める。	1	・公倍数の求め方について、多面的に考え、よりよい方法を追求しようとしている。			○	観察・ノート					
			・公倍数の考え方を活用して、問題を解決する。	1	・最小公倍数を求めることによって、問題を解決できることを見いだしている。		○		観察・ノート					
約数と公約数		115 ～ 118	・「約数」、「公約数」、「最大公約数」の用語とそれらの意味や求め方を理解し、求める。	1	・「約数」、「公約数」、「最大公約数」の用語とそれらの意味や求め方を理解し、求めることができる。	○			観察・ノート					
			・公約数を見つける活動を通して、公約数を手際よく求める。	1	・公約数の求め方について、多面的に考え、よりよい方法を追求しようとしている。			○	観察・ノート					
			・公約数の考え方を活用して、問題を解決する。	1	・最大公約数を求めることによって、問題を解決できることを見いだしている。		○		観察・ノート					
たしかめ問題		119 120	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・偶数、奇数を類別したり、倍数、約数などを求めたりすることができる。	○				観察・ノート				
読み取る力をのばそう		121	・ゲームを通して、乗法九九の答えになる数の約数について考え、整数の性質についての理解を深める。	1	・ゲームのルールを理解し、有利になる数を、乗法の式や約数の個数に着目して考え、説明している。		○			観察・ノート				
分数の大きさ		122 ～ 128	・分子も分母も違う分数の大きさを数直線や図を使って比べる。	1	・分数の意味に着目したり、数直線や図を用いたりして、分数の大きさの比べ方を見いだしている。		○			観察・ノート			小4年 「分数」 ・「真分数」、「仮分数」、「帯分数」の意味、帯分数と仮分数の変換 ・大きさの等しい分数 小5年 「整数の性質」 ・偶数、奇数の意味 ・倍数、公倍数、約数、公約数などの意味、見付け方	小5年 「分数と小数、整数」 ・商の分数表示 ・分数倍 小6年 「分数のかけ算」 ・逆数の意味
	・大きさの等しい分数の分母どうし、分子どうしの関係を理解する。		1	・分数は、分母と分子に同じ数をかけても、分母と分子を同じ数でわっても、大きさは変わらないことを理解している。	○				観察・ノート					
	・通分して分数の大きさを比べる。		1	・「通分」の用語とその意味や方法を理解し、通分したり、分数の大きさを比べたりすることができる。	○				観察・ノート					

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
10	分数のたし算とひき算			・通分する際は、分母の最小公倍数にそろえると、簡単に分かりやすい分数になることに気づく。	1	・最小公倍数にそろえる通分の仕方や、3口の分数の通分の仕方を理解し、通分することができる。	○			観察・ノート		
				・「約分」の用語とその意味や方法を理解する。	1	・「約分」の用語とその意味や方法を理解し、約分することができる。	○			観察・ノート		
				・異分母分数の加法、減法の計算原理や方法を理解し、立式して計算する。	1	・異分母分数の加法、減法の計算の仕方について、通分すれば計算できることを見だし、説明している。		○		観察・ノート		
				・答えが約分できる加法、減法の計算や、3口の分数の加法、減法の計算をする。	1	・答えを約分すると大きさが分かりやすくなることや3口の加法、減法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
				・帯分数の加法、減法の計算の仕方を考え、計算する。	1	・帯分数の加法、減法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
	たしかめ問題	132 133	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・分数の約分、通分や、加法、減法の計算ができる。	○				観察・ノート		
	平均			・ならした大きさの求め方を考え、「平均」の用語とその意味や求め方を理解する。	1	・平均の求め方を図や式に表して考え、説明している。		○				観察・ノート
				・資料の中に0がある場合の平均の求め方や、平均では人数や個数なども小数で表せることについて理解する。	1	・資料の中に0がある場合の平均の求め方や、平均では人数や個数なども小数で表せることを理解している。	○			観察・ノート		
				* 仮の平均を定めて、平均を求める方法を理解する。 * 外れ値がある場合の平均の考え方や、端数の処理について理解する。	1	・仮の平均を使って平均を求めることや、外れ値を除外して平均を求めることを理解している。	○			観察・ノート		
				・平均を使って、合計の大きさを求めたり、全体の量を推定したりする方法を理解する。	1	・平均を活用して、問題を解決する方法を見いだしている。		○		観察・ノート		
・平均を用いて歩幅を求める。また、歩幅を使っていろいろな場所のおよその長さを概測する。				1	・平均を用いて歩幅を求めることができ、歩幅と歩数から長さを概測することができる。	○			観察・ノート			
たしかめ問題	141	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・平均を求めることができる。また、それを活用して問題を解決することができる。	○				観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	単位量あたりの大きさ	単位量あたりの大きさ	142～148	・教p.142の場面を見て、[あ]と[い]では鉛筆の本数、[う]と[え]ではページ数がそろっているから比べられることを確認し、[お]と[か]では、面積も人数も違うことから、混み具合は面積と人数の関係で決まることに気づき、混み具合の比べ方に興味・関心をもつ。 ・人数と面積を用いて、混み具合の比べ方を考え、単位量あたりの考え方や用い方を理解する。	2	・混み具合の比べ方について、多面的に考え、よりよい方法を追求しようとしている。 ・単位量あたりの考え方をういて、混み具合の比べ方を考え、説明している。		○	○	観察・ノート		小5年 「速さ」 ・速さの意味と求め方、速さ・時間・道のりの関係
				・いろいろな1あたりの大きさを求めることを通して、「単位量あたりの大きさ」の用語とその意味を理解する。また、単位量あたりの大きさを利用して、問題を解決する。	1	・知「単位量あたりの大きさ」の用語とその意味を理解し、いろいろな単位量あたりの大きさを求めて比べたり、問題を解決したりすることができる。		○		観察・ノート		
				・「人口密度」の用語と、その意味、求め方を理解し、人口の混み具合を比べる。	1	・「人口密度」の用語とその意味を理解し、人口密度を計算により求め、比べることができる。		○		観察・ノート		
		たしかめ問題	149～151	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・単位量あたりの大きさの意味と求め方、比べ方を理解している。		○		観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室2	152	・単位量あたりの大きさを活用して、防災備蓄用品の量について考える。	適宜	・単位量あたりの大きさの考え方をえれば、防災用品の必要数などが分かるというよさに気づいている。			○	観察・ノート		
		復習	153	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。		○		観察・ノート		
分数と小数	わり算と分数	分数倍	154～157	・2、3、4の数字を使っていろいろな除法の式を考える中で、小数で表せない商の存在に気づき、整数どうしの除法の商の表し方に興味をもつ。 ・整数の除法の商は分数で表すことができることを理解する。	2	・商が整数や小数では表せない整数の除法の場面から問題を見いだしている。 ・整数の除法の商は分数を用いて表すことができることを理解している。		○	○	観察・ノート	小5年 「分数のたし算とひき算」 ・通分、訳文の意味と方法	小6年 「分数のかけ算」 ・逆数の意味
			158	・分数を用いて何倍かを表すことができる。	1	・割合を分数を用いて表すことができる。		○		観察・ノート		
				・ $\bigcirc/\Delta=\bigcirc\div\Delta$ の関係を使って、いろいろな分数を小数で表す方法を理解する。また、分数には小数で正確に表すことができないものがあることを理解する。	1	・ $\bigcirc/\Delta=\bigcirc\div\Delta$ の関係を活用すれば、分数を小数で表すことができるを見いだしている。			○		観察・ノート	

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
11	数、整数	小と小数、整数	159 ～ 161	・ 小数や整数はどんな数でも分数で表すことができることを理解する。	1	・ 小数や整数はどんな数でも分数で表すことができることを理解し、小数や整数を分数で表すことができる。	○			観察・ノート			
				・ 分数と小数が混じった加法や減法の計算の仕方を考える。	1	・ 分数と小数の相互関係に着目し、分数と小数が混じった計算では、分数か小数のどちらかにそろえればよいことを見いだしている。		○		観察・ノート			
		たしかめ問題	162 163	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 整数の除法の商を分数を用いて表したり、割合を分数で表したりすることができる。また、分数と小数が混じった加法、減法の計算ができる。	○			観察・ノート			
	割合	割合と百分率	164 ～ 170	・ 2つの数量の関係どうしを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合を小数で求める。	2	・ 割合を用いた2つの数量の関係どうしの比べ方を理解している。 ・ 全体と部分の関係に着目し、数量の関係どうしの比べ方を見いだしている。	○	○		観察・ノート	小4年 「倍とかけ算、わり算」 ・ 倍と乗法、除法 ・ 簡単な場合の割合	小6年 「比」 ・ 比の意味と表し方	
				・ 「パーセント(%)」、「百分率」の用語や意味を理解し、割合を百分率で表す。	1	・ 「パーセント(%)」、「百分率」の用語とその意味、表し方を理解し、割合を求め、百分率で表すことができる。	○			観察・ノート			
			・ 割合が1より大きい場合に、その割合を百分率で表す。	1	・ 割合が1より大きくなる場合について理解し、その割合を求め、百分率で表すことができる。	○			観察・ノート				
		割合の使い方	171 ～ 176	・ 比較量は、「基準量×割合」で求められることを理解する。	1	・ 割合、比較量、基準量の関係に着目し、比較量の求め方を考え、説明している。			○		観察・ノート		
				・ 比較量と割合から、基準量を求める方法を理解する。	1	・ 割合、比較量、基準量の関係に着目し、基準量の求め方を考え、説明している。			○		観察・ノート		
				・ 比較量の割合がどれだけになるかを求めるなどして、基準量とその割合から比較量を求める。	1	・ 割合、比較量、基準量の関係に着目し、問題解決の方法を見いだしている。			○		観察・ノート		
				・ 比較量の割合がどれだけになるかを求め、比較量とその割合から基準量を求める。	1	・ 割合、比較量、基準量の関係に着目し、問題解決の方法を見いだしている。			○		観察・ノート		
		歩合	177	・ 歩合の意味とその表し方を理解し、割合を歩合で表す。	1	・ 割合を歩合で表すことができる。	○			観察・ノート			
たしかめ問題	178 179	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 割合を百分率で表したり、割合、比較量、基準量を求めたりすることができる。	○			観察・ノート					
	読み取る力をのばそう	180	・ 値引きの割合を一定としたとき、定価の変化にもなって、値引き額が変化していくことを理解し、それを活用しながら買い物の仕方を考える。	1	・ 割合が一定のとき、基準量の変化にもなって比較量が変わることに着目して買い物の仕方を考えている。			○	観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
12	帯グラフと円グラフ	帯グラフと円グラフ	181～187	・帯グラフと円グラフの意味とそれぞれの特徴を理解する。	1	・帯グラフや円グラフの特徴や読み方を理解し、全体と部分、部分と部分の関係を読み取ることができる。	○			観察・ノート	小4年 「折れ線グラフと表」 ・折れ線グラフ ・棒グラフとの複合グラフ ・二次元の表、2観点4分類の表	小6年 「データの活用」 ・代表値(平均値、最頻値、中央値) ・ドットプロット、度数分布表、柱状グラフ ・統計的な問題解決の方法		
				・並んだ帯グラフの特徴を理解する。	1	・資料の合計と割合に着目し、導き出された結論について、批判的に考察している。		○		観察・ノート				
				・帯グラフと円グラフの表し方を理解し、資料の全体に対する各部分の割合を求めて、帯グラフと円グラフに表す。	1	・帯グラフと円グラフの表し方を理解し、資料の全体に対する各部分の割合を求めて、帯グラフと円グラフに表すことができる。	○			観察・ノート				
		グラフの選び方	188～191	・調べる目的に応じて、グラフを選択し、つくり替えて、資料の特徴を考察する。	2	・既習のグラフの特徴を吟味しながら、グラフを選択し、多面的な視点で資料の特徴について考察している。 ・グラフの読み取りを通して、問いを見いだし、その問いを解決するために新たなグラフをつくって追求しようとしている。		○	○				観察・ノート	
				表やグラフを生かそう	192～193	・資料を収集、分類整理し、結果を適切に表現し、分析する。	適宜	・資料の収集や適切な手法の選択など、統計的な問題解決の方法を理解している。	○					観察・ノート
				たしかめ問題	194～196	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・帯グラフの読み方を理解している。また、資料を円グラフに表すことができる。	○					観察・ノート
		読み取る力をのばそう	197	・示された考えを批判的にみて、正否を判断し、説明する。また、示された条件に合わせて価格を求める。	1	・問題を解決するために、それぞれのお店が何円引きになるかを求める必要があることを見いだしている。			○				観察・ノート	
				正多角形	198～202	・正六角形や正八角形を作る活動を通して、「正多角形」の用語とその定義について理解する。	1	・図形の構成要素に着目し、正多角形の特徴を見いだしている。					○	
		・円を用いた正多角形のかき方を理解し、正多角形の理解を深める。	1			・正多角形の定義や性質を用いて、正多角形を作図することができる。	○			観察・ノート				
		・円を用いた正六角形のかき方を理解し、正多角形の理解を深める。	1			・正六角形の定義や性質に着目し、コンパスで作図できるわけを筋道立てて説明している。			○				観察・ノート	
		・円の周りの長さは、直径の長さの約何倍になっているかを調べる。また、「円周」の用語とその意味について理解する。	1			・「円周」の用語とその意味を理解している。	○			観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
正多角形と円	円周と直径	203 ～ 209	・ 円周の長さは、直径の長さの約何倍になっているかを実測して調べ、「円周率」の用語とその意味を理解する。	1	・ どの円についても円周÷直径の値は一定であり、その値を「円周率」ということを理解している。	○			観察・ノート			
			・ 円周と直径の関係を公式にまとめ、それを適用できる。	1	・ 円周の長さを求める公式について理解し、円周の長さを求めたり、直径の長さを求めたりすることができる。	○			観察・ノート			
			・ 円の直径の長さと円周の長さの変わり方を調べ、その2つの数量が比例していることを理解する。	1	・ 円の直径の長さと円周の長さの変わり方を表や式から考え、比例関係があることを見いだしている。		○			観察・ノート		
			・ 大きな円の円周の長さとその直径上につくったいくつかの円の円周の長さの和を比べることにより、円周と直径の関係について理解を深める。	1	・ 2つの式を比べて、それらが等しくなることを説明している。		○			観察・ノート		
	たしかめ問題	210 211	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 「正多角形」、「円周率」の意味や、円周の長さを求める公式を理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。	○			観察・ノート			
	プログラミングにちょうせん！②	212 213	・ 正多角形の定義をもとにして、正多角形をかくプログラムを考え、作図する。	1	・ 正多角形の定義をもとにして、作図する方法を考え、その手順をプログラムに表し、説明している。		○		観察・ノート			
	復習	214	・ 復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・ 既習事項を理解している。	○			観察・ノート			
ふくろう先生のなるほど算数教室3	215	・ 円周率についての歴史を知ることを通して、円周率に対する興味・関心を高める。	適宜	・ 円周率の歴史に興味・関心をもち、進んで理解を深めようとしている。			○	観察・ノート				
ふくろう先生のなるほど算数教室4	216 217	・ 和算家について知ること、日本にも優れた数学者がいたこと、『塵劫記』が江戸時代の寺子屋で広く使用されていたことなどを知る。また、算額などの日本の数学の歴史に触れ、和算に興味・関心をもつ。	適宜	・ 和算について知り、日本での算数の歴史、発展に興味・関心をもっている。			○	観察・ノート				

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	四角形と三角形の面積	平行四辺形の面積	218 ～ 224	・ 平行四辺形の面積は長方形に等積変形して、既習の求積公式を用いれば求められることを理解する。	1	・ 既習の長方形の面積の求め方をもとにして、平行四辺形の面積の求め方を考え、説明している。		○		観察・ノート	小4年 「面積」 ・ 面積の単位と長方形、正方形の求積	小6年 「角柱と円柱の体積」 ・ 角柱、円柱の求積
				・ 平行四辺形に関する「底辺」、「高さ」の用語とそれらの意味を理解し、それらを用いて求積公式をまとめ、面積を求める。	1	・ 平行四辺形の「底辺」、「高さ」の用語とそれらの意味や、求積公式を理解し、公式を適用して面積を求めることができる。	○		観察・ノート			
				・ 平行四辺形の高さが、底辺の延長線上にあるときも、「底辺×高さ」で面積が求められることを理解する。	1	・ 既習の平行四辺形の面積の求め方をもとにして、高さが底辺の延長線上にある場合の面積の求め方を考え、説明している。		○	観察・ノート			
				・ 底辺の長さが一定の平行四辺形の、高さとの面積の変わり方を調べ、考察する。	1	・ 底辺の長さが一定の平行四辺形の高さと面積の変わり方を表や式から考え、比例関係があることを見だしている。		○	観察・ノート			
		三角形の面積	225 ～ 229	・ 三角形の面積は、倍積変形や等積変形して既習の求積公式を適用すれば求められることを理解する。	1	・ 既習の長方形や平行四辺形の面積の求め方をもとにして、三角形の面積の求め方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
				・ 三角形の「底辺」、「高さ」の用語とそれらの意味を理解し、三角形の面積を求める考え方をもとに求積公式をまとめ、面積を求める。	1	・ 三角形の面積の求め方を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、求積公式を導いている。		○	観察・ノート			
				・ 三角形の高さが、底辺の延長線上にあるときも、「底辺×高さ÷2」で面積が求められることを理解する。	1	・ 三角形の高さが底辺の延長線上にある場合も求積公式が適用できることを理解し、求めることができる。	○		観察・ノート			
		いろいろな四角形の面積	230 ～ 233	・ 台形の面積を倍積変形、等積変形したり、三角形に分割したりして既習の求積公式を用いれば求められることを理解する。	1	・ 平行四辺形や三角形の面積を既習の図形に帰着させて求めたことを振り返り、台形の面積でもその方法を用いて考えようとしている。			○	観察・ノート		
				・ 台形の「上底」、「下底」、「高さ」の用語とそれらの意味を理解し、台形の面積を求める考え方をもとに求積公式をまとめ、面積を求める。	1	・ 台形の面積の求め方を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、求積公式を導いている。		○	観察・ノート			
				・ ひし形の面積を、既習の求積公式を適用するなど、工夫して求める。 * 平行四辺形や長方形の中に空白部分がある場合について、工夫して面積を求める。	1	・ ひし形を求積できる図形に変えるなど、工夫して面積の求め方を考えている。		○	観察・ノート			



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		面積の求め方のくふう	234	・一般四角形や五角形の面積を、既習の求積公式を適用するなど工夫して求める。	1	・一般四角形や五角形を求積できる図形に変えるなど、工夫して面積の求め方を考えている。		○		観察・ノート		
		たし し か め 問 題	235 236	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の求め方を理解し、求積公式を用いて面積を求めることができる。	○			観察・ノート		
2		読み取る力をのばそう	237	・長方形、平行四辺形の内部に点をとり、各頂点と結んだときにできる三角形のうち、向かい合った2つの面積の和が、もとの図形の内面積の半分であることを説明する。	1	・長方形の中にできた2つの三角形の内面積の和が、長方形の内面積の半分であることを、図形の合同や、求積公式に着目して説明している。		○		観察・ノート		
	速さ	速さ	238 ～ 245	・速さは道のりと時間に関係することに気づき、単位量あたりの大きさを用いて、速さの比べ方を考える。	1	・道のりと時間の関係に着目し、単位量あたりの大きさの考えをもとに、速さの比べ方を考え、説明している。		○		観察・ノート	小5年 「単位量あたりの大きさ」 ・混み具合などの表し方	
・速さの意味や表し方、求め方を理解するとともに、速さの表し方には、「時速」、「分速」、「秒速」があることを知り、それらの意味と求め方を理解する。				1	・「時速」、「分速」、「秒速」の用語とそれらの意味や、求め方を理解し、道のりと時間から速さを求めることができる。	○		観察・ノート				
・数直線図や速さの意味、「速さ＝道のり÷時間」の式をもとにして道のりを求め、道のりを求める式を導く。				1	・数直線図や速さの意味などをもとにして、道のりを求める式を考え、説明している。		○	観察・ノート				
・数直線図や速さの意味、「道のり＝速さ×時間」の式をもとにして時間を求め、時間を求める式を導く。				1	・数直線図や速さの意味、道のりを求める式などをもとにして、時間を求める式を考え、説明している。		○	観察・ノート				
・単位が異なる場面について、「時速」、「分速」、「秒速」を相互に変換して、速さを比べる。				1	・「時速」、「分速」、「秒速」の関係を理解し、単位換算することができる。	○		観察・ノート				
たし し か め 問 題		246 247	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・速さや道のり、時間を求めることができ、それを用いて問題を解決することができる。	○			観察・ノート			
				・基本的な立体図形を、面の形や面の位置関係などに着目して分類する。	1	・立体図形の構成要素やその位置関係に着目し、分類の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート	小4年 「直方体と立方体」 ・直方体と立方体の定義と性質、展開図、展開図	小6年 「角柱と円柱の体積」 ・角柱、円柱の求積

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
3	角柱と円柱	立体	248～253	・「角柱」、「円柱」の用語とそれらの定義や特徴を理解する。また、それらの「底面」、「側面」、「高さ」などの意味を理解する。	1	・「角柱」、「円柱」の用語とそれらの定義や性質、「底面」、「側面」、「高さ」の意味を理解している。	○			観察・ノート	小5年 「正多角形と円」 ・正多角形の定義、かき方 ・円周率の意味と円周の求め方	
				・角柱の頂点、辺、面の数について調べ、表や式に表すことを通して、角柱の特徴について理解を深める。	1	・角柱の底面と側面に着目し、頂点、辺、面の数のきまりを見いだしている。		○		観察・ノート		
		見取図と展開図	254～256	・三角柱や円柱の見取図のかき方を理解する。	1	・三角柱や円柱の見取図のかき方を理解し、かくことができる。	○			観察・ノート		
				・三角柱の展開図について、辺と辺、辺と面、面と面のつながりなどを読み取ったり、展開図をかいて、三角柱をつくったりする。	1	・立体を組み立てたときや展開したときの面や辺の位置を理解し、展開図をかくことができる。		○		観察・ノート		
				・円柱の展開図がどのような形になるかを理解し、側面部分の長方形の辺の長さを求めたり、工作用紙に展開図をかいて円柱をつくったりする。	1	・底面の円周の長さ、側面の横の長さが等しくなることを理解し、円柱の展開図をかくことができる。		○		観察・ノート		
		たしかめ問題	257 258	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・角柱の特徴や、見取図、展開図及び構成の仕方を理解している。	○			観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室5	259	・トイレットペーパーの芯を用いて、円柱の側面の展開図が平行四辺形にもなることを知り、その展開図を問題解決に活用する。	適宜	・芯の直径が2倍になると平行四辺形の斜辺は変わらず、底辺が2倍になることを展開図をもとに考えている。		○		観察・ノート		
		変わり方を調べよう	260 261	* 2つの数量の関係を表や図を用いて調べ、それを言葉や式に表して未知の数量を求める。	1	・ともなって変わる2つの数量の関係を、図や表を使って調べ、規則性を見いだしている。		○		観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室5	262 263	・算数を仕事に生かしている方へのインタビューを読み、算数への学習意欲を高める。	適宜	・算数が仕事や生活に生かされていることを知り、算数・数学のよさや面白さに気づいている。			○	観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		5年の復習	264～267	・5学年の復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	2	・既習事項を理解している。	○	○		観察・ノート		
		テスト等		テスト+予備	18		○	○		ペーパーテスト等		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	対称な図形	対称な図形	16～19	・「線対称な図形」、「点対称な図形」の用語とそれらの定義を理解し、図形を弁別する。	1	・「線対称」、「対称の軸」、「点対称」、「対称の中心」の用語とそれらの意味を理解し、線対称な図形、点対称な図形を弁別できる。	○			観察・ノート	小5年 「合同な図形」 ・合同の意味、かき方	中1年 ・作図、移動、直線や平面の位置関係 ・柱体、錐体、球の体積、表面積 ・おうぎ形	
		線対称な図形	20～22	・線対称な図形の対応する点、辺、角を調べる。	1	・線対称な図形について、対応する点、辺、角の意味や性質を理解している。	○			観察・ノート		中2年 ・平行と角の性質、三角形の合同条件、基本図形の性質と証明	
			20～22	・対応する点を結ぶ直線と対称の軸との関係を調べ、線対称な図形の性質を理解する。	1	・線対称な図形の対応する2点を結ぶ直線は、対称の軸によって垂直に2等分されることを理解し、その性質を用いて、対応する点を見つけることができる。	○			観察・ノート		中3年 ・相似、平行線と線分の比 ・円周角の定理 ・三平方の定理	
			20～22	・線対称な図形を作図する。	1	・線対称な図形の性質をもとに、作図する方法を考え、説明している。		○		観察・ノート			
		点対称な図形	23～25	・点対称な図形の対応する点、辺、角を調べる。	1	・点対称な図形について、対応する点、辺、角の意味や性質を理解している。	○			観察・ノート			
			23～25	・対応する点を結ぶ直線と対称の中心との関係を調べ、点対称な図形の性質を理解する。	1	・点対称な図形の対応する2点を結ぶ直線は、対称の中心を通り、対称の中心によって2等分されることを理解し、その性質を用いて、対応する点を見つけることができる。	○			観察・ノート			
			23～25	・点対称な図形を作図する。	1	・点対称な図形の性質を用いて、点対称な図形を作図することができる。		○		観察・ノート			
		多角形と対称	26 27	・既習の四角形を対称の観点から見直す。	1	・既習の四角形や三角形を対称という観点で捉え、対称の軸や対称の中心をかき入れることができる。	○			観察・ノート			
			26 27	・既習の正多角形を対称の観点から見直す。	1	・正多角形の対称性に着目し、対称の軸の本数や、点対称になる場合のきまりについて見いだしている。		○		観察・ノート			
		たしかめ問題	28 29	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・線対称な図形や点対称な図形の性質を理解し、図形を弁別したり、作図したりすることができる。	○			観察・ノート			
		ふくろう先生のなるほど算数教室1	30 31	・身の回りから対称な形を探したり、折り紙の一部を切り取って対称な形を作ったりして、図形の見方を深めるとともに、図形への興味・関心を高める。	適宜	・身の回りに対称な形があることに気づき、進んで探そうとしている。				○	観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
5	分数と整数のかけ算・わり算	分数×整数	32～35	・分数×整数の意味と計算原理、方法を理解し、計算する。	1	・単位分数に着目して、分数×整数の計算の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート	小6年 「分数のかけ算」 ・分数をかける計算 ・逆数の意味 「分数のわり算」 ・分数でわる計算 ・整数、小数、分数の乗法、除法 ・分数倍と乗法、除法の関係 中1年 ・正負の数の乗法、除法 中1年～3年 ・単項式、多項式の乗法、因数分解 ・方程式 中3年 ・根号を含む式の乗法、除法	
			36～42	・分数×整数で、途中で約分する方法を理解し、計算する。	1	・約分のある分数×整数の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
		分数÷整数	36～42	・分数÷整数の意味と計算原理、方法を理解し、計算する。	1	・単位分数に着目したり、図を用いたりして、分数÷整数の計算の仕方を考え、説明している。		○		観察・ノート		
			36～42	・分数÷整数で、分子がわりきれない場合の計算原理、方法を理解し、計算する。	2	・分数÷整数の計算の仕方を理解し、計算できる。 ・分数の性質や除法のきまりをもとにして、分数÷整数の計算の仕方を考え、説明している。	○			観察・ノート		
		43～44	・分数÷整数の計算で、途中で約分する方法を理解し、計算する。	1	・約分のある分数÷整数の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
たしかめ問題	43～44	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・分数×整数、分数÷整数の計算ができる。	○			観察・ノート				
	円の面積	円の面積	45～52	・円に内接する正方形や外接する正方形から円の面積を見積もる。 ・円の面積を、方眼を用いて概測したり、内接する正方形をもとに求めたりすることにより、円の面積はその半径を1辺とする正方形の面積の約3.1倍になっていることを導く。	2	・方眼を用いたり、円を正多角形とみなしたりして、円のおよその面積を求めることができる。 ・円に内接する正方形や外接する正方形に着目して、円の面積を見積もっている。	○	○		観察・ノート	小5年 「正多角形と円」 ・正多角形の定義、かき方 ・円周率の意味と円周の求め方 小6年 「角柱と円柱の体積」 ・角柱、円柱の求積 「およその面積や体積」 ・およその面積や体積の求め方 中1年 ・作図、移動、直線や平面の位置関係 ・柱体、錐体、球の体積、表面積 ・おうぎ形 中2年 ・平行と角の性質、三角形の合同条件、基本図形の性質と証明 中3年 ・相似、平行線と線分の比 ・円周角の定理 ・三平方の定理	
			45～52	・円を分割して長方形に等積変形し、円の求積公式を導き、適用する。	1	・図形の構成要素などに着目し、円を長方形に等積変形する方法から、面積の求め方を見いだすとともに、それを簡潔かつ的確な表現に高め、求積公式を導いている。		○		観察・ノート		
			45～52	・円を分割したり、組み合わせたりすることで構成される図形の面積の求め方を、円の面積をもとに考える。	2	・複合図形を既習の図形の組み合わせとして捉え、面積の求め方を考え、説明している。 ・主 複合図形の面積の求め方を、既習である円の面積と関連付けて考えようとしている。		○	○	観察・ノート		
		たしかめ問題	53～54	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・円の求積公式の導き方を理解し、公式を用いて、面積を求めることができる。	○			観察・ノート		
		円の面積の公式づくり	55	・ひもを巻いて作った円を切り開き、二等辺三角形に変形する方法など、円の求積公式を導く。	1	・図形の構成要素に着目し、既習の方法とは異なる方法で、円の求積公式を導いている。		○		観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
6	文字を使った式	復習	56	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
			57～59	・未知数を表すのに文字xを用いることを知り、問題場面を式に表し、問題の解決に用いる。	1	・未知数を表す口の代わりに文字xを用いることができることを理解し、場面を式に表してxの値を求めることができる。	○			観察・ノート	小5年 「2つの量の変わり方」 ・比例の意味	小6年 「比例と反比例」 ・比例を活用した問題解決 ・比例の性質、式表示、グラフ ・反比例の定義と性質、式表示、グラフ
			60～62	・ともなって変わる2つの数量をx、yとして、その関係を式に表し、問題の解決に用いる。	1	・ともなって変わる2つの数量を表す○、△の代わりに文字x、yを用いることができることを理解し、2つの数量の関係を、x、yを用いた式に表すことができる。	○			観察・ノート		中1年 ・関数、比例、反比例、座標
				・2つの文字を使った式に当てはまる問題場面を選んだり、考えたりする。	1	・数量の関係に着目し、問題場面を式に表したり、式をもとに問題場面を考えたりしている。		○		観察・ノート		中2年 ・1次関数
			63 64	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・問題場面やともなって変わる2つの数量の関係を、x、yを用いた式に表し、問題を解決することができる。	○			観察・ノート		中3年 ・関数 $y=ax^2$
			65	・正三角形の色板をピラミッド状に並べた図について、ピラミッドの段数と色板の枚数の関係を考察する。	1	・変化する数量の関係に着目し、表などに表してきまりを見いだしている。		○		観察・ノート		
			データの 持ち よう を表 す 値 と グ ラ フ	・10年前と今年の本を借りた冊数のデータを比べ、代表値としての「平均値」の用語とその意味を理解し、平均値を求める。	1	・10年前と今年データの基づいて、どちらが多く借りているかを比べる方法を考え、説明している。		○		観察・ノート	小5年 「平均」 ・平均の意味と求め方 「帯グラフと円グラフ」	中1年 ・度数分布多角形、相対度数など ・統計的確率
		・ドットプロットの特徴と読み方、表し方を理解し、それを用いてデータの散らばりの様子を調べる。		1	・ドットプロットの特徴と読み方を理解し、データをドットプロットに表すことができる。	○		観察・ノート	・帯グラフと円グラフ ・統計的な問題解決の方法	中2年 ・四分位数、箱ひげ図 ・数学的確率		
		・代表値としての「最頻値」の用語とその意味を理解し、それを用いてクラスの読書時間のデータの特徴を調べ		1	・代表値として、平均値以外に最頻値が用いられることがあることを理解している。	○		観察・ノート		中3年 ・標本調査		
		・代表値としての「中央値」の用語とその意味を理解し、それを用いて個人の本を借りた冊数が全体の中で多いか少ないかを考える。		1	・データの中に外れ値があるときなどには、代表値として中央値を用いる場合があることを理解し、中央値を求めることができる。	○		観察・ノート				
			74 75	・基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。 * ドットプロットの形と代表値の関係を調べる。	1	・代表値の意味や求め方を理解している。	○			観察・ノート		
				・ドットプロットの形と代表値の関係を見だし、説明している。	1	・ドットプロットの形と代表値の関係を見だし、説明している。		○		観察・ノート		
			76 70	・「階級」、「度数」、「度数分布表」の用語とそれらの意味、度数分布表の特徴や読み方を理解し、データの特徴を調べる。	1	・度数分布表を用いて、データの特徴や傾向を考察している。		○		観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	用	柱状グラフ	79	・柱状グラフ(ヒストグラム)の特徴と読み方、表し方を理解し、データの特徴を調べる。	1	・柱状グラフの特徴と読み方、表し方を理解し、データを柱状グラフに表すことができる。	○			観察・ノート			
			80 81	・既習事項を生かして、様々な方法でデータを比べて代表選手を選択する。	1	・目的やデータの特徴に着目し、それをもとに問題に対する結論を考え、根拠を明確にして説明している。		○		観察・ノート			
			82 83	・様々なグラフの特徴を理解するとともに、グラフからデータの特徴や傾向を読み取る。	1	・人口ピラミッドを表すグラフや複合グラフなどをもとにして、データの特徴について考察し、説明している。			○		観察・ノート		
			84 85	・身の回りの事象について、データを収集、分類整理し、適切な手法を選択して問題の結論について判断する。	適宜	・一連の統計的な問題解決を遂行し、結論や解決の妥当性について批判的に考察している。			○		観察・ノート		
			86 87	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・代表値の意味や求め方を理解し、求めることができる。また、ドットプロット、度数分布表、柱状グラフの特徴とそれらの用い方を理解している。		○			観察・ノート		
			88	・与えられたグラフから正しく情報を読み取り、判断する。また、グラフの見た目にとらわれず、批判的に考察する。	1	・グラフを批判的にみて、正しい結論を、割合の計算などをもとにして考察している。			○		観察・ノート		
7	角柱と円柱の体積	角柱と円柱の体積	89 95	・直方体や立方体の体積の求め方を見直し、それらの求積公式が「底面積×高さ」と表せることを理解する。	1	・「底面積」の用語とその意味を理解している。また、直方体や立方体の求積公式が「底面積×高さ」と表せることを理解している。	○			観察・ノート	小5年 「体積」 ・体積の単位と直方体、立方体の求積、容積 「角柱と円柱」	小6年 「およその面積や体積」 ・およその面積や体積の求め方	
			・三角柱の体積も底面が長方形や正方形ではない四角柱の体積も「底面積×高さ」で求められることを理解し、角柱の体積の求積公式として「底面積×高さ」を導く。	2	・角柱の体積が「底面積×高さ」で求められることを理解し、公式を用いて体積を求めることができる。 ・三角柱などの体積の求め方を、既習の図形になおして考えている。また、角柱の求積公式として「底面積×高さ」と統合できることを見いだしている。	○	○		観察・ノート	・角柱、円柱の定義と性質、展開図、見取図	中1年 ・作図、移動、直線や平面の位置関係 ・柱体、錐体、球の体積、表面積 ・おうぎ形		
			・円柱の体積も「底面積×高さ」で求められることを理解する。また、「角柱、円柱の体積＝底面積×高さ」と統合できることを理解する。	1	・円柱を含めた柱体の体積を求める式が「底面積×高さ」に統合できることを理解し、それを用いて円柱の体積を求めることができる。		○			観察・ノート		中2年 ・平行と角の性質、三角形の合同条件、基本図形の性質と証明	
			・複合図形の体積について、ある面を底面とした角柱とみて、体積を求める。	1	・長方形を組み合わせた形をした底面を1つの多角形とみなすことで、複合図形の求積に角柱の求積公式が使えることを見いだしている。			○		観察・ノート		中3年 ・相似、平行線と線分の比 ・円周角の定理 ・三平方の定理	

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		たしかめ問題	96 97	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・公式を用いて、角柱や円柱の体積を求めたり、体積から底面積や高さを求めたりすることができる。	○			観察・ノート		
		復習	98	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
9	分数のかけ算	分数をかける計算	99 ~ 105	・乗数が分数の場合でも、乗法の式に表すことができることを、乗数が整数の場合をもとに考えたり、数直線図を用いたりして理解する。	1	・乗法の意味を拡張して捉え、分数をかけることの意味や、乗数が分数のときの立式を理解している。	○			観察・ノート	小5年 「分数のたし算とひき算」 ・通分、約分の意味と方法 「分数と小数、整数」	小6年 「分数のわり算」 ・分数でわる計算 ・整数、小数、分数の乗法、除法 ・分数倍と乗法、除法の関係
			・分数×分数の計算原理、方法を理解し、計算する。	2	・分数×分数の計算の仕方を理解し、計算できる。 ・分数に分数をかける計算の仕方を、既習の計算をもとに考え、説明している。	○	○		観察・ノート	・商の分数表示、分数と小数、整数の変換 「小数のかけ算」 ・乗法の意味の拡張	中1年 ・正負の数の乗法、除法	中1年~3年 ・単項式、多項式の乗法、因数分解 ・方程式
			・分数×分数で、計算の途中で約分ができるときの計算の仕方を理解し、計算する。 ・3口の分数の乗法の計算の仕方を理解し、計算する。	1	・途中で約分できる場合の乗法や3口の分数の乗法の計算の仕方を理解し、計算できる。 ・分数×整数のときの約分の仕方を、分数×分数で、途中で約分して計算する方法を考えている。	○	○		観察・ノート	・小数をかける計算のひっ算	小6年 「分数と整数のかけ算・わり算」 ・分数×整数、分数÷整数の計算	中3年 ・根号を含む式の乗法、除法
			・整数×分数の計算は、分数×分数として計算できることを理解する。 ・帯分数の乗法の計算の仕方を考える。	1	・整数と分数の乗法や帯分数の乗法の計算ができる。 ・整数を分数で表すことができることをもとに、整数と分数の乗法も分数×分数に統合できることを見いだしている。	○	○		観察・ノート			
		練習	106	・基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。	1	・分数の乗法の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	○			観察・ノート		
		逆数	107	・「逆数」の用語とその意味、求め方を理解し、分数、整数、小数の逆数を求める。	1	・逆数の意味を理解し、分数や整数、小数の逆数を求めることができる。	○			観察・ノート		
		積の大きさ	108	・分数をかける乗法で、乗数の大きさから積と被乗数の大小関係を判断する。	1	・数直線図上の乗数の大きさに着目し、積と被乗数との大小関係を見いだしている。		○		観察・ノート		
		面積や体積の公式と分数	109	・辺の長さが分数の場合にも、面積や体積の求積公式が適用できることを理解する。	1	・辺の長さが分数の場合でも、面積や体積の求積公式が適用できることを理解している。	○			観察・ノート		
	計算のきまり	110	・分数の場合にも、乗法の交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを理解する。	1	・分数の計算についても、乗法の交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを理解し、それらを活用し、工夫して計算することができる。	○			観察・ノート			



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		たしかめ問題	111 112	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 分数の乗法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			
		時間と分数	113	* 分数を使って時間を表す方法を考え、理解する。	1	・ 時間を分数で表す方法を理解するとともに、単位にする時間によって様々な表し方ができることを理解している。	○			観察・ノート			
		ふくろう先生のなるほど算数教室2	114	・ 算数に関する逸話を読むことで、分数の計算に興味をもつ。	適宜	・ 算数に関する逸話を読み、分数の計算への興味・関心を高める。			○	観察・ノート			
	10	分数でわる計算	115 ~ 122	・ 除数が分数の場合でも、除法の式に表すことができることを、除数が整数の場合をもとに考えたり、数直線図を用いたりして理解する。	1	・ 分数でわるこの意味を、数直線図などを用いて考え、説明している。			○		観察・ノート	小5年 「小数のわり算」 ・ 除法の意味の拡張 ・ 小数でわる計算の筆算	中1年 ・ 正負の数の乗法、除法
・ 分数÷分数の計算原理、方法を理解し、計算する。				2	・ 分数÷分数の計算の仕方を理解し、計算できる。 ・ 分数を分数でわる計算の仕方を、既習の計算をもとに考え、説明している。	○	○	観察・ノート	・ 小数倍と乗法、除法の関係	中1年~3年 ・ 単項式、多項式の乗法、因数分解 ・ 方程式			
・ 分数÷分数で、計算の途中で約分ができるときの計算の仕方を理解し、計算する。 ・ 分数の乗法と除法が混じった計算の仕方を理解し、計算する。				1	・ 途中で約分できる場合の除法や、乗法と除法の混じった計算の仕方を理解し、計算できる。 ・ 分数の乗法のときの約分の仕方をともに、分数÷分数で、途中で約分して計算する方法を考えている。	○	○	観察・ノート	小6年 「分数のかけ算」 ・ 分数をかける計算 ・ 逆数の意味	中3年 ・ 根号を含む式の乗法、除法			
・ 整数÷分数の計算は、分数÷分数としても計算できることを理解する。 ・ 帯分数の除法の計算の仕方を考える。				1	・ 整数と分数の除法や帯分数の除法の計算ができる。 ・ 整数を分数で表すことができることをともに、整数÷分数も分数÷分数に統合できることを見いだしている。	○	○	観察・ノート					
・ 分数÷分数で、求答事項に応じて演算決定をすることで、除法の理解を深める。				1	・ 数直線図などを用いて、求答事項に応じて式を考え、説明している。		○	観察・ノート					
・ 基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。				1	・ 分数の除法の計算ができ、それを用いて問題を解決することができる。	○		観察・ノート					
		商の大きさ	124	・ 分数でわる除法で、除数の大きさから商と被除数の大小関係を判断する。	1	・ 数直線図上の除数の大きさに着目し、商と被除数との大小関係を見いだしている。			○	観察・ノート			
		計算の	125	・ 小数、分数の混じった乗法、除法の計算の方法を理解し、計算する。	1	・ 小数、分数の混じった乗法、除法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		のくふう	125 126	・整数や小数の乗法、除法の混じった計算を、分数の乗法として計算する。	1	・整数や小数の乗法、除法が分数の乗法に統合できることを理解し、分数の乗法として計算することができる。	○			観察・ノート			
			分数倍とかけ算、わり算	127 129	・割合を求めるときには、除法が適用されることを理解する。	1	・割合を求めるときに分数の除法が適用されることを理解している。	○			観察・ノート		
					・比較量を求めるときには乗法が適用されることを理解する。	1	・比較量を求めるときに分数の乗法が適用されることを理解している。	○			観察・ノート		
					・割合が分数のときも、基準量を求めるのに分数の除法が適用されることを理解する。	1	・基準量を求めるときに分数の除法が適用されることを理解している。	○			観察・ノート		
			たしかめ問題	130 131	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・分数の除法の計算の仕方を理解し、計算できる。	○			観察・ノート		
		どんな計算するのかな	132	・問題場面を捉え、対応する数直線図を選び、演算決定をする。	1	・問題場面と数直線図を結び付け、演算決定している。		○		観察・ノート			
11	場合の数	並べ方	133 136	・いくつかの物を順番に並べるとき、並べ方は全部で何通りあるか求める方法を考える。	2	・並べ方が何通りあるかについて、落ちや重なりなく求める方法を理解し、求めることができる。 ・並べ方が全部で何通りあるかを、図や表などを用いて考え、説明している。	○	○		観察・ノート		中1年 ・度数分布多角形、相対度数など ・統計的確率	
				・全体から一部を取り出して並べるとき、並べ方は全部で何通りあるか求める方法を考える。	1	・全体から一部を取り出して並べる場合について、図などを用いて順序よく調べ、落ちや重なりなく数えることができる。	○			観察・ノート		中2年 ・四分位数、箱ひげ図 ・数学的確率	
				・コインを何回か投げたときの表と裏の出方が全部で何通りあるかを考え、場合の数の求め方の理解を深める。	1	・同じことを繰り返し行うときの場合の数について、図を使って求めることができる。	○			観察・ノート		中3年 ・標本調査	
		組み合わせ方	137 140	・いくつかのものの中から順番に関係なく2つを選んだときの組み合わせが、全部で何通りあるか求める方法を考える。 ・4種類の中から3種類を選ぶ組み合わせ方などについて考える。	1	・事象の特徴に着目し、いくつかのものの中から順番に関係なく2つを選んだときの組み合わせ方の総数について、図や表を用いて考え、説明している。 ・4種類から3種類を選ぶときの組み合わせ方の総数について、図や表を用いて考え、説明している。		○		観察・ノート			
		たしかめ問題	141 142	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・並べ方や組み合わせ方の総数の求め方を理解し、図や表を用いて求めることができる。	○			観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		リーグ戦とトーナメント戦	143	* トーナメント戦方式の総試合数の求め方を、図や表などを用いて考える。	1	・トーナメント戦方式の総試合数の求め方を、図や表などを用いて考えている。		○		観察・ノート		
		読み取る力をのばそう	144 145	・ 起こり得る場合を順序よく整理して、目的に合う行き方を考える。	1	・ それぞれの条件に着目して、行き方を順序よく考えている。		○		観察・ノート		
		復習	146	・ 復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・ 既習事項を理解している。	○			観察・ノート		
比	比の表し方		147 ~ 150	・ 「比」の用語とその意味を理解するとともに、2つの数量の割合はそのまま比で表せることを理解する。 ・ 同じ割合でも、何を1とみるかによって、いろいろな比の表し方ができることを理解する。	1	・ 「比」の用語とその意味や表し方を理解している。	○			観察・ノート	小5年 「割合」 ・ 割合、百分率、歩合の意味と表し方、割合・比較量、基準量の関係  中1年 「比例と反比例」 ・ 比例を活用した問題解決 ・ 比例の性質、式表示、グラフ ・ 反比例の定義と性質、式表示、グラフ  中2年 ・ 関数、比例、反比例、座標  中3年 ・ 関数 $y=ax^2$	
			151 ~ 154	・ 「比の値」の用語とその意味、求め方を理解する。また、比の値を求めて等しい比を見つける。 ・ 比の性質を理解し、等しい比をつくる。 ・ 比の性質などを使って、比を簡単にする方法を理解する。 ・ 小数や分数で表された比を簡単な整数の比になおす方法を理解する。	1	・ 「比の値」の用語とその意味や求め方を理解し、比の値を求めて、等しい比を見つけることができる。 ・ 等しい2つの比の関係に着目し、 $a:b$ の $a$ と $b$ に同じ数をかけても、同じ数でわっても比は等しいことを説明している。 ・ 比を簡単にする方法を、比の性質などを使って考え、説明している。	○		観察・ノート			
	比の利用		155 156	・ 2つの数量の比とその一方の量をもとに、他方の量を求める方法を考える。 ・ ある量を、示された比に分ける(比例配分する)方法を考える。	1	・ 2つの数量の比とその一方の量から他方の量を求める問題について、比の性質や比の値に着目して考え、説明している。 ・ 全体の量のある大きさの比に分ける問題について、比の性質などに着目して考え、説明している。		○		観察・ノート		
			157 ~ 159	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。 * 身の回りの比を探す。また、3つの数で表される比があることを知る。	1	・ 比の意味や表し方、性質を理解し、それを用いて問題を解決することができる。	○		観察・ノート			

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		ふくろう先生のなるほど算数教室3	160 161	・黄金比や白銀比について知り、歴史的建造物、美術作品などに黄金比や白銀比が含まれていることに興味・関心をもつ。	適宜	・黄金比や白銀比で作られている物の美しさに気づき、身の回りから黄金比や白銀比の物を探そうとしている。			○	観察・ノート		
		拡大図と縮図	162 ～ 165	・対応する辺の長さや角の大きさを調べる活動を通して、「拡大図」の用語とその意味を理解する。 ・対応する辺の長さや角の大きさを調べる活動を通して、「縮図」の用語とその意味を理解する。	1  1	・対応する辺の長さや角の大きさに着目して、同じ形といえるわけを考えたり、拡大図にならないことを説明したりしている。 ・「縮図」の用語とその意味を理解している。			○	観察・ノート  観察・ノート	小5年 「合同な図形」 ・合同の意味、かき方	中1年 ・作図、移動、直線や平面の位置関係 ・柱体、錐体、球の体積、表面積 ・おうぎ形  中2年 ・平行と角の性質、三角形の合同条件、基本図形の性質と証明
12	拡大図と縮図	拡大図と縮図のかき方	166 ～ 169	・方眼を使って拡大図や縮図を作図する。 ・辺の長さや角の大きさを測定し、方眼を使わずに、三角形の拡大図や縮図を作図する方法を考える。 ・相似の中心を利用して拡大図や縮図を作図する。	1  1  1	・方眼を用いて、拡大図や縮図を作図することができる。 ・三角形の拡大図や縮図のかき方について、合同な三角形をかく方法や、拡大図や縮図の定義をもとに考え、説明している。 ・相似の中心を利用して、拡大図や縮図を作図することができる。			○  ○	観察・ノート  観察・ノート  観察・ノート		中3年 ・相似、平行線と線分の比 ・円周角の定理 ・三平方の定理
		縮図の利用	170 ～ 173	・「縮尺」の用語とその意味、表し方を理解し、縮図から実際の長さを求める。 ・実際に測定することが困難な場所の長さを、縮図を使って求める。	1  1	・縮図を利用して、実際の長さを求めることができる。 ・縮図を利用して、実際に測定することが困難な場所の長さを計算で求めることができる。			○  ○	観察・ノート  観察・ノート		
		たしかめ問題	174 175	・基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・拡大図や縮図の意味、縮尺の意味や表し方を理解し、作図することができる。			○	観察・ノート		
		プログラミングにちようせん！①	176 177	・拡大図・縮図・合同な図形の性質を比べ、対応する角の大きさと辺の長さの比に着目し、図形を弁別する手順を整理する。	1	・拡大図・縮図・合同な図形の性質の相違点を見だし、図形の弁別の仕方を、条件分岐の考え方を活用して図に表し、説明している。			○	観察・ノート		
		どうして拡大図になるのかな	178	* 図形の頂点とは異なる点を相似の中心として、拡大図、縮図を作図する方法について考える。	1	・相似の中心が図形の頂点でない場合でも拡大図、縮図をかくことができるわけを演繹的に考え、説明している。			○	観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		読み取る力をのばそう	179	・伊能忠敬が作った、縮尺の異なる3つの地図について考察し、縮尺の理解を深める。	1	・縮尺どうしの関係に着目し、一方の縮図がもう一方の縮図の何分の一になっているか見いだしている。また、目的に応じて適した縮尺を考え、適切な地図を見いだしている。		○		観察・ノート			
		復習	180	・復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	1	・既習事項を理解している。	○			観察・ノート	小5年 「2つの量の変わり方」	中1年 ・関数、比例、反比例、座標	
1	比例と反比例	比例	181 ～ 187	・比例の関係を活用して、身の回りの問題を解決する。	2	・比例関係にある2つの数量を見だし、比例の特徴を活用して問題を解決している。 ・主 比例を活用した測定のおよび気づき、生活や学習に生かそうとしている。		○	○	観察・ノート	・比例の意味	中2年 ・1次関数	
				・ $y$ が $x$ に比例するとき、 $x$ の値が $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、 $1/4$ 倍、……になると、 $y$ の値も同じように変化することを理解する。	1	・比例する2つの数量について、 $x$ の値が $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、 $1/4$ 倍、……になると、 $y$ の値も $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、 $1/4$ 倍、……になることを理解している。	○		観察・ノート		中3年 ・関数 $y=ax^2$		
				・比例の関係にある事象の表から、 $x$ の2つの値とそれに対応する $y$ の2つの値の割合は、いつも同じであることを理解する。	1	・比例の関係において、 $x$ の2つの値とそれに対応する $y$ の2つの値の割合は、いつも等しいことを理解している。	○		観察・ノート				
				・ $y$ が $x$ に比例するとき、その関係を式に表す。	1	・ $y$ が $x$ に比例するとき、 $y=決まった数 \times x$ と表せることを理解し、2つの数量の関係を式に表すことができる。	○		観察・ノート				
		比例の式	188 ～ 190	・これまでに学習した乗法の場面の数量の関係を考察し、比例として捉え直す。	1	・ともなって変わる2つの数量を見だし、表や式などをもとに比例の関係になっているかどうか調べている。		○		観察・ノート			
				比例のグラフ	191 ～ 193	・比例する2つの数量の関係をグラフに表し、その特徴を捉える。	1	・比例のグラフの特徴を見いだしている。		○		観察・ノート	
		・2つの比例のグラフについて考察し、比例のグラフの理解を深める。	1			・2つの比例のグラフについて考察し、それぞれの事象の関係を見いだしている。		○		観察・ノート			
		練習	194	・基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。	1	・2つの数量の関係に着目し、比例関係を見いだすことができる。また、比例する2つの数量の関係を、表や式、グラフに表し、比例の特徴を活用して問題を解決することができる。		○			観察・ノート		
				反比例	195 ～ 197	・ともなって変わる2つの数量の関係を考察し、「反比例」の用語とその定義、性質を理解する。	2	・「反比例」の用語とその定義や性質、比例の性質との違いを理解している。 ・主 反比例する2つの数量の関係について、比例の学習をもとに調べようとしている。	○		○	観察・ノート	

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		反比例の式	198 199	・ $y$ が $x$ に反比例するとき、その関係を式に表す。	1	・ $y$ が $x$ に反比例するとき、 $y$ =決まった数 $\div$ $x$ と表せることや比例の式との違いを理解し、2つの数量の関係を式に表すことができる。	○			観察・ノート		
		反比例のグラフ	200	・ 反比例する2つの数量の関係をグラフに表し、その特徴を捉える。	1	・ 反比例のグラフの特徴や比例のグラフとの違いを理解している。	○			観察・ノート		
		たしかめ問題	201 ～ 203	・ 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	1	・ 比例や反比例の定義、性質について理解し、2つの数量の関係について、比例か反比例かを判断し、式やグラフに表すことができる。	○			観察・ノート		
2		プログラミングにしようせん！②	204 205	・ 比例の性質をもとに、グラフをかくプログラムを考え、比例定数と傾きに相関関係があることに気づく。	1	・ 比例のグラフをかくプログラムを使って、グラフをかき、比例定数と傾きに相関関係があることを見いだしている。		○		観察・ノート		
		反比例のグラフ	206	・ 反比例のグラフが曲線になることを知り、座標を細かくとって確かめる。	1	・ 座標を細かくとり、反比例のグラフをかくことができる。	○			観察・ノート		
	およその面積や体積	およその面積や体積	207 ～ 209	・ 曲線を含む形のおよその面積は、方眼のます目を数えたり、求積可能な図形とみて求積公式を適用したりして求められることを理解し、求める。 ・ 身の回りにある立体のおよその体積を、求積可能な図形とみて求める。	2	・ 曲線を含む形について、およその面積を求めることができる。 ・ 曲線を含む形のおよその面積の求め方を、既習の学習をもとに考え、説明している。	○	○		観察・ノート	小5年 「四角形と三角形の面積」 ・ 平行四辺形や三角形、台形、ひし形の求積  小6年 「円の面積」 ・ 円の面積の求め方 「角柱と円柱の体積」 ・ 角柱、円柱の求積	中1年 ・ 作図、移動、直線や平面の位置関係 ・ 柱体、錐体、球の体積、表面積 ・ おうぎ形  中2年 ・ 平行と角の性質、三角形の合同条件、基本図形の性質と証明  中3年 ・ 相似、平行線と線分の比 ・ 円周角の定理 ・ 三平方の定理
		読み取る力をのばそう	210	・ 予想した3桁の数に対する相手の反応から、筋道立てて考え、相手が決めた3桁の数を見つける。	1	・ 曲線を含む形のおよその面積の求め方を、既習の学習をもとに考え、説明している。		○		観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		6年間のまとめ	211～225	・6年間の復習問題に取り組み、既習事項の理解を確実にする。	9	・既習の数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用に関する基礎的な事項を理解し、問題を解決することができる。 ・間違えた問題について、改めて考え、算数の学習を身に付けようとしている。	○		○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室4	226 227	・世界の諸課題に関わる割合を見て、SDGsについて算数の面から考える。		・世界の諸課題に関連する割合に興味・関心をもち、それらの課題を進んで調べようとしている。			○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室5	228 229	・メートル法や尺貫法、ヤード・ポンド法といったいろいろな単位の仕組みについて知る。		・進んでいろいろな単位について調べ、興味・関心をもっている。			○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室6	230	・分数ものさしについて知り、それを用いて分数の計算の仕方を考える。		・分数ものさしを使った計算の仕方について、これまでに学習した分数の計算の仕方と関連付けて考えている。				観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室7	231	・規則的に直線を重ねてひき、曲線が見えてくることを知る。		・直線を重ねることで曲線がつけられることに興味・関心をもち、条件を変えて他の曲線をつくろうとしている。			○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室8	232	・時差について知り、様々な都市の時刻を求める。		・時差について興味・関心をもち、進んで各国の時刻を考えたり、時差に関する問題をつくったりしている。			○	観察・ノート		

月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		ふくろう先生のなるほど算数教室9	233	・点字による数の表し方を知り、点字を読んだり、表したりする。	10	・点字の仕組みについて興味・関心をもち、進んで調べている。			○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室10	234 235	・エジプトで使われていた算数についての逸話を知り、比や分数について興味・関心を高める。		・辺の長さが3:4:5の三角形は直角三角形になることや、分数が単位分数の和で表せることに関心をもっている。			○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室11	236	・円盤を1枚ずつきまりに基づいて動かし、全ての円盤を別の棒に動かす方法を考える。		・全ての円盤を別の棒に動かす方法を考え、順序よく考えるたのしさに関心をもっている。			○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室12	237	・単位量あたりの大きさを活用した人数の教え方について知る。		・単位量あたりの大きさの考え方を覚えれば人数が簡単に求められるというよさに気づいている。			○	観察・ノート		
		ふくろう先生のなるほど算数教室13	238 239	・身の回りにある数字や幾何学的な形を見たり、探したりする。		・身の回りにある数字や算数で学習した形などに興味をもち、生活の中にある算数を見いだそうとしている。			○	観察・ノート		



月	単元	小単元	ページ	到達目標 (活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		ふくろう先生のなるほど算数教室14	240	・算数を仕事に生かしている方へのインタビューを読み、算数への学習意欲を高める。		・算数が仕事や生活に生かされていることを知り、算数の学習に対する意欲を高めている。			○	観察・ノート		
3		数学の世界へ1	241～243	・トランプを使ったゲームを通して、0より小さい数の必要性や表し方を理解し、負の数の学習への素地を養う。	9	・点数板のおはじきを動かすことを通して、0より小さい数について考えている。			○	観察・ノート		
		数学の世界へ2	244	・過不足算を面積図を用いて解決し、図を用いるよさと限界に気づく。		・面積図に表すよさと限界に気づいている。			○	観察・ノート		
		数学の世界へ3	245	・天秤を用いて未知の量を求める活動を通して、等式の性質への素地を養う。		・天秤のつり合いの性質に基づいて、未知の量を筋道立てて求め、説明している。			○	観察・ノート		
		数学の世界へ4	246 247	・垂直な直線などのひき方を、既習の図形の性質と結び付けて考え、数学における作図への素地を養う。		・ひし形や平行四辺形の性質に着目し、垂直二等分線や平行線、角の二等分線の作図の方法を考えている。			○	観察・ノート		
		数学の世界へ5	248	・円とおうぎ形の面積を比べることを通して、おうぎ形の求積への素地を養う。		・既習の円の面積の求め方をもとにして、おうぎ形の面積の求め方を考え、説明している。			○	観察・ノート		
		数学の世界へ6	249	・様々な数量の変化を考察することを通して、一次関数や2乗に比例する関数への素地を養う。		・数量の変化を表やグラフを用いて調べること、比例や反比例との違いに気づいている。			○	観察・ノート		
		数学の世界へ7	250	・樹形図を用いて、じゃんけんの手の出し方を調べることを通して、確率の学習への素地を養う。		・じゃんけんのパターンが全部で何通りあるか、図や表を用いて考えている。			○	観察・ノート		
		数学の世界へ8	251	・階級の幅が異なる2つの柱状グラフを批判的に考察することを通して、数学における統計の学習への素地を養う。		・柱状グラフを批判的に考察し、階級の幅を変えて整理し直している。			○	観察・ノート		
	テスト等		テスト+予備	20			○	○		ペーパーテスト等		